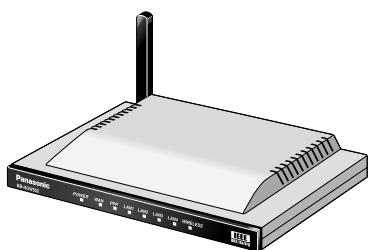


# Panasonic

## 取扱説明書

カメラコントロールユニット

品番 **BB-HGW502**



このたびは、カメラコントロールユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

### 保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
特に「安全上のご注意」(8~11ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特 長

BB-HGW502(以下、本製品)は、以下の特長をもつカメラコントロールユニットです。

## ■ リピーター機能(中継機能)により無線ネットワーク機器の設置範囲を拡大

本製品と無線ネットワーク機器の間に当社製無線LANアダプターBB-HGA102(以下、無線LANアダプター)を設置することにより、より広い範囲や電波が届きにくい場所に中継できるようになります。

## ■ VPNでカメラ画像などのデータを安全に送信

本製品に接続したカメラの画像データやパソコンのデータを暗号化して送信するので、セキュリティを確保することができます。

## ■ IEEE 802.11a/b/g(切替)対応の高速無線LAN

2.4 GHz 54 Mbps\* (IEEE 802.11g)、2.4 GHz 11 Mbps\* (IEEE 802.11b)、5.2 GHz 54 Mbps\* (IEEE 802.11a)を切り替えて使用できます。802.11gモードは802.11g専用モードと、802.11gと802.11bが同時に使えるモードの2種類を設定できます。また、無線LAN機能の停止もできます。

※ 表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

## ■ 高速スループット

有線WAN-LAN間が最大93.0 Mbps (FTP [Static])、最大92.1 Mbps (FTP [PPPoE])、最大16.3 Mbps (FTP [PPTP])とFTTHにも対応できる仕様です。

## ■ アプリケーションプラットフォーム

本製品は、カメラを制御する基本的なプログラム(ファームウェア)とは別に、アプリケーションを追加したり、変更したりできるアプリケーションプラットフォーム機能を搭載しています。本製品設置後にパナソニックのサポートウェブサイト\*から必要なカメラ制御アプリケーションをダウンロードすることで本製品の機能を強化できます。

\*パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/support/>)

## ■ インターネットかんたんセットアップ

本製品には「かんたん設定」機能があります。ウィザードに従って設定するだけで、ウェブブラウザで簡単にインターネット接続の設定ができます。特別なソフトのインストールは不要です。フレッツ、Yahoo! BBなどのプロバイダーを選択し、ガイダンスに従った簡単な操作で、インターネット接続ができます。

## ■ 無線自動設定 (セキュリティ設定含む)

当社製無線LANアダプター「BB-HGA102」(別売品)の各種設定を自動的に行います。その際、無線のセキュリティ設定も自動で行いますので、より確実な無線LANを実現します。

## ■ カメラ自動登録 (セキュリティ設定含む)

当社製ネットワークカメラ(別売品)と組み合わせて利用することにより、無線のセキュリティ設定(暗号化[WEAP]設定など)およびカメラのネットワーク関連設定(ポートフォワーディング設定など)を自動的に行うことができるカメラ自動登録機能に対応しています。

## ■ カメラポータル

当社製ネットワークカメラ(別売品)と組み合わせて利用することにより、最大16台までのカメラ名と静止画像をモニタリング画面上に一覧表示することができるカメラポータル画面に対応しています。また、このカメラポータル画面の設定も自動的に行うことができます。

## 【略称について】

- Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® XP Home Editionです。(以下、Windows XPという)
- Windows® 2000の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® 2000 Serverです。(以下、Windows 2000という)
- Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemです。(以下、Windows Meという)
- Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemです。(以下、Windows 98SEという)
- UPnP™は、Universal Plug and Playの略称です。
- IGDとは、UPnPフォーラムで定義されたInternet Gateway Device を意味します。
- 本書では、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gを、それぞれ、802.11a、802.11b、802.11gと表記しています。
- 本書では、「CATVモデム」または「ADSLモデム」のことを「モデム」と表記しています。
- 本書では、「ネットワークカメラ」のことを「カメラ」と表記しています。
- 本書では、「アプリケーションプログラム」のことを「アプリケーション」と表記しています。

## 【商標／登録商標について】

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Microsoft、MSN、Windows、およびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

## ご使用の前に

はじめに .....	6
● 本書に使用しているマークについて .....	6
● 必要なシステム .....	6
● 本体と付属品 .....	7
<b>安全上のご注意 .....</b>	<b>8</b>
正しくお使いいただくためのお願い .....	12
<b>各部のなまえ .....</b>	<b>16</b>
● 正面 .....	16
● 背面 .....	16
● インジケーター .....	17

## アクセスする

<b>機能を知る .....</b>	<b>18</b>
● トップページ .....	18
● かんたん設定 .....	20
● 詳細設定 .....	22
● カメラポータル画面 .....	24

## 各機能を使う

<b>機能を使う .....</b>	<b>29</b>
● プロバイダーを登録する .....	29
● インターネットへの接続を確認する .....	43
● 接続設定を管理する .....	44
● カメラを使う .....	50
● カメラを自動登録する .....	51
● 無線LANを使う .....	56
● みえますねっとを使う .....	64
<b>拡張機能を使う .....</b>	<b>66</b>
● インターネットから本製品にアクセスする .....	66
● セキュリティを強化する .....	80
● オプションを使う .....	86
・ IPアドレス(LAN側)DHCPサーバー .....	87
・ PPPoE .....	89
・ DNSリレー .....	89
・ MTUサイズ .....	90
・ ルーティング .....	90
・ UPnP .....	92
・ IPアドレス通知 .....	94
● VPNを使う .....	95
● アプリケーション機能を使う .....	97

## 各機能を使う




<b>管理する</b> .....	<b>100</b>
● パスワードを変更する .....	100
● バージョンアップする .....	101
● バックアップする .....	103
● 再起動する .....	104
● 初期化する .....	104
● PPPoE接続/切断を使う .....	105
● ネットワークの接続を確認する .....	106
<b>情報を知る</b> .....	<b>107</b>
● ネットワーク情報を知る .....	107
● 各種ログを知る .....	110
● サポートを使う .....	113
● ヘルプを使う .....	113

## その他

<b>初期化</b> .....	<b>114</b>
● 初期化 (CLEAR SETTINGボタンを使用) .....	114
● 再起動 .....	114
<b>UPnPを使う</b> .....	<b>115</b>
<b>VPN使用時のPPTP設定: Windows XPの場合</b> .....	<b>120</b>
<b>プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定</b> .....	<b>123</b>
<b>パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには</b> .....	<b>124</b>
● Windows XP/2000の場合 .....	124
● Windows Me/98SEの場合 .....	124
<b>パソコンのIPアドレスを固定するには</b> .....	<b>126</b>
● Windows XP/2000の場合 .....	127
● Windows Me/98SEの場合 .....	129
<b>工場出荷時設定一覧</b> .....	<b>131</b>
<b>用語解説</b> .....	<b>135</b>
<b>仕様</b> .....	<b>144</b>
<b>保証とアフターサービス</b> .....	<b>147</b>
<b>さくいん</b> .....	<b>148</b>

# はじめに

## 本書に使用しているマークについて

-  ..... 参照するページを示します。
-  ..... 操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
-  ..... 便利な使い方やアドバイスなどの関連知識を記載しています。

## 必要なシステム

項目	概要
OS	Windows® XP、Windows® 2000、Windows® Me、Windows® 98SE
インターフェース	10/100 MbpsのLANカードが内蔵されていること
メモリー	64 MB以上
プロトコル	TCP/IPプロトコルがインストールされていること
ウェブブラウザ	Internet Explorer 6.0以降（日本語版）



使用しているパソコンについて不明な点がありましたときは、ネットワークカメラ カスタムコンタクトセンターでは対応しかねますので、直接パソコンメーカーにお問い合わせください。

## ■ 当社対応製品（別売品）（平成16年7月現在）

### ネットワークカメラ

#### 屋内タイプ

- KX-HCM1 (パン/チルト)
- KX-HCM2 (固定タイプ)
- KX-HCM180 (パン/チルト・ズーム)
- BB-HCM310 (パン/チルト・音声[片方向])
- BB-HCM311 (パン/チルト・音声[双方向]・SDメモリーカード録画・IPv6)

#### 屋外タイプ

- KX-HCM130 (パン/チルト)
- KX-HCM170 (パン/チルト・無線LAN)

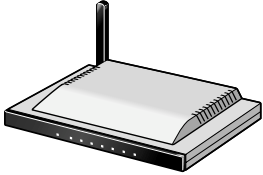
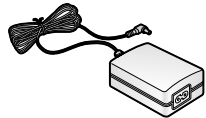

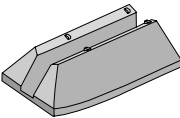

### 無線LANアダプター

- BB-HGA100
- BB-HGA102

# はじめに

## 本体と付属品

ご使用いただく前に、本体と付属品を確認してください。  
 万一、不備な点がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> 本体 ..... 1台 	<input type="checkbox"/> ACアダプター ..... 1個 (コード長 約1.8 m) (☞ かんたんガイド) 	<input type="checkbox"/> イーサネットケーブル (カテゴリ5ストレート ケーブル) * ..... 1本 (ケーブル長 約1 m) (☞ かんたんガイド)  * 付属のイーサネットケーブルは 本体とパソコンとの接続用です。 モデム(またはONU)との接続に は、別途イーサネットケーブル (市販品)が必要です。
<input type="checkbox"/> スタンド ..... 1個 (☞ かんたんガイド) 	<input type="checkbox"/> ACコード ..... 1本 (コード長 約55 cm) (☞ かんたんガイド) 	
<input type="checkbox"/> かんたんガイド ..... 1部 <input type="checkbox"/> ご使用の前に／困ったときには ..... 1冊 <input type="checkbox"/> CD-ROM (取扱説明書、設定ガイド、カメラ切断通知アプリケーション操作説明書など) ... 1枚 <input type="checkbox"/> 保証書 ..... 1式 <input type="checkbox"/> 注意ラベル ..... 1枚 <input type="checkbox"/> みえますねっとチラシ ..... 1枚 <input type="checkbox"/> みえますねっと入会申込書 ..... 1部		

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### ACアダプターやACコードを破損するようなことはしない

【ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない】



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

禁止

### ACコードのプラグおよびACアダプターのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACコードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

### ぬれた手でACアダプターやACコードの抜き差しはしない



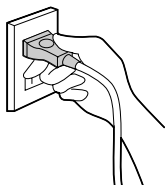
感電の原因になります。

ぬれ手禁止



### 警告

ACコードのプラグおよびACアダプターは根元まで確実に差し込む



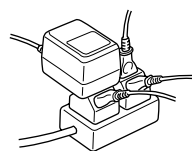
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



禁止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない



禁止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

ACコードのプラグを抜き差しするときはプラグ（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

医用電気機器の近くでの設置や使用をしない

〔手術室、集中治療室、CCU\*などには持ち込まないでください。〕



禁止



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない



禁止

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

本製品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

### 警告

本製品やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

本製品およびACアダプターをぬらさない



近くに花びん、コップなどを置かないでください。  
発火・感電の原因になります。

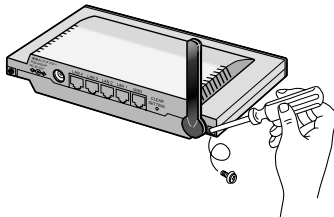
水ぬれ禁止

- ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造をしない



分解禁止



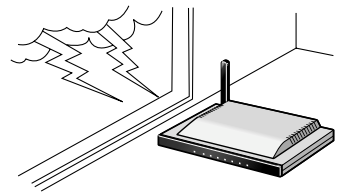
故障したり火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本製品やACアダプターに触れない



接触禁止



感電の原因になります。

CD-ROMは、オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しない



禁止

大音量によって耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

## ⚠ 注意

水平でない場所や振動の激しい場所  
には設置しない



落下により、けがの原因になる  
ことがあります。

禁止

火気を近づけない



火災の原因になることがあります。

火気禁止

水、湿気、ほこり、油煙などの多い  
場所（調理台や加湿器のそばなど）  
に設置しない



感電・ショートや故障の原因に  
なることがあります。

禁止

長期間使用しないときや、お手入れ  
するときは、必ずACコードをコン  
セントから抜く



漏電・感電の原因になること  
があります。

電源プラグ  
を抜く

ケーブルを引っぱったり、コネクター部やアンテナ部に無理な力を加え  
ない



損傷や感電の原因になることがあります。

禁止

# 正しくお使いいただくためのお願い

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。

(変形・変色または故障・誤動作の原因になります。)

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。

動作温度：0℃～40℃

動作湿度：20%～85%

(ただし、結露なきこと)

隣接して使用しているラジオやテレビから2m以上離してください。

また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

(ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。)

CD-ROMに、テープ、シールやラベルなどを貼らないでください。

また、CD-ROMの裏面に、マジックやボールペンなどで文字を書かないでください。

(読み取り障害の原因になります。)

お手入れの際は、電源を切ってください。

(誤動作の原因になります。)

ジャック内部に触れないでください。

(故障の原因になります。)

ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本製品をふかないでください。

(本製品が変形・変色することがあります。)

固くしぼった柔らかい布でふいてください。

(台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふいてください。)

- 本製品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- 本製品のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

# 正しくお使いいただくためのお願い

## セキュリティに関するご注意

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- 本製品を経由したお客様プライバシー情報の漏えい
- 悪意のある第三者による本製品の不正操作
- 悪意のある第三者による本製品の妨害や停止

行うべきセキュリティ対策は下記のとおりです。

- 不正な攻撃から守るため、最新のファームウェアを入手してバージョンアップする。  
(バージョンアップを怠ると、アクセスできなくなったり、情報の漏えいにつながる可能性があります。)
- インターネットからのデータを直接受信する場合、コンピューターウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除を行う。
- 本製品へアクセスするためのユーザー名／パスワード、本製品に対する設定情報、アプリケーション設定情報、ログなどのシステム管理情報は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。
- お客様の利用情報(ビデオ映像・静止画・インターネットコンテンツなど)は、お客様の責任管理下にあります。それらの利用者情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。
- 本製品を盗難に遭いにくい人目につかない場所に設置する。
- 当社が関与できない外部業者に修理を依頼するときは、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻す。
- 他人に譲渡するときは、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻す。
- 本製品を廃棄するときは、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻したり、あるいは、電氣的消去や物理的破壊などの手段により本製品上の情報を抹消する。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

# 正しくお使いいただくためのお願い

## 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！ お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

無線LANでは、イーサネットケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

### ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、  
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報  
メールの内容  
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、  
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）  
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）  
傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）  
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）  
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアダプター、ネットワークカメラやカメラコントロールユニットをはじめとする無線LAN製品（以下、無線LAN製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定について、お客様ご自分で対処できない場合には、ネットワークカメラカスタマコンタクトセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用することをおすすめします。

セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

上記文掲載URL: [http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/jeita\\_info.html](http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/jeita_info.html)

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

# 正しくお使いいただくためのお願い

## 無線通信の使用範囲について

本製品と無線機器の距離が約50 cm～120 m (屋内見通し距離)・約50 cm～600 m (屋外見通し距離)の範囲でお使いください。ただし、IEEE 802.11aは5.2 GHz帯域の電波を使用しています。

このため、IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

(無線機器の性能や周囲の環境によっては、使用範囲が狭くなります。)

本製品と無線端末の間に次のような物体があるときは設置場所を変更してください。

(電波を通しにくい物体が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)

- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

次のような機器と同時に本製品を使用しないでください。

(電波が混信したり、誤動作の原因になります。)

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz周波数帯域を利用している機器のある屋内

## 電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえで、ネットワークカメラカスタムコンタクトセンター(☎ 147ページ)にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ネットワークカメラカスタムコンタクトセンター(☎ 147ページ)へお問い合わせください。

## オープンソースソフトウェアについて

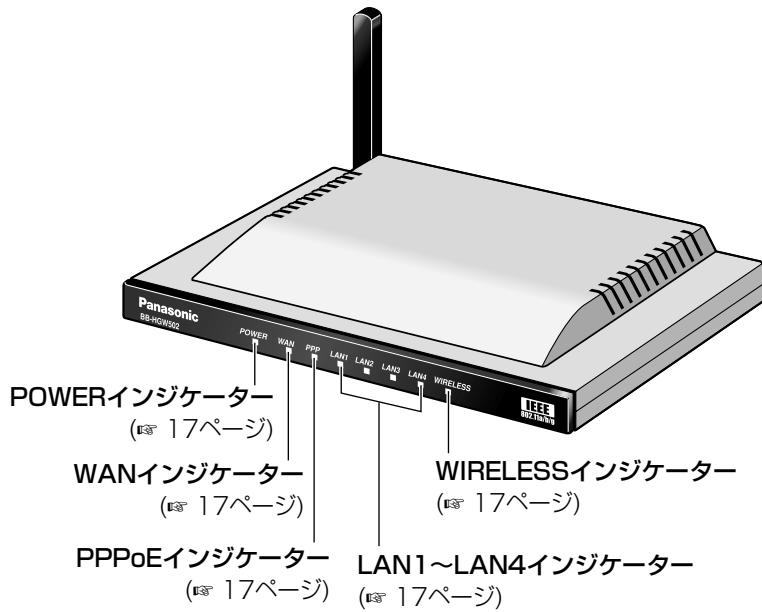
本製品には、一部、Free Software FoundationのGPLおよびLGPLの条件やその他の条件に基づき提供されているオープンソースソフトウェアを使用しています。これらのソフトウェアにはそれぞれ該当する条件が適用されますので、ご使用にあたっては、GPL/LGPLについては付属のCD-ROMのopen\_sourceフォルダの下のlicenseフォルダに格納されているgpl.txt、lgpl.txtを、その他のオープンソースソフトウェアについてはfreeware\_headerフォルダに格納されているヘッダー集を、それぞれよくお読みください。なお、これらのソフトウェアにつきましては無保証とさせていただきますので、ご了承ください。

上記内容に関するお問い合わせ先: <http://panasonic.biz/netsys/netwkcsm/>

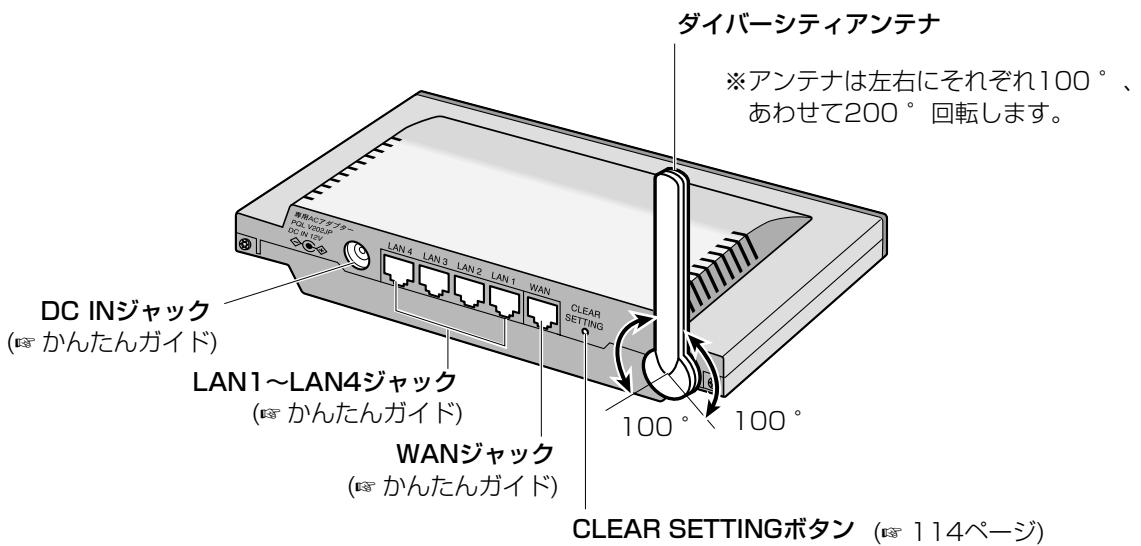
お問い合わせフォームに必要事項を記入し、当社へご連絡ください。

# 各部のなまえ

## 正面



## 背面





# 各部のなまえ

## インジケータ

インジケータ	点灯色	表示内容
POWER	□ 緑	電源が入っています。
	◻ 赤 (点滅)	本製品に障害が発生しています。 コンセントからACアダプターを抜き、再度差し込んでください。
	◻ 緑 (点滅)	ファームウェアが壊れています。 ファームウェアファイルをダウンロードしてください。 (☞ 「ご使用前に／困ったときには」の14ページ)
WAN	□ 緑	モデム(またはONU)やイーサネットハブなどに接続されています。
	◻ 緑 (点滅)	回線接続後、データ通信をしています。
LAN1～LAN4	□ 緑	パソコン、イーサネットハブに接続されています。
	◻ 緑 (点滅)	データ通信をしています。
WIRELESS	□ 緑	無線端末と接続しています。
	◻ 緑 (点滅)	無線でデータ通信しています。
	□ オレンジ	無線端末と接続されていません。
	■ 消灯	通信モードが無効に設定されており、無線が使われていません。(☞ 56ページ)
PPPoE	◻ 緑 (点滅)	PPPoE接続を試行中です。
	□ 緑	PPPoE接続を完了しています。
	□ オレンジ	PPPoE認証エラーです。

# 機能を知る

## トップページ

設定方法には、かんたん設定と詳細設定があります。トップページでいずれかの設定方法を選べます。カメラポータル画面は、本製品に接続しているカメラ画像を表示します。

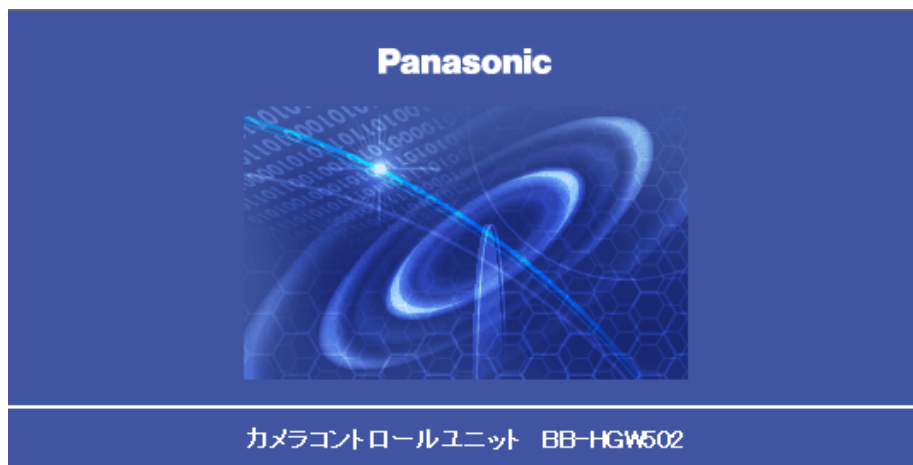
- 1 ウェブブラウザのアドレスバーに  
**http://bbhgw.webpage:8080**を入力する  
(ポート番号の工場出荷時設定は8080です。)  
ユーザー名とパスワードの設定画面が表示されます。

- 2 「新しいユーザー名」、「新しいパスワード」、  
「新しいパスワードの再入力」を入力して、  
**保存** をクリックする

トップページが表示されます。



- 本製品の設定には、最低限、ユーザー名/パスワードによる認証を常に行ってください。
- 本製品へアクセスするためのユーザー名/パスワード、本製品に対する設定情報、アプリケーション設定情報、ログなどのシステム管理情報は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセス制限をしたり、利用者以外にはユーザー名/パスワードやその他の設定・管理情報は秘密にしてください。



かんたん設定へ  
(☞ 20ページ)

かんたん設定

インターネット接続で必要最小限の設定を行います。

詳細設定へ  
(☞ 22ページ)

詳細設定

すべての項目について設定できます。

カメラポータル  
画面へ  
(☞ 24ページ)

カメラポータル画面

BB-HGW502に接続されているネットワークカメラの入口ページへ移動します。

※カメラポータル画面をご使用の際は、必ずセキュリティ設定をご確認ください。

設定は [こちら](#)



- 工場出荷時設定では、ウェブブラウザのアドレスバーに<http://192.168.0.254:8080>と入力しても、トップページを表示させることができます。
- トップページから「かんたん設定」画面または「詳細設定」画面にアクセスするときには認証画面が表示されます(ウェブブラウザ起動後、初回のみ)。ユーザー名とパスワードを入力したあと **OK** をクリックしてログインしてください。
- 本製品のカメラポータル画面からカメラ画像を見るためには、本製品と対応ネットワークカメラ(別売品)との接続が完了している必要があります。詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

## ■ トップページが表示されなかった場合

- アドレスバーに<http://bbhgw.webpage:8080>を正しく入力しているか、確認してください。(ポート番号の工場出荷時設定は8080です。) 入力が正しいにもかかわらずトップページが表示されない場合には、<http://192.168.0.254:8080>を入力してください。
- 本製品に接続されているLANジャックに対応したLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- 本製品→パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- トップページにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 123ページ)

## かんたん設定

インターネット接続の設定をします。

### 1 「かんたん設定」をクリックする

接続形態を選ぶ画面が表示されます。  
ユーザー名とパスワードを入力したあと **OK** を  
クリックしてログインしてください。  
トップページからアクセスするときには認証画面が  
表示されます。

### 2 接続形態を選んで、**次へ** をクリックする



接続形態メニューの中に該当する形態がない  
ときは、「その他」を選んでください。

### 3 画面の指示に従って入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。

### 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする

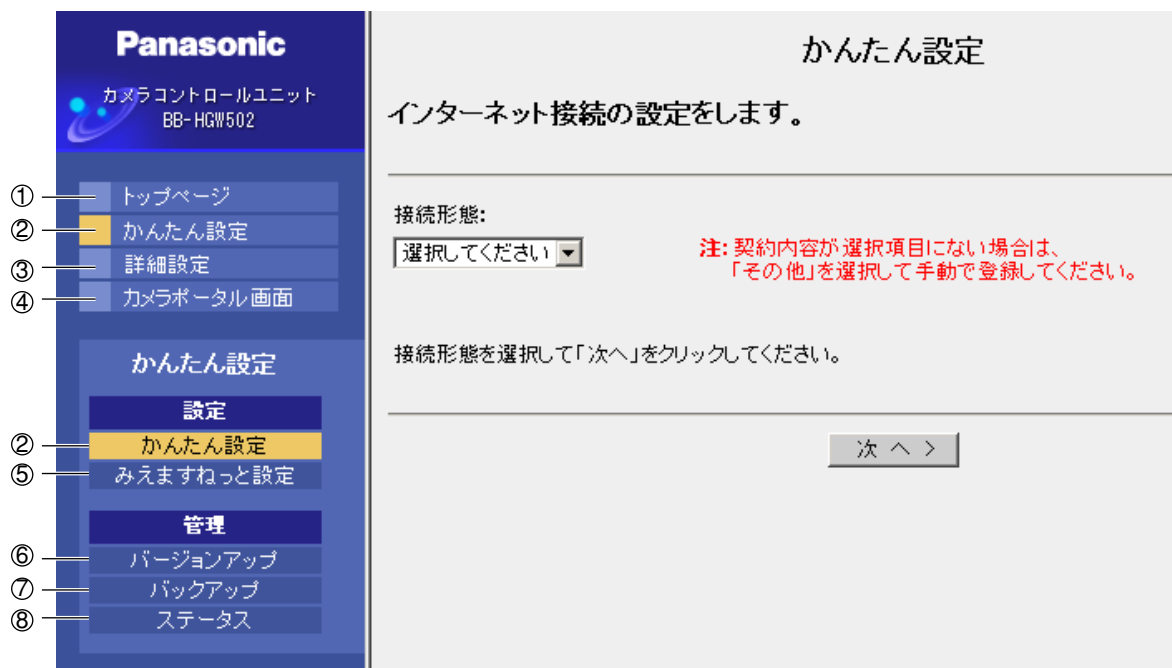
設定した内容が保存されます。

### 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それを をクリックする



- 「かんたん設定」で登録したプロバイダーは、詳細設定画面にあるプロバイダー登録モニター中のNo. 1の欄に上書きされます。
- 「かんたん設定」に関する詳細な説明は、「かんたんガイド」を参照してください。

# 機能を知る



- ① **トップページ**： トップページを表示します。
- ② **かんたん設定**： インターネット接続の設定をします。
- ③ **詳細設定**： 設定画面を表示します。すべての項目について設定できます。
- ④ **カメラポータル画面**： 本製品に接続されているカメラ画像を見ることができます。

## 【設定】

- ② **かんたん設定**： インターネット接続の設定をします。
- ⑤ **みえますねっと設定**： みえますねっとの設定を行います。

## 【管理】

- ⑥ **バージョンアップ\***： ファームウェアを最新版に更新します。
- ⑦ **バックアップ**： 設定をバックアップファイルとして保存したり、バックアップファイルを使って設定を復元します。
- ⑧ **ステータス**： 回線接続状態などの情報を表示します。

※ パナソニックのサポートウェブサイトから最新のファームウェアファイルをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要になります。

## 詳細設定

パソコンからウェブブラウザを使って設定を行うことができます。  
メニュー画面で選んだ項目の内容がメイン画面に表示されます。  
各項目ごとに操作に関するヘルプ画面を参照できます。

The screenshot shows the Panasonic camera control interface. On the left is the 'メニュー画面' (Menu Screen) with 25 numbered items. On the right is the 'メイン画面' (Main Screen) displaying 'プロバイダー登録' (ISP Registration) settings.

**メニュー画面 (Menu Screen):**

- ① トップページ
- ② かんたん設定
- ③ 詳細設定
- ④ カメラポータル画面
- ⑤ プロバイダー登録
- ⑥ 接続設定管理
- ⑦ カメラ設定
- ⑧ 無線設定
- ⑨ みえますねっと設定
- ⑩ 拡張機能
- ⑪ アドレス変換
- ⑫ セキュリティ設定
- ⑬ オプション設定
- ⑭ VPN設定
- ⑮ アプリケーション機能
- ⑯ 管理
- ⑰ パスワード設定
- ⑱ バージョンアップ
- ⑲ バックアップ
- ⑳ 再起動
- ㉑ 初期化
- ㉒ PPPoE接続/切断
- ㉓ Ping
- ㉔ 情報表示
- ㉕ ステータス
- ㉖ ログ表示
- ㉗ サポート
- ㉘ ヘルプ

**メイン画面 (Main Screen):**

プロバイダー登録

新規登録および編集を行うには、その設定の「登録/編集」をクリックしてください。DHCP接続、Static接続およびPPPoEセッションの使用接続先を登録、変更する場合は、左メニューの「接続設定管理」をクリックしてください。

注: 設定は登録した「プロバイダー名称」ごとに管理されます。  
プロバイダーの登録数は最大4つです。

プロバイダー登録モニター

No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2		未登録	登録/編集		削除
3		未登録	登録/編集		削除
4		未登録	登録/編集		削除

こちらから、使用接続先を変更することができます。  
使用接続先が未使用になる場合は、適切なWAN(インターネット)側接続モードが選択されているか、ご確認ください。

- ① **トップページ:** トップページを表示します。(☞ 18ページ)
- ② **かんたん設定:** インターネット接続の設定をします。(☞ 20ページ)
- ③ **詳細設定:** 設定画面を表示します。すべての項目について設定できます。(☞ 本ページ)
- ④ **カメラポータル画面:** 本製品に接続しているカメラ画像を見ることができます。(☞ 24ページ)

### 【設定】

- ⑤ **プロバイダー登録:** インターネットに接続するための基本的な設定をします。(☞ 29ページ)
- ⑥ **接続設定管理:** 接続するプロバイダーを設定します。また、PPPoEマルチセッションで接続する場合の詳細設定をします。(☞ 44ページ)
- ⑦ **カメラ設定:** カメラ自動登録機能の設定や、手動での追加登録・削除などを行います。(☞ 50ページ)
- ⑧ **無線設定:** 無線LANの動作モードや無線セキュリティの設定をします。(☞ 56ページ)
- ⑨ **みえますねっと設定:** みえますねっとの設定を行います。(☞ 64ページ)

# 機能を知る

---

## 【拡張機能】

- ⑩ アドレス変換： WAN(インターネット)側のグローバルアドレスとLAN側プライベートアドレスを相互変換して、インターネットの端末から本製品のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。(☞ 66ページ)
- ⑪ セキュリティ設定： 本製品へのアクセス制限およびフィルタリングの設定をワンタッチで行い、自動的にログを保存します。(☞ 80ページ)
- ⑫ オプション設定： LAN(ホーム)側にアクセスするための設定と、インターネットに接続するための詳細な設定をします。(☞ 86ページ)
- ⑬ VPN設定： 本製品は、PPTP(Point-to-Point Tunneling Protocol)によりVPN(Virtual Private Network: 私設仮想回線)を構築することができます。VPNとは、インターネットを介して専用線のように安全性を確保する仮想的な私設回線です。この機能を使って、遠隔地のパソコンからカメラ映像を安全に見ることができます。(☞ 95ページ)
- ⑭ アプリケーション機能： 本製品専用のさまざまなアプリケーションを登録したり、実行したり、削除したりできます。(☞ 97ページ)

## 【管理】

- ⑮ パスワード設定： 設定画面にアクセスするためのユーザー名やパスワードを変更します。(☞ 100ページ)
- ⑯ バージョンアップ※： ファームウェアを最新版に更新します。(☞ 101ページ)
- ⑰ バックアップ： 設定をバックアップファイルとして保存したり、バックアップファイルを使って設定を復元します。(☞ 103ページ)
- ⑱ 再起動： 本製品を再起動します。(☞ 104ページ)
- ⑲ 初期化： 本製品を初期化します。設定値が、工場出荷時に設定されている工場出荷時設定(☞ 131ページ)に戻ります。(☞ 104ページ)
- ⑳ PPPoE接続／切断： プロバイダーへのPPPoE接続を手動で開始または停止します。(☞ 105ページ)
- ㉑ Ping： IPアドレスをもった機器が接続されているか確認します。(☞ 106ページ)

## 【情報表示】

- ㉒ ステータス： 回線接続状態などの情報を表示します。(☞ 107ページ)
- ㉓ ログ表示： 「フィルタリングログ」、「UPnPログ(一般)」、「UPnPログ(CP機能)」、「接続／切断ログ」、「みえますねっとログ」、「VPN接続／切断ログ」、「メール送信ログ」を表示します。(☞ 110ページ)
- ㉔ サポート： 製品やサポートに関する情報を、インターネットから得ることができます。(☞ 113ページ)
- ㉕ ヘルプ： 設定画面のコマンドや機能について説明します。(☞ 113ページ)

※ パナソニックのサポートウェブサイトから最新のファームウェアファイルをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要になります。

## カメラポータル画面

本製品は、ウェブサーバー機能を内蔵しています。カメラポータル画面は、最大16台までのカメラ名と静止画像を一覧表示することができます。

### ■ LAN(ホーム)側からカメラ画像を見る

カメラポータル画面へアクセスし、カメラ画像を見ることができます。

1 ウェブブラウザを起動する

2 ウェブブラウザのアドレスバーに  
**http://bbhgw.webpage:ポート番号**を入力する  
(ポート番号の工場出荷時設定は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)

カメラポータル画面が表示されます。  
静止画をクリックすると、シングル動画を表示することができます。



- 鍵マークが表示された場合は、鍵マークをクリックしてそのカメラのユーザー名とパスワードを入力してください。  
(カメラに認証設定がされていると、鍵マークが表示されます。)

鍵マーク

- 青い無印の画面が表示された場合は、**カメラ更新** をクリックしてください。  
(認証設定確認ができないカメラや、IPアドレスやポート番号が重複しているカメラに対しては、青い無印の画面が表示されることがあります。カメラの設定を確認してください。)

青い無印の画面

- !マークが表示された場合は、!マークをクリックするとカメラの初期パスワード画面が表示されます。  
(工場出荷時設定状態のカメラを接続したときに表示されます。)

!マーク

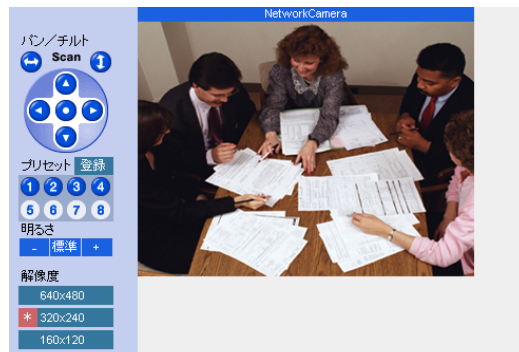
- 本製品とカメラの通信で切断が発生した場合、鍵マーク(カメラに認証設定がされている場合)、あるいは青い無印の画面が表示されることがあります。この場合は本製品とカメラの接続、カメラの電源などを確認してから、**カメラ更新** をクリックしてください。





## 3 アクセスしたいカメラ枠をクリックする

認証画面が表示された場合は、カメラのユーザー名とパスワードを入力してください。カメラ画像が表示されます。



- カメラポータル画面を更新するときは、設定画面上の **カメラ更新** をクリックしてください。ウェブブラウザの更新ボタンをクリックすると、カメラ画像が鍵マークに戻ります。
- 一度カメラのユーザー名とパスワードを入力しカメラ画像を表示させたあとは、カメラポータル画面には鍵マークではなく、カメラ画像が表示されます。詳細設定など他の画面を表示させると鍵マークに戻りますが、再度鍵マークをクリックすると認証画面が表示されることなくカメラ画像が表示されます。



### プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

### ■ カメラポータル画面上にカメラ画像が表示されなかった場合

- WANインジケータ、および本製品に接続されているLANジャックに対応したLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- カメラポータル画面にアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 123ページ)
- モデム(またはONU)→本製品→パソコンの順で電源を入れたか確認してください。
- カメラポータル画面にカメラ名、 マーク、青い無印の画面もしくは白画面が表示されているときは、**カメラ更新** をクリックしてください。
- カメラポータル画面に！マークが表示されているときは、！マークをダブルクリックしてください。カメラの初期パスワード画面が表示されます。

# 機能を知る

## ■ WAN(インターネット)側からカメラ画像を見る

WAN側からカメラポータル画面へアクセスし、カメラ画像を見ることができます。



WAN(インターネット)側からカメラ画像を見るためには、本製品がWAN(インターネット)に接続されている必要があります。インターネットへの接続方法については、かんたんガイドまたは「機能を使う」(☞ 29ページ)以降を参照してください。

### 1 ウェブブラウザを起動する

### 2 ウェブブラウザのアドレスバーに http://WAN側のIPアドレスまたはURL: ポート番号を入力する

(例: http://10.75.68.251:80/

http://www.example.com:80/

ポート番号の工場出荷時設定は80です。ポート番号が80の場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)



- WAN側IPアドレスは設定画面のステータスで確認することができます。(☞ 107ページ)
- 本製品を固定IPサービスでないサービスで使用する場合は、IPアドレスが随時変更されますので、みえますねっとサービスのご利用をおすすめします。(☞ 64ページ)

### 3 を押す

カメラポータル画面が表示されます。

カメラポータル画面

カメラ更新



# 機能を知る



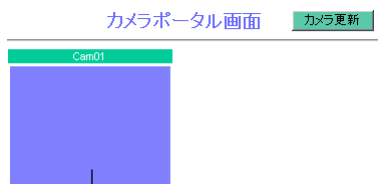
- 鍵マークが表示された場合は、鍵マークをクリックしてそのカメラのユーザー名とパスワードを入力してください。  
(カメラに認証設定がされていると、鍵マークが表示されます。)

鍵マーク



- 青い無印の画面が表示された場合は、**カメラ更新** をクリックしてください。  
(認証設定確認ができないカメラや、IPアドレスやポート番号が重複しているカメラに対しては、青い無印の画面が表示されることがあります。カメラの設定を確認してください。)

青い無印の画面



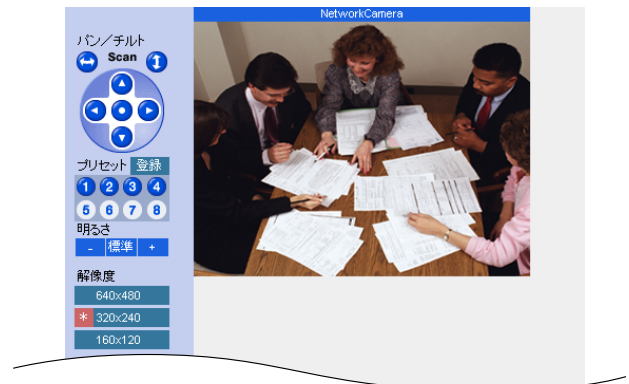
- !マークが表示された場合は、!マークをクリックするとカメラの初期パスワード画面が表示されます。  
(工場出荷時設定状態のカメラを接続したときに表示されます。)

!マーク



- 本製品とカメラの通信で切断が発生した場合、鍵マーク(カメラに認証設定がされている場合)、あるいは青い無印の画面が表示されることがあります。この場合は本製品とカメラの接続、カメラの電源などを確認してから、**カメラ更新** をクリックしてください。

- 4** アクセスしたいカメラ枠をクリックする  
認証画面が表示された場合は、カメラのユーザー名とパスワードを入力してください。カメラ画像が表示されます。



## ■ カメラポータル画面が表示されなかった場合

- アドレスバーにhttp://WAN側IPアドレスまたはURL: ポート番号が正しく入力されているか、確認してください。
- ウェブサイトにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(☞ 123ページ)
- カメラポータル画面にカメラ名と  マークもしくは白画面が表示されているときは、 をクリックしてください。



- お客様の利用情報(ビデオ映像・静止画・インターネットコンテンツなど)は、お客様の責任管理下にあります。それら利用者情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセス制限をしてください。
- カメラポータル画面やカメラの設定を変更する場合は、「カメラを使う」(☞ 50ページ)を参照してください。



## プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

# 機能を使う

## プロバイダーを登録する

プロバイダー登録画面では、本製品と接続するプロバイダーを新規登録 (☞ 30ページ) したり、編集、削除 (☞ 42ページ) することができます。インターネットへの接続方法はプロバイダーによって異なります。プロバイダーからの設定情報を見て、接続方法を選んでください。

プロバイダー登録モニター

No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2		未登録	登録/編集		削除
3		未登録	登録/編集		削除
4		未登録	登録/編集		削除

**インターネットの接続方法** がどれに該当するかなど、サービス内容や契約内容についての詳細はご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

### データ入力欄 (次ページ以降の入力について)

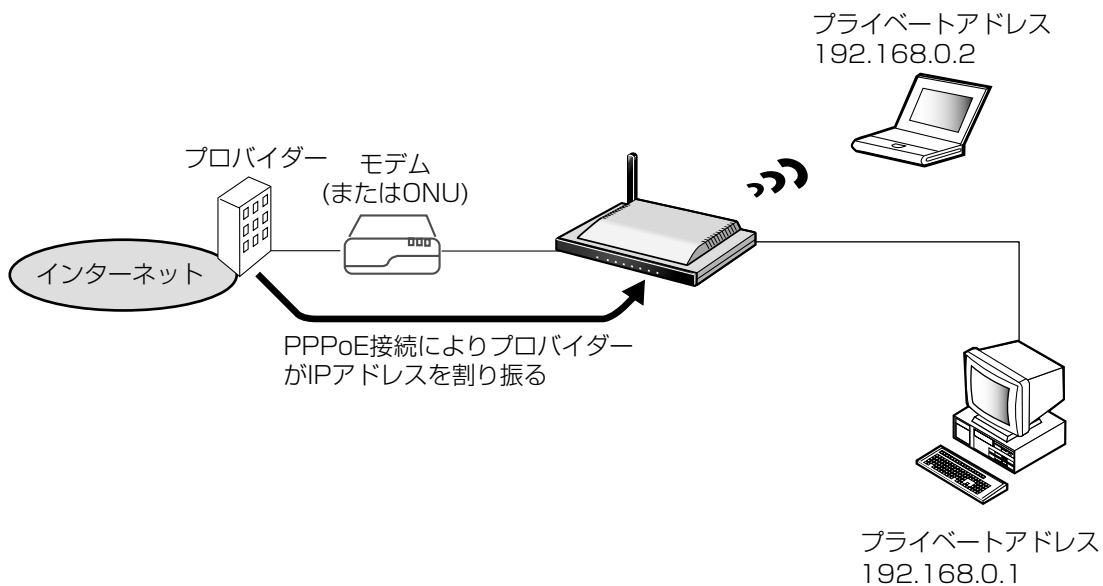
接続方法	説明
<b>DHCP接続 (☞ 33ページ)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プロバイダーの名称</li><li>● デバイス名</li><li>● ゲートウェイ</li><li>● DNSサーバー1/DNSサーバー2</li><li>● ドメイン名</li></ul>	プロバイダーがDHCPサーバー機能を利用している場合、基本的に設定値の入力は必要ありませんが、デバイス名、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2、ドメイン名の入力を求められる場合があります。プロバイダーからの設定情報を参照のうえ、必要に応じて入力してください。
<b>端末型Static接続 (☞ 35ページ)</b> <b>LAN型Static接続 (☞ 40ページ)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プロバイダーの名称</li><li>● IPアドレス</li><li>● サブネットマスク</li><li>● ゲートウェイ</li><li>● DNSサーバー1/DNSサーバー2</li><li>● ドメイン名</li></ul>	プロバイダーが指定したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー1、DNSサーバー2を入力してください。プロバイダーから指定がある場合は、ドメイン名を入力してください。
<b>端末型PPPoE接続 (☞ 30ページ)</b> <b>LAN型PPPoE接続 (☞ 37ページ)</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● プロバイダーの名称</li><li>● ユーザー名/パスワード</li><li>● サービス名</li><li>● アクセスコンセントレーター名</li><li>● DNSサーバー1/DNSサーバー2</li><li>● ドメイン名</li><li>● BB-HGW502本体のIPアドレス/ サブネットマスク (LAN型接続のみ)</li></ul>	PPPoE接続をする場合、これらに関するデータの入力が必要になります。プロバイダーからの設定情報を参照のうえ、ユーザー名とパスワードを入力してください。プロバイダーから指定がある場合は、サービス名、アクセスコンセントレーター名、DNSサーバー1、DNSサーバー2、ドメイン名を入力してください。

\* データ入力欄に設定する内容がない場合は、空欄のままにしてください。

# 機能を使う

## ■ 端末型PPPoE接続の場合

端末型PPPoE接続の設定は、次の手順に従ってください。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 端末型の「**PPPoE接続**」を選ぶ



# 機能を使う

**4** 「プロバイダーの名称」を入力する  
半角20文字（全角10文字）以内で入力してください。  
右の例では、「abcde」を入力しています。

**5** 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、  
プロバイダーから指定がある場合は「サービス名」、「アクセス  
コンセントレーター名」、「DNSサーバー1、2」、「ドメイン名」を入力  
する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。  
元の設定に戻すには、「元に戻す」をクリックして  
ください。

**6** 設定を終えたら、「保存して接続設定管理へ」  
をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

**7** プロバイダー設定のメインセッションで、ス  
テップ4で入力したプロバイダーを選ぶ

マルチセッション機能を使用する場合は、サブセッ  
ションの設定をします。「PPPoEマルチセッション  
機能」(P.46ページ)を参照してください。

**8** 設定を終えたら、「保存」をクリックする  
設定した内容が保存されます。

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称

プロバイダー登録

ユーザー名

パスワード

プロバイダーから指定があるときに入力

サービス名

アクセス  
コンセントレーター名

DNSサーバー1

DNSサーバー2

ドメイン名

保存して接続設定管理へ 元に戻す 戻る

WAN(インターネット)側接続モード

接続モード  DHCP/Static  PPPoE

プロバイダー設定

接続名 **プロバイダー選択**

メインセッション

これ以降は、プロバイダーとマルチセッションで使用する契約を結んだときのみ、設定が必要になります。

サブセッション

サブセッションへの切り替えルール

送信元IPアドレス

あて先IPアドレス  
またはホスト名

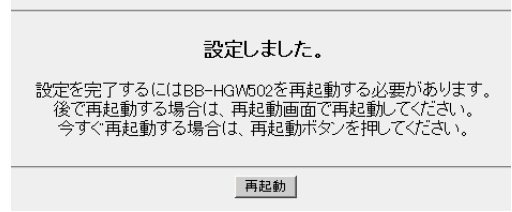


保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

9 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。  
(☞ 43ページ)



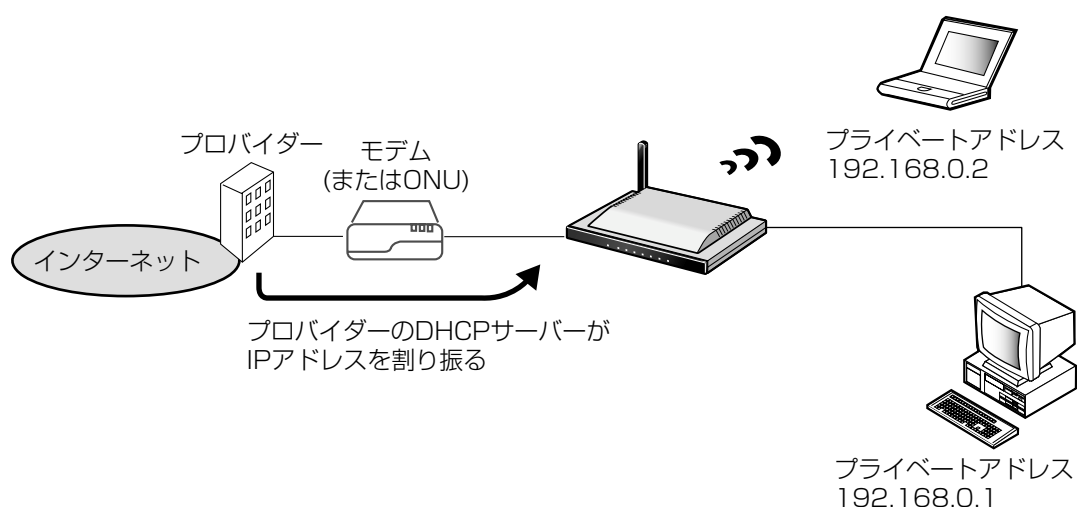
- 登録／編集を行った場合、LAN(ホーム)側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。
- 利用するプロバイダーから指示がある場合、MTU値を変更してください。指示がない場合は工場出荷時設定(1492)のままにしてください。(☞ 90ページ)



# 機能を使う

## ■ DHCP接続(DHCPサーバーを使ったインターネット接続)の場合

DHCP接続(プロバイダーからIPアドレスが自動的に割り振られる)は、次の手順に従ってください。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 「**DHCP接続**」を選ぶ



## 4 「プロバイダーの名称」を入力する

半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。  
右の例では、「abcde」を入力しています。

## 5 プロバイダーから指定がある場合は「デバイス名」\*、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1、2」、「ドメイン名」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。  
元の設定に戻すには、「元に戻す」をクリックしてください。

\* 「デバイス名」は、プロバイダーによってはパソコンのコンピューター名入力欄に入力するIDと指示されている場合があります。

## 6 設定を終えたら、「保存して接続設定管理へ」をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

## 7 プロバイダー設定のプロバイダー選択の中から、ステップ4で入力したプロバイダーを選ぶ

## 8 設定を終えたら、「保存」をクリックする

設定した内容が保存されます。

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称 abcde

プロバイダーから指定があるときに入力

デバイス名

ゲートウェイ

DNSサーバー1

DNSサーバー2

ドメイン名

保存して接続設定管理へ 元に戻す 戻る

WAN(インターネット)側接続モード

接続モード  DHCP/Static  PPPoE

プロバイダー設定

接続名 プロバイダー選択

DHCP/Static かんたん設定

未使用  
かんたん設定  
abcde

保存 元に戻す



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

## 9 設定画面に「再起動」が表示されたら、それをクリックする

## 10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。  
(☞ 43ページ)

設定しました。

設定を完了するにはBB-HGW502を再起動する必要があります。  
後で再起動する場合は、再起動画面で再起動してください。  
今すぐ再起動する場合は、再起動ボタンを押してください。

再起動

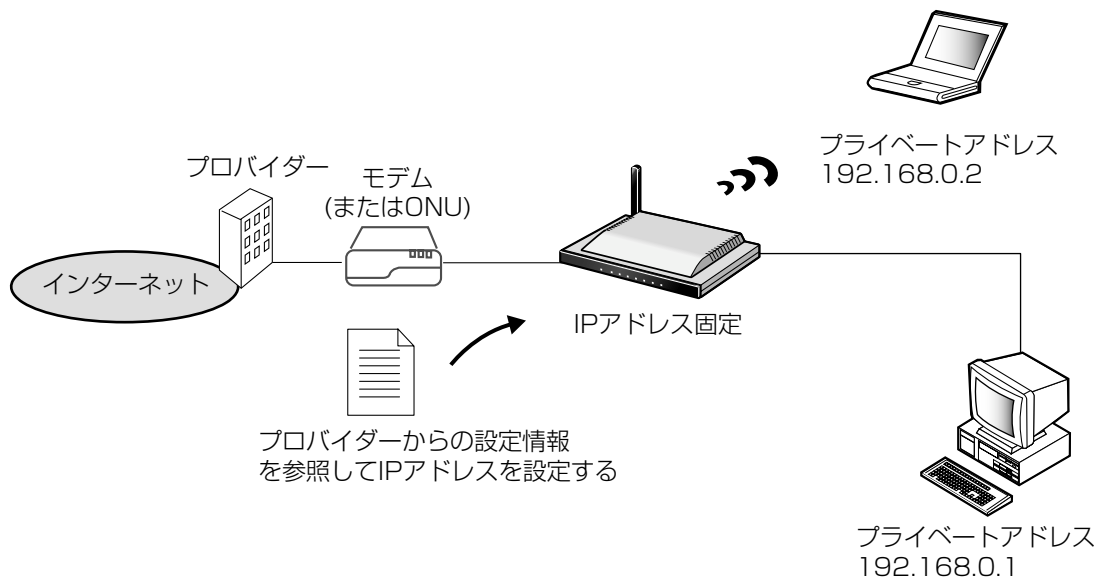


- 登録／編集を行った場合、LAN(ホーム)側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。

# 機能を使う

## ■ 端末型Static接続(1つの固定IPアドレスによるインターネット接続)の場合

プロバイダーからの設定情報にIPアドレスやゲートウェイアドレスなどの値を入力するように指示がある場合は、本製品にこれらの値を入力する必要があります。



- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 端末型の「**Static接続**」を選ぶ



# 機能を使う

## 4 「プロバイダーの名称」を入力する

半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。  
右の例では、「abcde」を入力しています。

## 5 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1、2」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は「ドメイン名」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。  
元の設定に戻すには、「**取り消し**」をクリックしてください。

## 6 設定を終えたら、「保存して接続設定管理へ」をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

## 7 プロバイダー設定のプロバイダーメニューの中から、ステップ4で入力したプロバイダーを選ぶ

## 8 設定を終えたら、「保存」をクリックする

設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

## 9 設定画面に「再起動」が表示されたら、それをクリックする

## 10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。  
(☞ 43ページ)



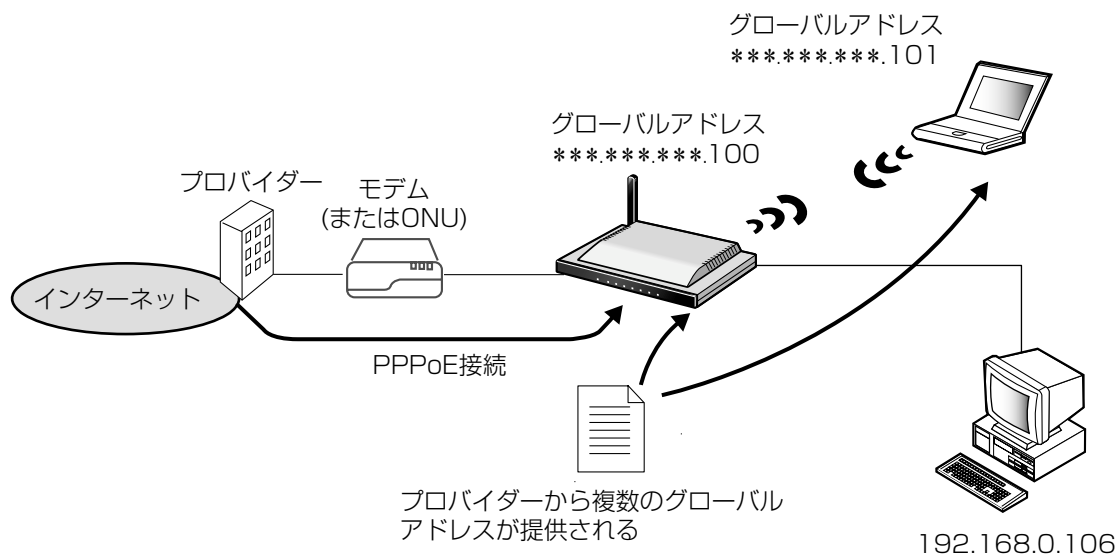
- 登録／編集を行った場合、LAN(ホーム)側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。

# 機能を使う

## ■ LAN型PPPoE接続の場合

LAN型PPPoE接続は、複数のグローバルアドレスをプロバイダーから提供される接続形態です。

LAN型PPPoE接続の設定は、次ページの手順に従ってください。



本ページは、プロバイダーへの接続を説明しています。LAN型PPPoEで実際にグローバルアドレスを使用する場合は79ページを参照してください。



\*\*\*\*\*.100/29というネットワークアドレスとプレフィックスをプロバイダーから提供された場合、グローバルアドレスの使いかたは次表のようになります。LAN型PPPoE接続またはLAN型Static接続をご使用になる場合に参照ください。

### <LAN型接続の場合の配布例>

	LAN型PPPoE接続またはLAN型Static接続
ネットワークアドレス	*****.100
BB-HGW502のグローバルアドレス	*****.101
カメラまたはパソコン	*****.102-*****.105 192.168.0.106: LANに接続するカメラやパソコンの台数に対してグローバルアドレスが不足している場合、IPマスカレード機能を使って接続する
ブロードキャストアドレス	*****.107

# 機能を使う

- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 LAN型の「**PPPoE接続**」を選ぶ

- 4 「**プロバイダーの名称**」を入力する  
半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。  
右の例では、「abcde」を入力しています。

- 5 「**ユーザー名**」、「**パスワード**」、「**DNSサーバー1**」、「**2**」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は「**サービス名**」、「**アクセスコンセントレーター名**」、「**ドメイン名**」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。

#### BB-HGW502本体のIPアドレスについて

プロバイダーから割り振られたグローバルアドレスの1つとサブネットマスクを「BB-HGW502本体のIPアドレス」に入力してください。本製品からインターネットに直接送信するときに、このIPアドレスを送信元IPアドレスとして使います。

元の設定に戻すには、**元に戻す** をクリックしてください。

接続モード登録 現在の設定

--- 端末型 ---

PPPoE接続

DHCP接続

Static接続

--- LAN型 ---

PPPoE接続

Static接続

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称 abcde

プロバイダー登録

ユーザー名

パスワード

プロバイダーから指定があるときに入力

サービス名

アクセス  
コンセントレーター名

DNSサーバー1

DNSサーバー2

ドメイン名

BB-HGW502本体のIPアドレス

IPアドレス

サブネットマスク

注: BB-HGW502のWAN(インターネット)側のIPアドレスであり、BB-HGW502からWAN(インターネット)側へ直接送信するときに使用されます。(例: BB-HGW502からのPing) 静的IPアドレス変更およびIPアドレスで使用するIPアドレスは、アドレス変更の「LAN型」で設定してください。

保存して接続設定管理へ 元に戻す 戻る

# 機能を使う

- 6 設定を終えたら、**保存して接続設定管理へ**をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。

- 7 プロバイダー設定のメインセッションで、ステップ4で入力したプロバイダーを選ぶ  
マルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションの設定をします。「PPPoEマルチセッション機能」(☞ 46ページ)を参照してください。

- 8 設定を終えたら、**保存**をクリックする  
設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 9 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

- 10 パソコンにグローバルアドレスを割り振る
- **パソコンにグローバルアドレスを固定する**  
126ページの「パソコンのIPアドレスを固定するには」を参照してください。
  - **パソコンにプライベートアドレスを固定し、静的NATを利用してグローバルアドレスを設定する**  
126ページの「パソコンのIPアドレスを固定するには」、および73ページの「静的NAT」を参照してください。

- 11 パソコンを再起動する  
インターネットへの接続を確認してください。(☞ 43ページ)



- 登録／編集を行った場合、LAN(ホーム)側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。

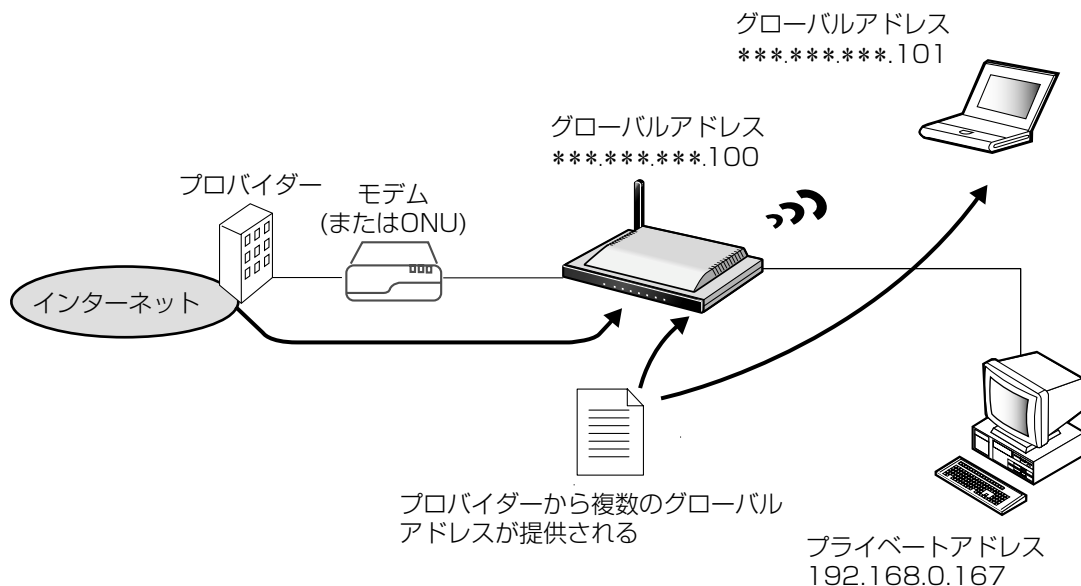
# 機能を使う

## ■ LAN型Static接続(複数の固定IPアドレスによるインターネット接続)の場合

プロバイダーからの設定情報にIPアドレスやゲートウェイアドレスなどの値を入力するように指示がある場合は、本製品にこれらの値を入力する必要があります。



\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.100/29というネットワークアドレスとプレフィックスを提供された場合のグローバルアドレスの使いかたについては、37ページの<LAN型接続の場合の配布例>表を参照ください。



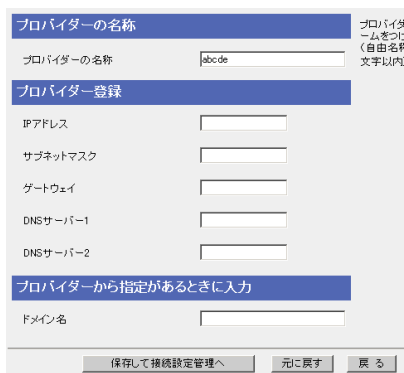
- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする
- 3 LAN型の「**Static接続**」を選ぶ





## 4 「プロバイダーの名称」を入力する

半角20文字 (全角10文字) 以内で入力してください。  
右の例では、「abcde」を入力しています。

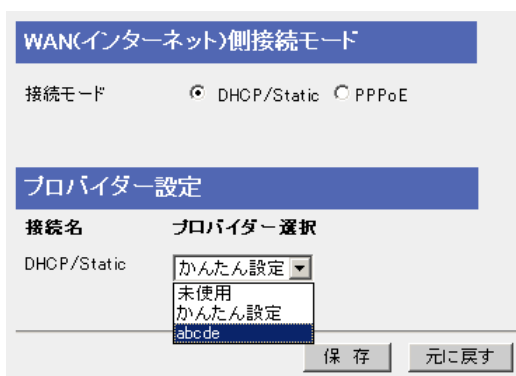


## 5 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNSサーバー1、2」を入力し、プロバイダーから指定がある場合は「ドメイン名」を入力する

プロバイダーからの設定情報を参照してください。  
元の設定に戻すには、「**取り消し**」をクリックしてください。

## 6 設定を終えたら、「保存して接続設定管理へ」をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。



## 7 プロバイダー設定のプロバイダーメニューの中から、ステップ4で入力したプロバイダーを選ぶ

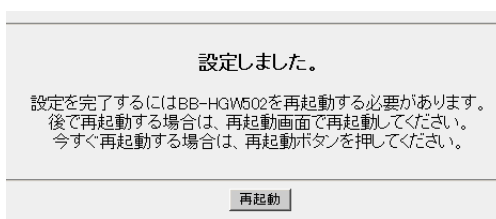
## 8 設定を終えたら、「保存」をクリックする

設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

## 9 設定画面に「再起動」が表示されたら、それをクリックする



## 10 パソコンを再起動する

インターネットへの接続を確認してください。  
(☞ 43ページ)



- 登録／編集を行った場合、LAN(ホーム)側に接続しているすべてのパソコンを再起動してください。
- 設定完了後パソコンを増設する場合は、増設するパソコンをLAN1～LAN4ジャックに接続してから再起動してください。
- データ入力欄には、スペースおよびダブルクォーテーション ["] を入れないでください。



本ページは、プロバイダーへの接続を説明しています。LAN型PPPoEで実際にグローバルアドレスを使用する場合は79ページを参照してください。

# 機能を使う

## ■ プロバイダーの登録削除

プロバイダー登録モニターからプロバイダーを削除するには、次の手順に従ってください。

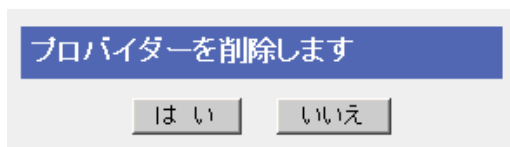
- 1 **削除** したいプロバイダーの登録削除項目の削除を押す

プロバイダーを削除する／しないの確認画面が表示されます。

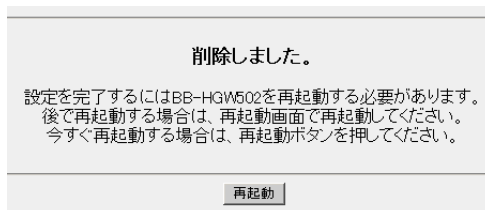
プロバイダー登録モニター					
No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2		未登録	登録/編集		削除
3		未登録	登録/編集		削除
4		未登録	登録/編集		削除

- 2 **はい** をクリックする

削除を中止する場合は、**いいえ** をクリックしてください。



- 3 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする



## インターネットへの接続を確認する

### ■ 接続の確認

インターネットに接続するための設定が終わったら、ウェブサイトにアクセスしてみてください。ウェブサイトが表示されたら、インターネットに接続されたことになります。

**1** ウェブブラウザを起動する

**2** ウェブブラウザのアドレスバーにウェブサイトのアドレス（例 <http://panasonic.jp>）を入力して、**Enter** を押す  
ウェブサイトが表示されます。



### ■ ウェブサイトが表示されなかった場合

- ウェブサイトのアドレスがウェブブラウザのアドレスバーに正しく入力されているか、確認してください。
- 本製品に接続しているWANジャック、LANジャックに対応したWANインジケータ、およびLANインジケータが点灯しているか確認してください。
- モデム(またはONU)→本製品→パソコンの順番で電源を入れたか確認してください。
- ウェブサイトにアクセスするには、ウェブブラウザのプロキシサーバー設定が必要になる場合があります。(P.123ページ)

# 機能を使う

## 接続設定を管理する

接続設定管理画面は、登録したプロバイダーの切り替えと、マルチセッションの使用を目的としています。接続設定管理画面では、LAN(ホーム)側からWAN(インターネット)側に、プロバイダー登録された接続するプロバイダーを選びます。

WAN(インターネット)側へ接続するプロバイダーの接続モードには、「DHCP/Static」と「PPPoE」の2種類があります。

### ■ WAN(インターネット)側接続モードをDHCP/Staticに設定する場合

- 1 メニュー画面の接続設定管理をクリックする  
接続設定管理画面が表示されます。
- 2 接続モードとして「DHCP/Static」がチェックされていることを確認する  
工場出荷時設定では「DHCP/Static」がチェックされています。
- 3 プロバイダー設定のドロップダウンリストで、プロバイダーを選ぶ

WAN(インターネット)側接続モード

接続モード  DHCP/Static  PPPoE

プロバイダー設定

接続名                      プロバイダー選択

DHCP/Static                     

保存                      元に戻す

- 4 **保存** をクリックする  
設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。
- 5 **再起動** をクリックする

設定しました。

設定を完了するにはBB-HGW502を再起動する必要があります。  
後で再起動する場合は、再起動画面で再起動してください。  
今すぐ再起動する場合は、再起動ボタンを押してください。

再起動

### データ入力欄

プロバイダー設定	使用するプロバイダーを1つ選んでください。プロバイダーの選択は1つのみです。
----------	--

# 機能を使う

## ■ WAN(インターネット)側接続モードをPPPoEに設定する場合

- 1 メニュー画面の接続設定管理をクリックする  
接続設定管理画面が表示されます。
- 2 接続モードとして「PPPoE」をチェックする  
「プロバイダー設定」が変わり、また、「サブセッションへの切り替えルール」が表示されます。
- 3 メインセッションのドロップダウンリストで、プロバイダーを選ぶ  
メインセッションのプロバイダーは必ず設定してください。
- 4 サブセッションのドロップダウンリストで、プロバイダーを選ぶ  
4、5、6の設定については、プロバイダーとマルチセッションで使用する契約を結んだときのみ必要になります。
- 5 「送信元IPアドレス」を入力する
- 6 あて先IPアドレスまたはホスト名」を入力する

WAN(インターネット)側接続モード

接続モード  DHCP/Static  PPPoE

プロバイダー設定

接続名 プロバイダー選択

メインセッション 未使用

サブセッション 未使用

これ以降は、プロバイダーとマルチセッションで使用する契約を結んだときのみ、設定が必要になります。

送信元IPアドレス

あて先IPアドレス  
またはホスト名

保存 元に戻す

- 7 **保存** をクリックする  
設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。

- 8 **再起動** をクリックする

設定しました。

設定を完了するにはBB-HGW502を再起動する必要があります。  
後で再起動する場合は、再起動画面で再起動してください。  
今すぐ再起動する場合は、再起動ボタンを押してください。

再起動

# 機能を使う

## データ入力欄

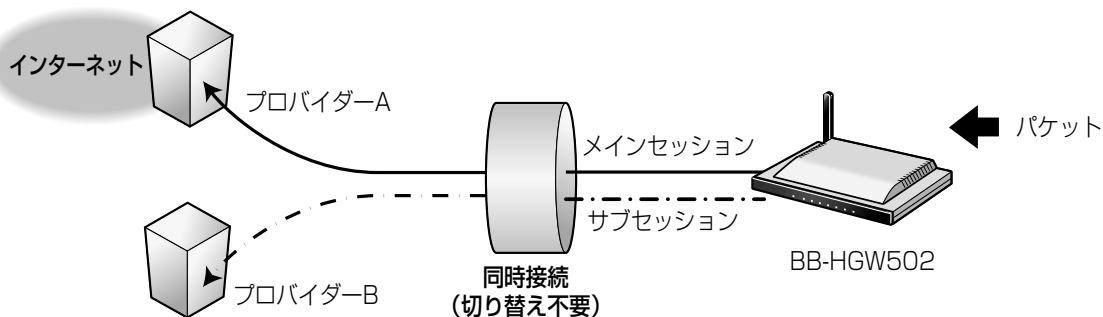
プロバイダー設定	メインセッションは必ず設定してください。使用するプロバイダーをメインセッションに設定してください。 PPPoEマルチセッション機能を使用する場合は、サブセッションにもプロバイダーを設定する必要があります。
サブセッションへの切り替えルール	通常のインターネットへの接続は、メインセッションに設定したプロバイダーが使用されます。条件に一致した通信が検出された場合には、サブセッションに設定したプロバイダーが使用されます。 送信元IPアドレス欄には、LAN(ホーム)側からインターネットへのパケットの送信元IPアドレス、すなわち、サブセッションを利用するLAN(ホーム)側のホストのIPアドレスを設定します。 あて先IPアドレスまたはホスト名欄には、LAN(ホーム)側からWAN(インターネット)側へのパケットのあて先IPアドレスまたはホスト名、すなわち、WAN(インターネット)上のどのホストへの通信がサブセッションを利用するかを設定します。

## ■ PPPoEマルチセッション機能

本製品はPPPoEマルチセッション機能に対応しており、同時に2つのPPPoE接続を接続することができます。プロバイダーを2つ設定することにより、接続の切り替えをしなくても指定したプロバイダーを利用してインターネットへ接続することができます。フレッツでは複数のセッションを利用することができます。フレッツ・スクウェアについては48ページを参照してください。



PPPoEマルチセッション機能を使用するためには、この機能に対応した回線接続業者またはプロバイダーと別途契約する必要があります。詳細は各回線接続業者またはプロバイダーにお問い合わせください。



- みえますねっと(☎ 64ページ)は、メインセッションのみ有効です。
- IPアドレス通知はメインセッションのみ有効です。

# 機能を使う

## <PPPoEマルチセッション設定例>

本製品では、PPPoEマルチセッション機能を使用することで、通常のインターネット接続をしたままフレッツ・スクウェアなどへの接続をすることができます。この設定を行うことにより、通常のインターネット接続とフレッツ・スクウェアなどへの接続を、自動的に切り替えることができます。



PPPoEマルチセッションを利用するには、メインセッションの登録が必要です。プロバイダー経由の通常のインターネット接続用設定は必ずメインセッションに設定してください。メインセッションの登録は、下記を参照してください。

- 端末型PPPoE接続の場合 (☞ 30ページ)
- LAN型PPPoE接続の場合 (☞ 37ページ)



メインセッション、サブセッションの両方にLAN型PPPoEを設定することはできません。LAN型PPPoEを設定するときは、いずれか一方に設定してください。

## IPアドレス指定方法

「送信元IPアドレス」および「あて先IPアドレス」の指定方法です。

IPアドレス	説明
*	すべてのIPアドレス
192.168.1.3	特定のIPアドレス
192.168.1.0/24	192.168.1.0~192.168.1.255までのIPアドレス (24ビットマスク)
192.168.1.3-192.168.1.33	ハイフン "-" 区切り: 192.168.1.3~192.168.1.33までのIPアドレス
192.168.1.3,192.168.1.8, 192.168.1.3-192.168.1.33, 192.168.1.0/24	コンマ "," 区切り: コンマで区切ることでそれぞれを4つまで指定できます いずれもスペースなし

## ホスト名指定方法

「あて先ホスト名」としてのみ使用できます。またIPアドレスを用いた指定方法との併用はできません。

ホスト名	説明
.jp	トップレベルドメインのみ指定 日本(jp)サイトすべて
.co.jp	セカンダリレベルドメインまで指定 最後に ".co.jp" がつくサイトすべて
www.panasonic.co.jp	"www.panasonic.co.jp" のみ
.www.panasonic.co.jp	"host1.www.panasonic.co.jp"、"host2.www.panasonic.co.jp" "www.panasonic.co.jp" には該当しない 上の例と "." (ドット)の有無による違いに注意
www.*.co.jp	第3レベルドメインを除き、第4、第2、第1レベルドメインを指定 第4レベルドメインが"www"、かつ、第2レベルドメインまでが"co.jp" であるサイトすべて

# 機能を使う

## <フレッツ・スクウェアの設定例>

プロバイダーのPPPoEアカウントを1つしかもってなくても、フレッツユーザーであればフレッツ・スクウェアのPPPoEアカウントを無料で利用できます。

- 1 **プロバイダー登録** を選ぶ
- 2 プロバイダー登録モニター中で **登録/編集** をクリックする

No.	プロバイダー名称	接続モード	登録編集	使用接続先	登録削除
1	DHCP	DHCP	登録/編集	DHCP接続	削除
2	未登録	未登録	登録/編集		削除
3	未登録	未登録	登録/編集		削除
4	未登録	未登録	登録/編集		削除

- 3 接続モード登録画面で端末型のPPPoE接続をクリックする

現在の設定

--- 端末型 ---

PPPoE接続 PPPoE接続で1個のIPアドレスを割り振られる端末型接続サービスをご利用の場合

DHCP接続 プロバイダーのDHCPサーバーがIPアドレスを割り振る接続サービスをご利用の場合

Static接続 固定のIPアドレスを割り振るプロバイダーの接続サービスをご利用の場合

--- LAN型 ---

PPPoE接続 PPPoE接続で複数のIPアドレスを割り振られるLAN型接続サービスをご利用の場合

Static接続 Static接続で複数のIPアドレスを割り振られるLAN型接続サービスをご利用の場合

戻る

- 4 プロバイダーの名称 (任意の文字列)、ユーザー名、パスワード欄にそれぞれ入力する

プロバイダーの名称

プロバイダーの名称

プロバイダー登録

ユーザー名

パスワード

プロバイダーから指定があるときに入力

サービス名

アクセスコンセントレーター名

DNSサーバー1

DNSサーバー2

ドメイン名

平成16年7月現在

設定項目	プロバイダーの名称※	ユーザー名	パスワード
NTT東日本フレッツ・スクウェア	@square	guest@flets	guest
NTT西日本フレッツ・スクウェア	@square	flets@flets	flets

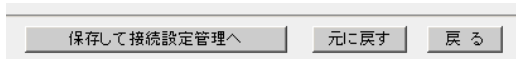
※ ここに示しているプロバイダーの名称は例です。任意の文字列を設定することができます。



# 機能を使う

- 5 設定を終えたら、**保存して接続設定管理へ**をクリックする

接続設定管理画面が表示されます。



- 6 プロバイダー設定欄のサブセッションに、手順4で登録した@squareを選ぶ

- 7 サブセッションへの切り替えルール欄に下表に示している設定値を入力する

送信元IPアドレス	*
あて先IPアドレスまたはホスト名	.fleets

- 8 設定を確認したら、**保存**をクリックする  
内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 9 設定画面に、**再起動**が表示されたら、それをクリックする

- 10 ウェブブラウザのアドレスバーに <http://www.fleets/> を入力してフレッツ・スクウェアのウェブサイトが表示できれば正常にサブセッションが確立しています



オプション設定画面にアクセスして、DNSリレーが「使用する」になっていることを確認してください。(☎ 89ページ)



フレッツ・スクウェアに関しては、以下のウェブサイトを参照してください。  
NTT東日本ウェブサイト <http://www.ntt-east.co.jp/fleets/>  
NTT西日本ウェブサイト <http://www.ntt-west.co.jp/fleets/>

# 機能を使う

## カメラを使う

カメラ設定画面では、本製品に接続したカメラの設定を行います。通常は、カメラ自動登録機能により本製品がカメラを認識し、カメラ名やポート番号、IPアドレスを自動で設定するため、設定の必要はありません。カメラ名を変更する場合は、52ページの自動登録されたカメラの設定変更の手順に従ってください。またカメラのネットワーク設定を手動で行う場合は、カメラの追加登録の手順に従って、カメラを登録してください。

### ■ カメラの自動登録機能の設定

#### カメラの自動登録機能の設定

使用する  使用しない

利用可能なアドレス範囲  -

カメラに設定するポート番号  単一指定  範囲指定

利用可能なポート範囲  -

### データ入力欄

カメラの自動登録機能の設定	「使用する」または「使用しない」を選んでください。
利用可能なアドレス範囲	カメラに割り振るアドレス範囲を指定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・連続したアドレス範囲1つを指定できます。</li><li>・LAN型接続時は、プロバイダーより割り振られるグローバルアドレスのうち、カメラまたパソコンとして利用できるアドレス範囲(※37ページ)のうちでも設定できます。</li><li>・DHCP/PPTPサーバーなど他のサーバーが割り振るアドレスと重複しないようご注意ください。</li><li>・工場出荷時設定は192.168.0.151～192.168.0.166です。</li></ul>
カメラに設定するポート番号	「単一指定」または「範囲指定」を選んでください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・「範囲指定」をチェックすると、「利用可能なポート範囲」の値が自動で割り振られます。</li><li>・「単一指定」は、WAN側に複数のIPアドレスを見せることができる、次のような接続形態において、使用することができます。<ol style="list-style-type: none"><li>(1) プロバイダーへの接続モードがLAN型</li><li>(2) アドレス変換を使用しないで、WAN側を社内ネットワークなどに接続して使用する場合</li><li>(3) WAN側を接続しないでLAN内でのみ使用する場合</li></ol></li></ul>
利用可能なポート範囲	カメラポート番号を指定してください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・「カメラに設定するポート番号」で「範囲指定」を選んだ場合、連続したポート番号範囲1つを指定できます。上記の利用可能なアドレス範囲で指定した数のポート番号数が必要で、利用できるポート番号範囲から指定してください。</li><li>・「カメラに設定するポート番号」で「単一指定」を選んだ場合、固定ポート番号を1つ指定してください。</li><li>・工場出荷時設定は60001～60016です。</li></ul>

# 機能を使う

## カメラを自動登録する

本製品に当社製ネットワークカメラ(別売品)を接続し、カメラの電源を入れてカメラを工場出荷時設定に戻したあと、本製品は、IPアドレスやサブネットマスクなどカメラのネットワーク設定と無線のセキュリティ設定を自動で行います。カメラに電源が入ったあと、本製品とカメラが通信を行い、自動的にネットワークの設定を行います。そのあと、カメラ画像がカメラポータル画面に登録されます。

<設定される項目>

BB-HGW502	静的IPマスカレード (ポートフォワーディング) カメラ登録 カメラポータル画面配置
カメラ	ポート番号 IPアドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNSサーバーアドレス SSID (無線LANタイプのみ) 暗号化キー (無線LANタイプのみ)

カメラ自動登録機能では、下記順序で各項目を割り振ります。

カメラ名	ポート番号	IPアドレス
Cam01	60001	192.168.0.151
Cam02	60002	192.168.0.152
Cam03	60003	192.168.0.153
⋮	⋮	⋮
Cam16	60016	192.168.0.166



### 対応ネットワークカメラ (別売品) : 屋内タイプ

(平成16年7月現在)

KX-HCM1	(パン/チルト)
KX-HCM2	(固定タイプ)
KX-HCM180	(パン/チルト・ズーム)
BB-HCM310	(パン/チルト・音声[片方向])
BB-HCM311	(パン/チルト・音声[双方向]・SDメモリーカード録画・IPv6)

### 屋外タイプ

KX-HCM130	(パン/チルト)
KX-HCM170	(パン/チルト・無線LAN)

## ■ カメラ自動登録機能を使わずにカメラを接続する

- すべてのカメラを手動で登録する場合は、「カメラの追加登録」(☞ 53ページ)を参照のうえ、設定してください。
- 特定のカメラを手動で登録する場合、カメラのネットワーク設定で、「1. セットアップソフトウェアからの設定を有効にする」のチェックをはずしてください。詳細はカメラ取扱説明書の「ネットワーク設定」を参照してください。

# 機能を使う

## ■ 自動登録されたカメラの設定変更

1 設定画面上の **カメラ設定** をクリックする

2 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で設定するカメラの**変更**／**削除**をクリックする

3 カメラ名、ポータル枠のWAN側への公開、ユーザー名、パスワードのうち必要な項目を設定し、**変更** をクリックする

登録されているカメラを削除する場合は **削除** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

カメラ名変更とカメラの追加登録・削除						
表示されているカメラの順序は検出・登録された順序になります。 画像確認ボタンにて確認しながらカメラ名を設定してください。 操作項目をクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。						
No.	操作	カメラ名	画像確認	自動登録	ポート番号	IPアドレス/ホスト名
1	<b>変更/削除</b>	Cam01	<b>確認</b>	<input type="radio"/>	60001	192.168.0.151
	<b>追加</b>					

カメラ名	<input type="text" value="Cam01"/>
カメラの位置	LAN側
ポータル枠のWAN側への公開	<input type="text" value="公開する"/>
<b>注: 公開/非公開の設定を変更する場合は、カメラの設定を変更してください。</b>	
ポート番号	60001
IPアドレス	192.168.0.151
ホスト名	
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>



- カメラ側でインターネットに対する公開/非公開の設定があるタイプのカメラにおいては、公開/非公開に関してカメラ側の設定に従います。
- 自動登録されたカメラのポート番号やIPアドレスを変更することはできません。
- 「画像確認」で確認をクリックすると、カメラの画面を表示します。

## データ入力欄

カメラ名	カメラ名に入力した名前は、カメラポータル画面のカメラ名として表示されます。 カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
ポータル枠のWAN側への公開	公開/非公開する接続(セッション)を設定してください。 カメラに公開/非公開の設定がある機種の場合、カメラの設定が公開の際のみ、公開する接続を設定できるようになります。この場合、非公開にするには、カメラの設定を非公開にする必要があります。 接続設定管理の接続モードでDHCP/Staticが選ばれている場合、メインに対する公開の設定が有効となり、サブに対する設定は反映されませんのでご注意ください。
ユーザー名	アプリケーション機能を使用する場合、各カメラに設定されているユーザー名とパスワードを本製品に登録しなければならない場合があります。 半角英数字で15文字以内で入力してください。[ ], [ ], [ # ], [ % ], [ & ], [ + ], [ : ], [ < ], [ = ], [ > ], [ ? ]は使えません。
パスワード	アプリケーション機能を使用する場合、各カメラに設定されているユーザー名とパスワードを本製品に登録しなければならない場合があります。 半角英数字で15文字以内で入力してください。[ ], [ ], [ # ], [ % ], [ & ], [ + ], [ : ], [ < ], [ = ], [ > ], [ ? ]は使えません。

# 機能を使う

## ■ カメラの追加登録(カメラを手動で追加登録する)

カメラの追加登録は、次の手順に従ってください。

- 1 「カメラ名変更とカメラの追加登録・削除」で **追加** をクリックする

カメラの自動登録機能の設定

使用する  使用しない

利用可能なアドレス範囲: [192.168.0.151] - [192.168.0.166]

カメラに設定するポート番号:  単一指定  範囲指定

利用可能なポート範囲: [80001] - [80016]

注: カメラに設定するポート番号は、通常「範囲指定」で使用してください。  
「単一指定」にして使用する際は、WAN側に複数のIPアドレスを見せることができる  
機能形態(例えば、プロバイダーの接続モードがLAN型)である必要があります。  
WAN側のIPアドレスが1つの契約で使用すると、WAN側のカメラを見る場合に  
同じIPアドレスの同じポートに重なり、正常に見れません。詳しくは取扱説明書を参照ください。

カメラ名変更とカメラの追加登録・削除

表示されているカメラの情報は検索・登録された情報になります。  
画像確認ボタンにて確認しながらカメラ名を選択してください。  
操作項目をクリックすると各設定画面が開き、更新/削除/追加ができます。

No.	操作	カメラ名	画像 確認	自動 登録	ポート 番号	IPアドレス/ホスト名
	追加					

注: オレンジで表示された行の情報は編集後、保存されていない状態です。  
設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。

- 2 カメラ名、カメラの位置、ポータル枠のWAN側への公開、ポート番号、IPアドレス、ホスト名、ユーザー名、パスワードを入力または選び、 **追加** をクリックする

カメラ名:

カメラの位置:  LAN側  WAN側

ポータル枠のWAN側への公開:

ポート番号:

IPアドレス:

ホスト名:

ユーザー名:

パスワード:

- 3 設定を終えたら **保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。

- 4 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

- 5 55ページの方法に従って、追加されたカメラをカメラポータル画面に追加する



- カメラにパスワードを設定している場合、右上の画面の「ユーザー名」と「パスワード」にカメラと同じ値を入力する必要があります。詳細は、カメラの取扱説明書の「管理者の設定」を参照してください。設定された「ユーザー名」と「パスワード」はアプリケーション機能においてのみ使用されます。
- カメラを追加登録した場合、カメラ側の設定も変更してください。詳細は、カメラの取扱説明書を参照してください。
- カメラを追加登録した場合、静的IPマスカレード(ポートフォワーディング)などの設定が必要です。  
68ページを参照のうえ、手動で設定してください。また、UPnP上位ルーターを使用している場合には、上位ルーターに対するルーティング設定、アドレス変換を「使用しない」に設定している場合にも、接続される周辺ルーターに対するルーティング設定が必要となります。
- カメラを追加登録した場合、カメラポータル画面配置の設定が必要です。55ページを参照のうえ、手動で設定してください。
- オプション設定での「IPアドレス(LAN側)DHCPサーバー」におけるDHCPの設定で指定されるDHCPサーバーの「利用可能なアドレス範囲」、および、「VPN設定」での基本画面における「PPTPサーバーの設定」で指定されるPPTPサーバーの「利用可能なアドレス範囲」と重複したIPアドレスを、カメラの自動設定に用いるIPアドレスの範囲として設定してはいけません。

# 機能を使う

## データ入力欄

カメラ名	カメラの名前を半角英数で16文字以内、全角文字で8文字以内で入力してください。
カメラの位置	カメラの位置に従って、LAN側かWAN側にチェックを入れてください。
ポータル枠のWAN側への公開	公開／非公開する接続(セッション)を設定してください。 <sup>※1</sup> 接続設定管理の接続モードでDHCP/Staticが選ばれている場合、メインに対する公開の設定が有効となり、サブに対する設定は反映されませんのでご注意ください。
ポート番号	カメラのポート番号を入力してください。
IPアドレス	カメラのIPアドレスを入力してください。
ホスト名	カメラの位置でWAN側を選んだときにホスト名による指定ができます。
ユーザー名	カメラのユーザー名を入力してください。
パスワード	カメラのパスワードを入力してください。

※1 選ばれているカメラポータル枠をWAN側へ公開するかを設定することができますが、カメラを手動で追加登録する場合、さらに、設定するカメラに対する本製品のフィルタリング設定(☞ 83ページ)やアドレス変換(☞ 66ページ)などを設定しなければなりません。カメラが自動登録される場合には、フィルタリング設定もアドレス変換も自動で設定されます。

# 機能を使う

## ■ カメラポータル画面配置

カメラポータル画面の画面表示形式や画面配置の設定を行います。

- 1 **カメラポータル画面配置** をクリックする
- 2 「カメラポータル画面表示形式」で「**カメラ名と静止画（自動更新）**」、「**カメラ名と静止画**」、「**カメラ名のみ**」の中から選ぶ

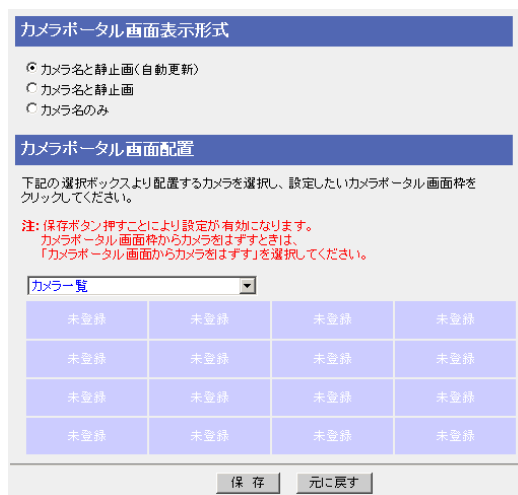
- 3 「カメラポータル画面配置」で表示したいカメラ画面枠をクリックし、上部のドロップダウンリストからカメラを選んで、選んだカメラ画面枠をクリックする

選んだカメラ画面枠はオレンジに表示されます。カメラポータル画面からカメラをはずす際は、「**カメラポータル画面からカメラをはずす**」を選び、選んだカメラ画面枠をクリックしてください。

現在の選択をキャンセルするには、**元に戻す** をクリックしてください。

- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
元の設定に戻すには、**元に戻す** をクリックしてください。
- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

登録されたカメラ画面枠は緑に表示されます。



カメラポータル画面表示形式

カメラ名と静止画(自動更新)  
 カメラ名と静止画  
 カメラ名のみ

カメラポータル画面配置

下記の選択ボックスより配置するカメラを選択し、設定したいカメラポータル画面枠をクリックしてください。

注: 保存ボタン押すことにより設定が有効になります。  
カメラポータル画面枠からカメラをはずすときは、「カメラポータル画面からカメラをはずす」を選択してください。

カメラ一覧

未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録
未登録	未登録	未登録	未登録

保存 元に戻す

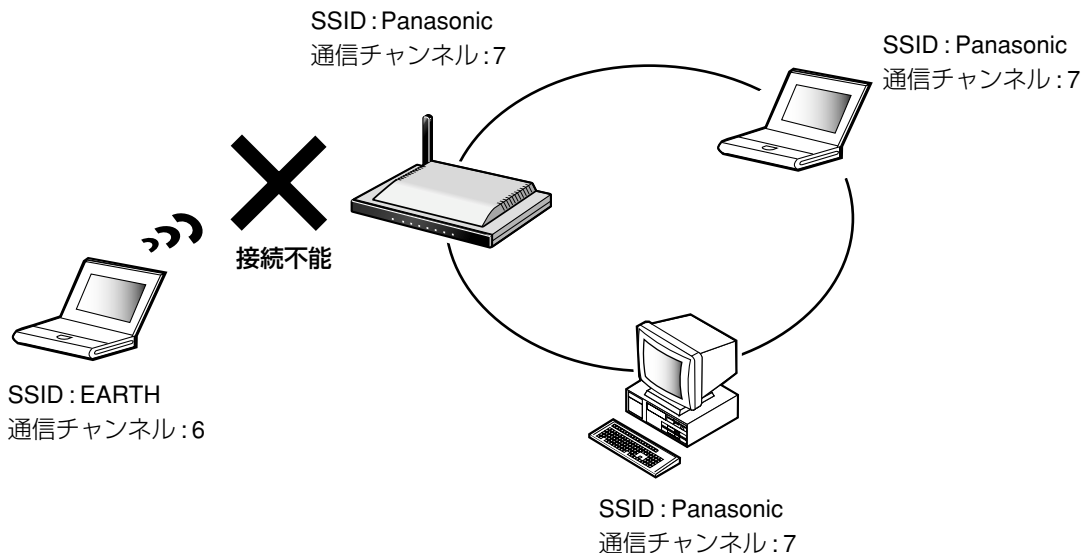
## データ入力欄

カメラポータル画面表示形式	カメラの画面表示形式を「カメラ名と静止画（自動更新）」、「カメラ名と静止画」、「カメラ名のみ」の中から選びます。
カメラポータル画面配置	カメラポータル画面のカメラ画像の配置を変更したり、任意のカメラをカメラポータル画面へ登録します。最大16台のカメラ画像をカメラポータル画面で一覧表示することができます。

## 無線LANを使う

無線設定画面では、無線LANに接続するための設定やセキュリティの設定を行います。無線LANでは、テレビやトランシーバーと同じように電波を使い、通信チャンネルを選んで通信します。"802.11b"、"802.11b/g"、"802.11g 専用"、"802.11a"の4つの通信モード\*1はそれぞれ使用する帯域や通信速度が異なり、工場出荷時設定は"802.11b/g"です。また、ネットワークに名前(SSID)をつけ、同じSSIDと同じ通信チャンネルの端末同士でのみ接続することができます。無線LANに接続する機器には同じSSIDと通信チャンネル\*2を設定してください。

### <"802.11b"、"802.11b/g"、"802.11g専用"の例>



※1 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

※2 本製品に接続する無線端末は、本製品と同じSSIDが設定されていれば、通信チャンネルを自動的に検索し、通信することができます。



- 工場出荷時設定では、機器固有のSSIDと英数13文字128 bit暗号化キーが設定されています。SSIDと英数13文字128 bit暗号化キーの工場出荷時設定は、本製品背面に記載してあります。
- 無線LANアダプター「BB-HGA102」をリピーター(電波中継器)として使用すると、無線LANの伝達距離を約2倍に延長することができます。本製品と無線カメラの間の距離が離れていたり、途中で障害物などがある場合に、「BB-HGA102」をリピーターモードに設定して中間地点に設置すれば良好な電波状態で通信できるようになります。リピーターは無線カメラを3台まで中継できます。
- BB-HGA102がクライアントモードで本製品に無線リンクしているとき、BB-HGA102のLANポートにつながれている有線機器からのデータ通信が一定時間行われないと、本製品はクライアントモードの無線リンクを強制切断します。これは、本製品が他の無線リンクへのアクセスを優先させることを目的として、通信されない無線機器を切断することによって無線通信負荷を軽減させる本製品の機能です。
- 当社製無線LANアダプター「BB-HGA100」や「BB-HGA102」(各別売品)との自動設定機能の手順については、無線LANアダプターのかんたんガイドを参照してください。



# 機能を使う

- 1 設定画面上の **無線設定** をクリックする
- 2 入力欄にSSIDを入力し、「**通信チャンネル**」を選ぶ  
「無線ステルス機能」の選択については、58ページを参照してください。  
元の設定に戻すには、「**元に戻す**」をクリックしてください。  
本製品に接続する無線端末にも同じSSIDを入力してください。  
工場出荷時に設定しているSSIDの工場出荷時設定は本製品背面に記載されています。  
それぞれの入力欄については、58ページを参照してください。
- 3 設定を終えたら、「**保存**」をクリックする  
設定した内容が保存されます。
- 4 設定画面に、「**再起動**」が表示されたら、それをクリックする

無線方式の設定

通信モード 802.11b/g

SSIDの設定

SSID \*\*\*\*\*

無線ステルス機能

使用する  使用しない

通信チャンネルの設定

通信チャンネル 7

保存 元に戻す



データ入力欄には、スペースを入れないでください。



- 無線ステルス機能を「使用しない」に設定した場合、セキュリティの脆弱性を伴います。
- 無線端末側で使用している無線LANカードによっては、使用できる通信チャンネルに制限のあるものがあります。無線LANカードの通信チャンネルの範囲を確認して、本製品の通信チャンネルを設定してください。
- カメラなどを自動登録したあとに本製品のSSIDを変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

# 機能を使う

## データ入力欄

<b>通信モード</b>	<p>通信方式を、無効、"802.11b"、"802.11b/g"、"802.11g専用"、"802.11a"から選ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 無効は、無線通信を行わない場合に選びます。</li><li>● "802.11b"は、2.4 GHz帯で通信を行います。対応製品が豊富かつ安価です。手軽に利用できるだけでなく、すでに広く普及しているので、お手持ちの無線機器を活用したいときなどに便利です。</li><li>● "802.11b/g"は、2.4 GHz帯で通信を行います。802.11bと802.11gの特長を兼ねそなえ、両方の無線LAN規格に対応しています。既存の無線LAN環境に導入しやすい通信方式です。</li><li>● "802.11g専用"は、802.11g通信のみを行います。カメラコントロールユニットBB-HGW502の通信モードも、"802.11g専用"に設定すれば、"802.11b/g"の混在モードはサポートしないので、本来の802.11gの性能が発揮されます。<sup>※1</sup>802.11bより速度が速く、障害物に強い規格なので、異なるフロア間での通信などに便利です。 ※1 802.11g専用を使用されても、他の2.4 GHz帯の無線機器(802.11b無線機器を含む)が存在するとその影響を受けて通信速度が遅くなります。</li><li>● "802.11a"は、5.2 GHz帯で通信を行います。他の家電製品と干渉する可能性が低く、高速、かつ、安定した通信を行います。障害物が少ない場合、802.11gで高速が出ない場合、また、大容量動画データの安定したストリーミング再生を行う場合などに便利です。</li></ul>
<b>SSID</b>	<p>無線LANでは、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSIDと呼びます。SSIDは、無線LANに接続できる各端末に設定し、同じSSIDをもつ端末同士でのみ通信ができます。SSIDの入力では、次の規則に従ってください。(工場出荷時設定で機器固有のSSIDが入力されています。本製品背面に記載されています。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 半角英数字しか入力できません。</li><li>● 英字の大文字と小文字は区別されます。 (例)："TOM" と "tom" は異なる名前と認識される</li><li>● 32文字まで入力できます。</li></ul>
<b>無線ステルス機能</b>	<p>無線LAN機器が容易にネットワークを検知するために、ネットワークの識別子であるSSIDを一定時間ごとに周囲に発信する機能があります。「使用しない」を選ぶと、無線LAN機器は、容易にネットワークを検知する事ができます。しかし、不正規のユーザーも容易にネットワークを発見して接続を試みる事ができるため、セキュリティ上の弱点となる可能性があります。そこで、無線ステルス機能を「使用する」を選ぶことにより、ネットワークの存在を容易に検知されないように本製品を使用することができます。「使用する」に設定した場合、ANYキーによる接続が拒否されます。工場出荷設定では、「使用する」が選ばれています。</p>

# 機能を使う

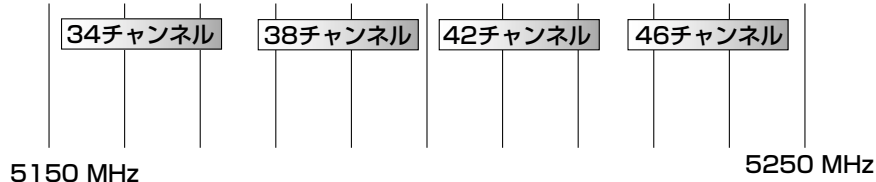
## 通信チャンネル

ネットワーク内で通信するチャンネルを設定します。802.11bまたは802.11gの場合、1～13の中から選びます。（工場出荷時設定では、802.11b/gの7が選ばれています。また、14チャンネルには対応していません。）802.11aの場合、34、38、42または46の中から選びます。複数の無線LANで、通信チャンネルが重なると通信速度が下がる場合があります。その場合は、通信チャンネルが重ならないように通信チャンネルを変更してください。

### 802.11b/802.11g



### 802.11a



本製品と無線端末側で同じSSIDを設定する必要があります。



必要に応じて「暗号化」や「MACアドレスフィルタリング」を設定してください。通信データを暗号化するには、「無線設定」画面上の「暗号化」をクリックしてください。（☞ 60ページ）本製品に登録した無線端末以外が接続できないようにするには、「MACアドレスフィルタリング」をクリックしてください。（☞ 63ページ）

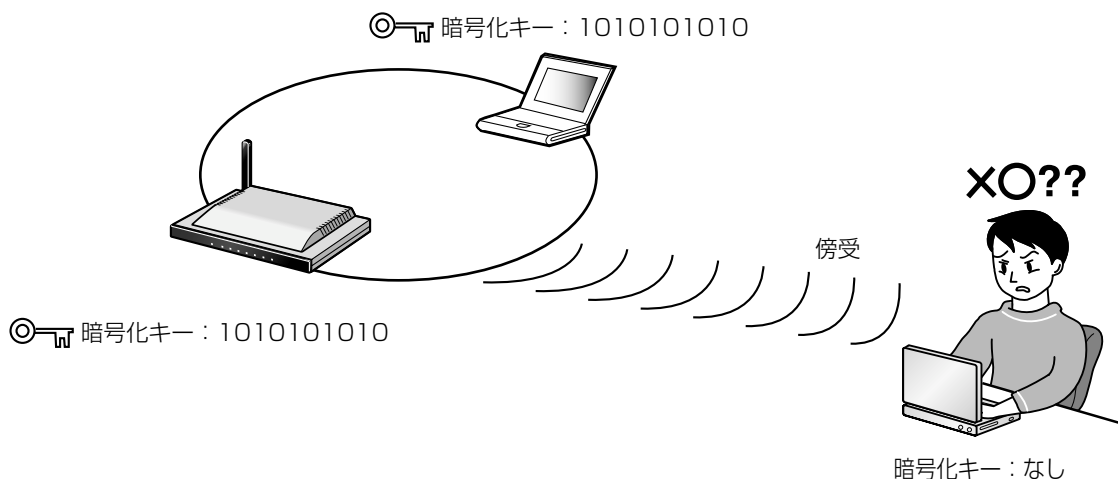
# 機能を使う

## ■ 暗号化設定

無線LAN内で、通信するデータを暗号化することができます。暗号化を行うと、万一無線LANのデータを、他人に読まれても解読することが困難になります。暗号化は、無線LANのすべての端末に同じ暗号化キーを登録して行います。

暗号化を必ず設定してください。暗号化設定をせずに無線LANを使用すると、第三者に通信内容を盗聴されたり、パソコンに侵入されインターネットを不正使用されるなどの危険があります。

暗号化設定時の認証方式として、Shared Key方式だけでなく、Open System方式にも対応しています。認証方式の切り替えは、本製品が端末に合わせて自動で行います。



- 工場出荷時設定では、機器固有のSSIDと英数13文字128 bit暗号化キーが設定されています。SSIDと英数13文字128 bit暗号化キーの工場出荷時設定は、本製品背面に記載してあります。
- WEP方式には、「16進10文字 64 bit」、「16進26文字 128 bit」、「16進32文字 152 bit」、「英数5文字 64 bit」、「英数13文字 128 bit」、「英数16文字 152 bit」の6種類があります。



カメラなどを自動登録したあとに本製品の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

1 **暗号化** をクリックする

2 「暗号化方式」のドロップダウンリストから「暗号化なし」または「WEP方式」を選ぶ  
「暗号化なし」を選んだときは、**保存** をクリックしてください。

### 暗号化方式の設定

暗号化方式 **WEP方式**

# 機能を使う

## < 「WEP方式」 を選んだ場合 >

**3** WEPキー1～WEPキー4のそれぞれのドロップダウンリストから、「16進10文字 64 bit」、「16進26文字 128 bit」、「16進32文字 152 bit」、「英数5文字 64 bit」、「英数13文字 128 bit」、「英数16文字 152 bit」のうちいずれかを選ぶ

**4** WEPキー1～WEPキー4のそれぞれの空欄に、ドロップダウンリストで選んだ項目の文字数分を16進数(半角英数字で"0"～"9"、"A"～"F"または"a"～"f")または英数字で入力し、使用するWEPキー番号にチェックを入れる

暗号化方式の設定	
暗号化方式	WEP方式

暗号化キーの設定	
<input checked="" type="radio"/> WEPキー-1	英数13文字 128bit
<input type="radio"/> WEPキー-2	英数13文字 128bit
<input type="radio"/> WEPキー-3	英数13文字 128bit
<input type="radio"/> WEPキー-4	英数13文字 128bit

(例)

WEPキー	10123456789abcdef012345abc	16進26文字 128 bit
WEPキー	20123456789abcdef0123456789abcde	16進32文字 152 bit
WEPキー	3012y	英数5文字 64 bit
WEPキー	40123456789uvwxyz	英数16文字 152 bit



- 設定内容は、本製品を再起動すると\* (アスタリスク) で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。
- 接続する無線端末にも同じ暗号化キー1～キー4を入力し、手順4でチェックを入れた同じWEPキー番号を選んでください。データ入力欄については62ページを参照してください。



- Windows XPでは暗号化キーは、「キーのインデックス」という名称になっています。
- BB-HGW501とBB-HGA100では128 bitの無線暗号WEPデータが1つだけ設定できたのに対し、BB-HGW502とBB-HGA102では128 bitのWEPキーを4つ設定できます。BB-HGW501とBB-HGA102、または、BB-HGW502とBB-HGA100の組み合わせでご利用の場合、自動設定で引き継がれる128 bitのWEPキーはWEPキー1だけです。

**5** **保存** をクリックする

**6** 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする



KX-HCM170の無線LANの各項目は、次の項目に相当します。

40 bitのパスワード入力	英数5文字 64 bit
128 bitのパスワード入力	英数13文字 128 bit
40 bitのキー入力	16進10文字 64 bit
128 bitのキー入力	16進26文字 128 bit

# 機能を使う

---

## データ入力欄

<b>暗号化方式</b>	「暗号化なし」または「WEP方式」を選びます。「暗号化なし」よりも「WEP方式」の方が安全性が高くなります。 (工場出荷時設定では「WEP方式」が選ばれています。)
<b>暗号化キーの設定</b>	64 bit→128 bit→152 bitの順で安全性が高まりますが、反対に通信速度が若干低下します。また、Windows XPでは、「64 bit」は「40 ビット(10桁)」、「128 bit」は「104 ビット(26桁)」と表記されています。 (工場出荷時設定では「WEPキー1」の「英数13文字 128 bit」が選ばれています。)

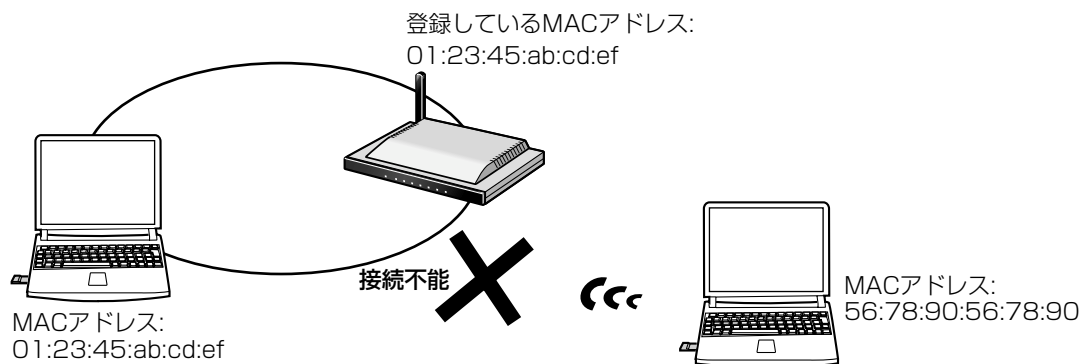


カメラなどを自動登録したあとに本製品の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

# 機能を使う

## ■ MACアドレスフィルタリング登録

本製品に登録していないパソコンから本製品に接続できないようにします。各パソコンのLANカードには、そのLANカードに固有のMACアドレスが登録されています。そのMACアドレスの値を「MACアドレスフィルタリング」に登録すると、登録したMACアドレスをもつパソコン以外は接続できなくなります。各パソコンのMACアドレスの確認のしかたは「パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには」(P.124ページ)を参照してください。



1 **MACアドレスフィルタリング** をクリックする

2 「使用する」を選ぶ

3 「現在の設定」でNo. の「追加」をクリックする

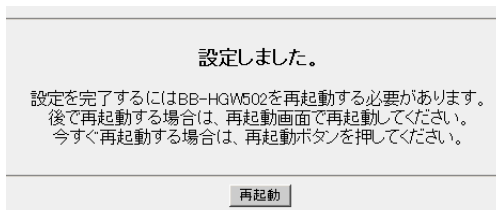
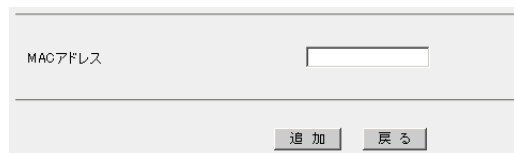
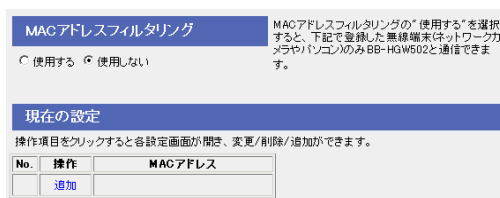
4 MACアドレスをデータ入力欄に入力する

半角数字とA~Fまたはa~fを2文字ずつ「:」で区切って、「01:23:45:ab:cd:ef」のように入力してください。

5 **追加** をクリックする

6 **保存** をクリックする

7 設定内容を確認のうえ、**再起動** をクリックする



# 機能を使う

## みえますねっとを使う

WAN(インターネット)側からカメラ画像を見るには、みえますねっと設定を利用します。みえますねっとサービスからURLを取得して、カメラポータル画面にアクセスしてカメラ画像を見ることができます。みえますねっと設定を利用してWAN側からカメラ画像を見るには、次の手順に従ってください。



みえますねっとサービスは有料サービスです。次の手順は、みえますねっとサービスを有料にて使用される場合のみ行ってください。



- Static接続でインターネット接続している場合は、本製品の「基本設定」にて登録したIPアドレスを使用してカメラポータル画面にアクセスできます。みえますねっとサービスに登録する必要はありません。
- PPPoE接続の場合、メインセッションにのみ、みえますねっとは有効です。

1 設定画面上の **みえますねっと設定** をクリックする

2 「使用する」を選ぶ

3 Eメールアドレス入力欄に登録用のEメールアドレスを入力する



カメラをすでにみえますねっとサービスに登録している場合は、本製品にみえますねっと設定を行わないでください。



連絡先Eメールアドレスを入力するとみえますねっとサーバーから登録のご案内メールが送付されます。

4 **保存** をクリックする

5 設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックする

トップページが表示されます。

6 **かんたん設定** をクリックする

かんたん設定画面が表示されます。



# 機能を使う

7 設定画面上の **「みえますねっと設定」** をクリックする  
「取得URL」に仮登録用のURLが、「みえますねっとサービスへのリンク」に申し込み先のURLが、それぞれ表示されます。



- 「取得URL」、「みえますねっとサービスへのリンク」が表示されるまで数十分かかることがあります。
- PPPoE(マルチセッション)のときは、メインセッションのIPアドレスがみえますねっとサーバーに登録されます。

**みえますねっと設定**

使用する  使用しない

Eメールアドレス

取得URL [http://\\*\\*\\*\\*\\*](http://*****)

みえますねっとサービスへのリンク [https://\\*\\*\\*\\*\\*](https://*****)

8 「みえますねっとサービスへのリンク」に表示されているURLをクリックする

9 「みえますねっと」の登録手順に従って、本製品を「みえますねっと」に登録する

10 インターネットに接続できるパソコンのウェブブラウザに、「取得URL」に表示されているURLを入力する  
(例：http://camXXXX.miemasu.net)  
カメラポータル画面が表示されます。

**みえますねっと** Presented by パナソニック コミュニケーションズ株式会社

みえますねっと情報	「みえますねっとサービス」のご利用ありがとうございます。本サービスは、当社伊製品(※)に名前(メイン名)をつけることによりインターネット上で監視できる有料サービスです。
サービス概要	(※)ホームネットワークカメラ、ホームネットワークステーション、ネットワークカメラ、カメラコントロールユニットの総称です。
加入手順	
F A Q	
個人情報の管理について	
利用規約	クレジットカードによる料金お支払い 月額1,029円(税抜 880円) 現金口座振替による料金お支払い 月額1,578円(税抜 1,500円) となっております。
クレジットに課する利用規約	サービス開始のために利用者登録が必要です。画面に従って登録を行ってください。
お問い合わせ先	請求者・領収書の取扱いについて
お問い合わせ E-mail	現金口座振替、クレジットカード支払いともに、当社からの請求者・領収書の発行はできませんのでご了承ください。
トップページへ	クレジット支払いの場合は、クレジットカード会社から請求明細書が発行されますので、代用してください。
リンク	
Panasonic Communications	利用者登録をする前に、伊製品の接続チェックをおすすめします。
Panasonic Network Camera	以下の接続チェックをクリアすることにより、伊製品の設置が、インターネットを通じて使用可能なネットワーク上の監視を制御できる状態に正しく設定されているかどうかを、確認できます。確認項目が明瞭で、お困りません。
使用事例	なお、この接続チェックをクリアしても、利用者登録はできません。

ご希望のお支払い方法の「利用規約」をクリックし、内容をお読みください。同意される場合はチェックボックスをチェックし、「同意する」をクリックしてください。(※サービスをご利用いただくためには「利用規約」に同意する必要があります。)

[利用規約\(現金口座振替支払者用\)](#)  
 [利用規約\(クレジットカード支払者用\)](#)



「取得URL」はみえますねっとサービスに登録したあとに利用できるようになります。「みえますねっとサービスへのリンク」に表示されているURLをクリックしてください。

# 拡張機能を使う

## インターネットから本製品にアクセスする

アドレス変換画面では、WAN(インターネット)側のグローバルアドレスとプライベートアドレスを相互変換して、インターネットの端末から本製品のネットワークにアクセスするための詳細な設定を行います。メールサーバーを立ち上げるときなどIPマスカレード機能、静的IPマスカレード機能を有効にする場合に、設定してください。UPnP対応アプリケーション(Windows/MSN Messengerなど)を利用する場合は、92、115ページを参照してください。

- 1 設定画面上の **アドレス変換** をクリックする
- 2 「有効/無効の設定」で「使用する」か「使用しない」を選ぶ

- 3 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。

- 4 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

WAN(インターネット)側の1個のグローバルアドレスを利用して静的IPマスカレードの設定をする場合は、「**端末型**」をクリックしてください。端末型のアドレス変換については68ページを参照してください。WAN(インターネット)側の複数のグローバルアドレスを利用してアドレス変換する場合は、「**LAN 型**」をクリックしてください。LAN型のアドレス変換については73ページを参照してください。



アドレス変換を行った場合、本製品に接続しているパソコンのネットワーク設定も行い、パソコンを再起動してください。

# 拡張機能を使う

---

## データ入力欄

DHCP/Static接続	
DHCP/Static	IPマスカレード、静的IPマスカレード、静的NAT機能を有効にするときに設定します。これらの機能を使用する場合には、「使用する」チェックを入れてください。
PPPoE接続	
メインセッション	IPマスカレード、静的IPマスカレード、静的NAT機能を有効にするときに設定します。これらの機能を使用する場合には、「使用する」チェックを入れてください。
サブセッション	PPPoEマルチセッション機能を使用しているとき、サブセッションのIPマスカレード、静的IPマスカレード、静的NAT機能を有効にするときに設定します。これらの機能を使用する場合には、「使用する」チェックを入れてください。

# 拡張機能を使う

## ■ 端末型アドレス変換

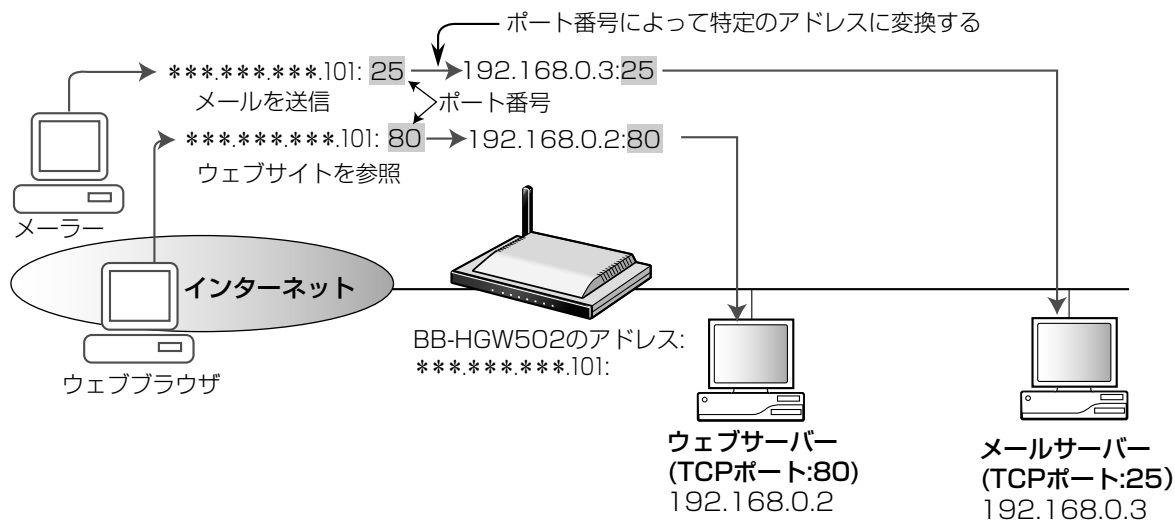
### 静的IPマスカレード（ポートフォワーディング）

WAN(インターネット)側のパソコンからアプリケーションを使ってLAN(ホーム)側のサーバーに通信が行われると、パケットが本製品に送られます。パケットにはアプリケーションが使用するポート番号がついており、本製品がパケットを特定のパソコンに転送します。静的IPマスカレードの機能を利用するには、アプリケーションが利用するポート番号\*を調べ転送対象ポート入力欄に入力し、転送先IPアドレス入力欄に対応するパソコンのIPアドレスを入力してください。

### ※主なアプリケーションとポート番号について

ウェブサーバー：TCP 80番、FTPサーバー：TCP 20番と21番、

Telnet：TCP 23番、SMTPサーバー：TCP 25番、POP3サーバー：TCP110番



- LAN(ホーム)側に別途ウェブサーバーを設置する場合は、そのサーバーのポート番号と本製品カメラポータル画面のポート番号(工場出荷時設定：80)と重ならないように設定する必要があります。オプション設定画面で本製品カメラポータル画面のポート番号の値を変更してください。(P.87ページ)
- 最大登録数は16個です。

### 設定例：

プライベートアドレスが192.168.0.2のパソコンにウェブサーバーを立ち上げてウェブサイトを公開する場合、TCPプロトコル、ポート番号：80(HTTPサービスポート番号)と192.168.0.2(プライベートアドレス)を入力してください。

プライベートアドレスが192.168.0.3のパソコンにメールサーバーを立ち上げる場合、TCPプロトコル、ポート番号：25(メールサービスポート番号)と192.168.0.3(プライベートアドレス)を入力してください。

### 設定例：

No.	操作	エンリ	対象接	転送対象	転送対象	転送先
		ー	続	プロトコル	ポート	IPアドレス
1	変更/削除	有効	*	TCP	80	192.168.0.2
2	変更/削除	有効	*	TCP	25	192.168.0.3

# 拡張機能を使う



- データ入力欄には、スペースを入れないでください。
- 「パソコンのIPアドレスを固定するには」(☞ 126ページ) を参考にTCP/IPの設定を行ってください。



静的IPマスカレードの転送先IPアドレスに設定したネットワーク機器は、設定したプロトコル、ポートを通じてインターネットからアクセスすることができます。

## データ入力欄

操作	各項目のパラメーターを変更／削除することができます。
エントリー	「有効」または「無効」を選びます。「有効」を選んだ場合、エントリーはテーブル(対象接続、プロトコル、転送対象ポート、転送先IPアドレス)に設定したように機能します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
対象接続	1はメインセッション、2はサブセッションを表わします。“*”を選ぶと、PPPoE全セッションおよびDHCP／Static接続が対象となります。
転送対象プロトコル	インターネットでデータを送受信する際に使うプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、ESP、GRE、*の中から選ぶことができます。ワイルドカード"*"はすべてのプロトコルを意味します。
転送対象ポート	インターネットでデータを送受信する際に使うポートを指定します。転送対象ポート範囲は0-65535の間で指定してください。ポート番号は半角文字で入力し、スペースは入力しないでください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。</li><li>● ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。</li></ul>
LAN側IPアドレス	本製品に接続されたパソコンのプライベートアドレスを設定します。インターネットからのデータは、このIPアドレスに送られます。対応するパソコンのIPアドレスをこの値に固定してください。



このテーブルを設定すると、インターネットから転送対象ポートへ不正アクセスされる可能性があります。安全のため、必要なときのみ設定してください。

# 拡張機能を使う

<追加のしかた>

1 アドレス変換画面の「端末型」をクリックする

2 静的IPマスカレード(ポートフォワーディング)で、操作の追加をクリックする

ポートフォワーディング設定画面が表示されます。

3 設定の有効/無効、No.、対象接続、転送対象プロトコル、転送対象ポート、LAN側IPアドレス、それぞれの項目を設定する

設定の有効/無効で「有効」をチェックすると、指定された静的マスカレードエントリーが使用中になります。「無効」をチェックするとそのエントリーは機能しませんが、次に必要になったときの設定を容易にするため、一度設定した設定内容は削除されずに残されます。

その他の項目についてはデータ入力欄を参照してください。(P. 69ページ)

4 **追加** をクリックする

端末型画面に戻り、追加された情報欄がオレンジになります。

5 保存をクリックする

設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。

6 **再起動** をクリックする

## 静的IPマスカレード(ポートフォワーディング)

操作項目をクリックすると各設定画面が開き、変更/削除/追加ができます。

No.	操作	エントリー	対象接続	転送対象プロトコル	転送対象ポート	転送先IPアドレス
	追加					

設定の有効/無効  有効  無効

No.

対象接続

転送対象プロトコル

転送対象ポート

LAN側IPアドレス

設定しました。

設定を完了するにはBB-HGW502を再起動する必要があります。  
後で再起動する場合は、再起動画面で再起動してください。  
今すぐ再起動する場合は、再起動ボタンを押してください。

# 拡張機能を使う

## <変更/削除のしかた>

1 アドレス変換画面の「端末型」をクリックする

静的IPマスカレード(ポートフォワーディング)

操作項目をクリックすると各設定画面が開き、変更/削除/追加ができます。

No.	操作	エントリー	対象接続	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	転送先 IPアドレス
1	変更/削除	**	***	***	***	***.***.***.***
	追加					

2 静的IPマスカレード(ポートフォワーディング)で変更または削除するNo.を選び、操作項目の**変更/削除**をクリックする

ポートフォワーディング設定画面が表示されます。

設定の有効/無効  有効  無効

No.

対象接続

転送対象プロトコル

転送対象ポート

LAN側IPアドレス

3 変更する場合には設定値を変更して **変更** を、削除する場合には **削除** をクリックする

端末型画面に戻ります。

変更された場合、情報欄がオレンジになり、変更後の設定値が表示されます。

削除された場合、情報欄がオレンジになり、「削除されています(未保存)」と表示されます。

4 **保存**をクリックする

設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。

設定しました。

設定を完了するにはBB-HGW502を再起動する必要があります。  
後で再起動する場合は、再起動画面で再起動してください。  
今すぐ再起動する場合は、再起動ボタンを押してください。

5 **再起動** をクリックする

# 拡張機能を使う

## ■ DMZ機能

DMZ(DeMilitarized Zone)機能を利用すると、WAN(インターネット)側からLAN(ホーム)側へ送られたあて先不明のパケットを、DMZで設定した特定のIPアドレスへ転送することができます。DMZによって転送されるパケットは、すべてのセキュリティフィルターを通過して、設定されたIPアドレスへ転送されます。

### DMZ機能 (端末型)

- 1 設定画面上の **端末型** をクリックする
- 2 エントリーのドロップダウンリストから「有効」を選び、DMZ機能のホストIPアドレス欄に、転送先IPアドレスを入力する

DMZ機能(端末型)		
No.	エントリー	ホストIPアドレス
1	無効 ▼	<input type="text"/>



- 転送先に設定するIPアドレスは、LAN上にあるIPアドレスにしてください。
- 本製品のDMZ機能は、ポートフォワーディングによりLAN(ホーム)側に接続した機器のIPアドレスにデータを転送する機能です。転送先に設定したIPアドレスに対するフィルターは無効になります。本製品はセグメントを分けるDMZ機能ではないので、万一転送先に設定したIPアドレスが攻撃を受けた場合は、同じLAN(ホーム)側に接続している他の機器も攻撃される恐れがあります。セキュリティ面には十分に注意して、使用してください。
- DMZ機能を使用する場合は、アドレス変換を「使用する」に設定してください。(☞ 66ページ)
- カメラポータル(TCP80番[デフォルト])、設定画面(TCP8080番[デフォルト])およびPPTPサーバ機能(TCP1723番、GRE)についてはDMZ対象外です。

- 3 設定を終えたら、 **保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 4 設定画面に、 **再起動** が表示されたら、それをクリックする



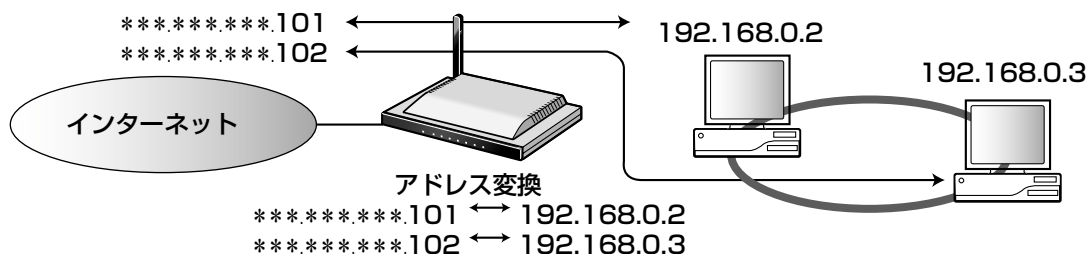
# 拡張機能を使う

## ■ LAN型アドレス変換

プロバイダーから複数のグローバルアドレスを提供されているとき、グローバルアドレスとプライベートアドレスの相互変換の設定を行います。

### 静的NAT

提供されているグローバルアドレスと、本製品に接続しているパソコンのプライベートアドレスを1対1で対応させます。



### 設定例：

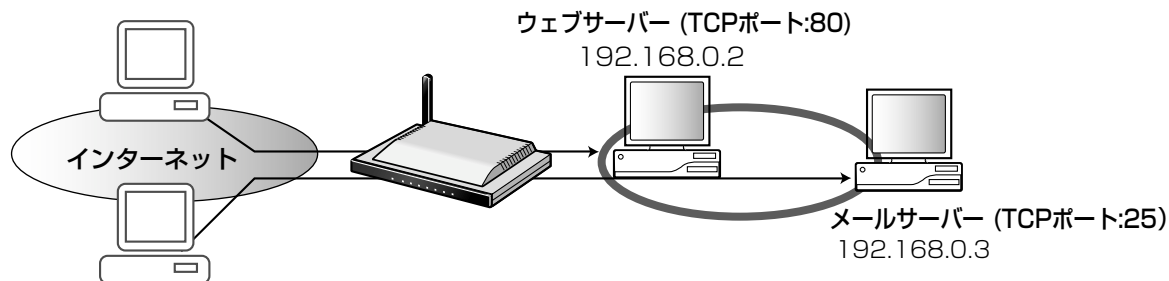
グローバルアドレス \*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.101 とプライベートアドレス 192.168.0.2 を、\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.102 と 192.168.0.3 をそれぞれ 1対1 で対応させる場合は、次のように入力してください。必ず転送対象プロトコルに「\*」を選んでください。転送対象ポート欄はマスクされます。入力後、転送対象ポート欄には「\*」と表示されます。

No.	操作	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象プロトコル	転送対象ポート	LAN側 IPアドレス
1	<a href="#">変更/削除</a>	有効	***.***.***.101	*	*	192.168.0.2
2	<a href="#">変更/削除</a>	有効	***.***.***.102	*	*	192.168.0.3

# 拡張機能を使う

## 静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)

1つのグローバルアドレスを使って、WAN(インターネット)側のパソコンから、本製品に接続している複数のパソコンを参照することができます。



### 設定例：

グローバルアドレス \*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.101を通して、192.168.0.2や192.168.0.3のパソコンを参照させるには、次のように入力してください。

No.	操作	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	変更/削除	有効	***.***.***.101	TCP	80	192.168.0.2
2	変更/削除	有効	***.***.***.101	TCP	25	192.168.0.3

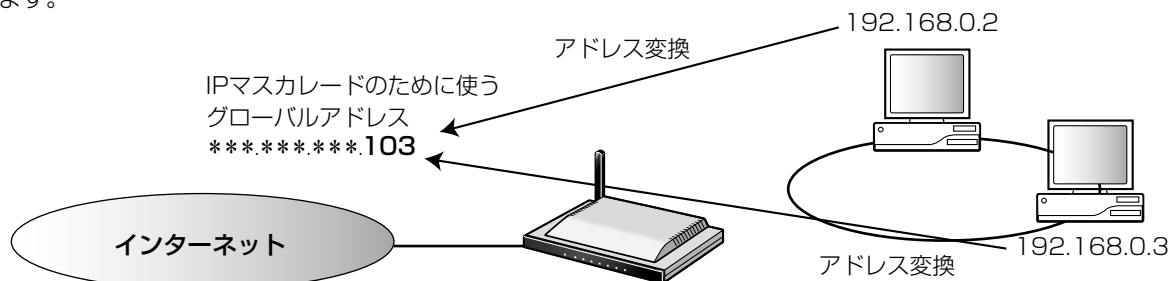


「パソコンのIPアドレスを固定するには」(P.126ページ)を参考にTCP/IPの設定を行ってください。

# 拡張機能を使う

## IPマスカレード

1つのグローバルアドレスを使って、複数のパソコンからインターネットに接続するとき、この機能を使います。



設定例：

No.	エントリー	IPマスカレード対象アドレス
1	無効	<input type="text"/>



「無効」を選ぶとBB-HGW502本体WAN側のIPアドレスが使用されます。

## データ入力欄

エントリー	「有効」または、「無効」を選んでください。 「有効」を選んだ場合、設定されたIPマスカレード対象アドレスが使用されます。 「無効」を選んだ場合、設定されたIPマスカレード対象アドレスは使用されませんが、「有効」を選び直すと使用されるようになります。
IPマスカレード対象アドレス	インターネットでデータのやり取りをするグローバルアドレスを入力してください。

## LAN型の設定で注意すること

- WAN(インターネット)側のIPアドレスが異なるとき、LAN(ホーム)側のIPアドレスを重複させることができません。
- LAN側IPアドレスの欄に、(プロバイダーから配布された)グローバルアドレスを入力しないでください。

No.	操作	エントリー	WAN側 IPアドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IPアドレス
1	変更/削除	有効	200.200.200.100	TCP	10	192.168.0.2
2	変更/削除	有効	200.200.200.101	TCP	20	192.168.0.2
3	変更/削除	有効	200.200.200.102	TCP	30	192.168.0.2

← 同一のアドレスを入力しない

# 拡張機能を使う

## <追加のしかた>

- 1 アドレス変換画面の「LAN型」をクリックする
- 2 LAN型静的アドレス変換(静的NAT、静的IPマスカレード)で、操作の**追加**をクリックする

- 3 設定の有効/無効、No.、WAN側IPアドレス、転送対象プロトコル、転送対象ポート、LAN側IPアドレス、それぞれの項目を設定する

設定の有効/無効で「有効」をチェックすると、指定されたエントリーが使用中になります。「無効」をチェックするとそのエントリーは機能しませんが、次に必要になったときの設定を容易にするため、一度設定した設定内容は削除されずに残されます。

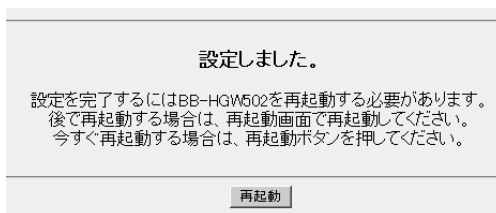
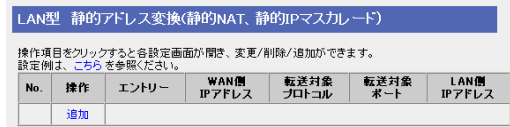
- 4 **追加** をクリックする

LAN型画面に戻り、追加された情報欄がオレンジになります。

- 5 保存をクリックする

設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。

- 6 **再起動** をクリックする



# 拡張機能を使う

## <変更/削除のしかた>

- 1 アドレス変換画面の「LAN型」をクリックする
- 2 LAN型静的アドレス変換(静的NAT、静的IPマスカレード)で変更または削除するNo.を選び、操作項目の**変更/削除**をクリックする  
アドレス変換画面が表示されます。
- 3 変更する場合には設定値を変更して **変更** を、 **削除** 削除する場合には削除をクリックする  
LAN型画面に戻ります。  
変更された場合、情報欄がオレンジになり、変更後の設定値が表示されます。  
削除された場合、情報欄がオレンジになり、「削除されています(未保存)」と表示されます。
- 4 **保存**をクリックする  
設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。
- 5 **再起動** をクリックする

LAN型 静的アドレス変換(静的NAT、静的IPマスカレード)

操作項目をクリックすると各設定画面が開き、変更/削除/追加ができます。  
設定例は、[こちら](#)を参照ください。

No.	操作	エントリー	WAN側 IP アドレス	転送対象 プロトコル	転送対象 ポート	LAN側 IP アドレス
1	変更/削除	**	***.***.***.***	***	***	***.***.***.***
	追加					

設定の有効/無効  有効  無効

No.

WAN側IPアドレス

転送対象プロトコル

転送対象ポート

LAN側IPアドレス

設定しました。

設定を完了するにはBB-HGW502を再起動する必要があります。  
後で再起動する場合は、再起動画面で再起動してください。  
今すぐ再起動する場合は、再起動ボタンを押してください。

# 拡張機能を使う

## DMZ機能(LAN型)

- 1 設定画面上の **LAN型** をクリックする
- 2 エントリーのドロップダウンリストから「有効」を選び、グローバルアドレス欄にグローバルアドレス、ホストIPアドレス欄に転送先IPアドレスを入力する

最大4組を登録できます。

DMZ機能(LAN型)			
No.	エントリー	グローバルアドレス	ホストIPアドレス
1	無効	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	無効	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	無効	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	無効	<input type="text"/>	<input type="text"/>



- 転送先に設定するIPアドレスは、LAN上にあるIPアドレスにしてください。
- 本製品のDMZ機能は、ポートフォワーディングによりLAN(ホーム)側に接続した機器のIPアドレスにデータを転送する機能です。転送先に設定したIPアドレスに対するフィルターは無効になります。本製品はセグメントを分けるDMZ機能ではないので、万一転送先に設定したIPアドレスが攻撃を受けた場合は、同じLAN(ホーム)側に接続している他の機器も攻撃される恐れがあります。セキュリティ面には十分に注意して、使用してください。
- DMZ機能を使用する場合は、アドレス変換を「使用する」に設定してください。(☞ 66ページ)
- BB-HGW502本体のWAN側に割り振られたIPアドレスのみカメラポータル(TCP80番[デフォルト])、設定画面(TCP8080番[デフォルト])およびPPTPサーバ機能(TCP1723番、GRE)についてはDMZ対象外です。
- ホストIPアドレスの欄に、(プロバイダーから配布された)グローバルアドレスを入力しないでください。

- 3 設定を終えたら、 **保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

- 4 設定画面に、 **再起動** が表示されたら、それをクリックする

# 拡張機能を使う

## ■ LAN型接続におけるグローバルアドレスとプライベートアドレスの混在

本製品では、LAN側にグローバルアドレス、プライベートアドレスの2つのネットワークアドレスをもつことが可能です。LAN側のパソコンにグローバルアドレスを割り振る方法は2種類あります。LAN型接続における本製品のグローバルアドレス(「BB-HGW502本体のIPアドレス」☞ 38ページ)は、LAN側のグローバルアドレスと重ならないアドレスを設定してください。

### <静的NAT>

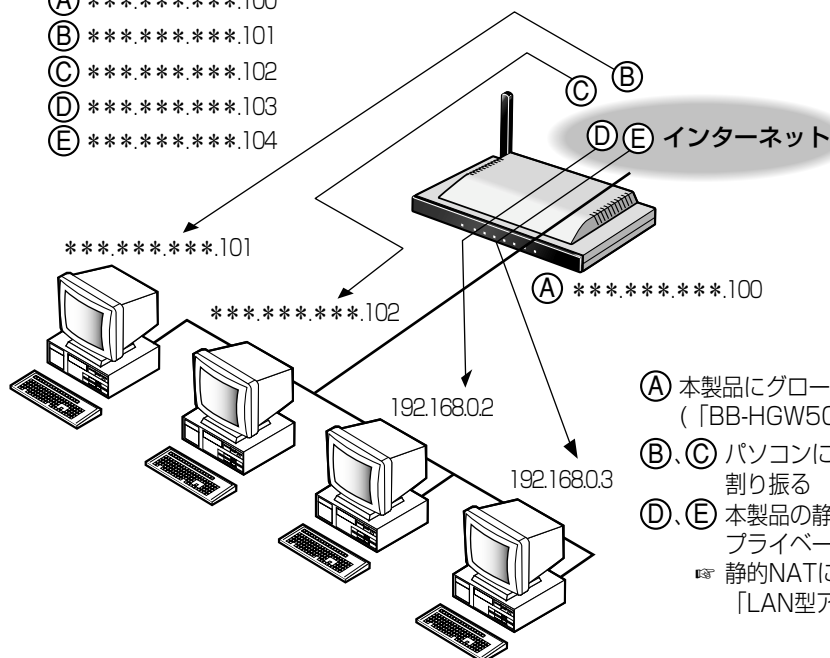
グローバルアドレスと、プライベートアドレスを1対1で変換します。

### <グローバルアドレスをパソコンに直接設定>

プロバイダーから提供されたグローバルアドレスをLAN側パソコンに直接設定します。サブネットマスク、DNSサーバーはプロバイダーから指定されたものを設定してください。デフォルトゲートウェイはルーターに割り振るグローバルアドレス(「BB-HGW502本体のIPアドレス」☞ 38ページ)を指定してください。

(例)グローバルIPアドレスが以下の場合

- (A) \*\*\*\*.\*\*\*\*.\*\*\*\*.100
- (B) \*\*\*\*.\*\*\*\*.\*\*\*\*.101
- (C) \*\*\*\*.\*\*\*\*.\*\*\*\*.102
- (D) \*\*\*\*.\*\*\*\*.\*\*\*\*.103
- (E) \*\*\*\*.\*\*\*\*.\*\*\*\*.104



- (A) 本製品にグローバルアドレスを割り振る  
(「BB-HGW502本体のIPアドレス」☞ 38ページ)
- (B)、(C) パソコンに直接グローバルアドレスを割り振る
- (D)、(E) 本製品の静的NATを利用してパソコンにプライベートアドレスを割り振る  
☞ 静的NATについては、73ページの「LAN型アドレス変換」を参照してください。



- 工場出荷時設定では、セキュリティ確保のため、グローバルアドレスをもつパソコンからプライベートアドレスをもつパソコンへはアクセスできない設定になっています。アクセス可能な状態に切り替えるには、**セキュリティ設定** をクリックし、セキュリティワンタッチ設定画面で「G-IPからP-IPへの通信を禁止する。」のチェックをはずしてください。
- PPPoEマルチセッションを利用する場合、パソコンのDNSサーバーの設定は本製品のLAN側IPアドレスを設定して、DNSリレーを使用する必要があります。(☞ 89ページ)

# 拡張機能を使う

## セキュリティを強化する

### ■ セキュリティ

本製品へのアクセス制限およびフィルタリングの設定がワンタッチでできます。セキュリティ設定を行った場合、工場出荷時設定ではフィルタリングログが保存されます。保存されたログは、3文字の略語(※ 81ページ)として画面に表示されます。

#### セキュリティワンタッチ設定

<input checked="" type="checkbox"/> G-IPからP-IPへの通信を禁止する。 <b>注:</b> ルータ配下にグローバルアドレスを持つ端末とプライベートアドレスを持つ端末が混在している場合に有効。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )
<input checked="" type="checkbox"/> プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。 <b>注:</b> BB-HGW502のWAN側アドレスにプライベートアドレスが割り当てられている場合は許可されます。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )
<input checked="" type="checkbox"/> NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。 <input type="checkbox"/> NetBIOS関連のアクセスだけは双方向に許可する。 <input type="checkbox"/> ダイレクトホスティングSMBのアクセスだけは双方向に許可する。 <input type="checkbox"/> RPCIに利用されるポートのアクセスだけは双方向に許可する。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )

#### アクセス制限

WAN側からBB-HGW502へのアクセス制限を設定します。  
パスワードは、[こちら](#)から設定できます。

設定画面: <input type="radio"/> パスワードで保護する。 <input checked="" type="radio"/> 禁止する。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )
カメラポータル画面: <input checked="" type="radio"/> パスワードなしで許可する。 <input type="radio"/> パスワードで保護する。 <input type="radio"/> 禁止する。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )

#### ステルスモードの設定

<input checked="" type="checkbox"/> BB-HGW502の存在をWAN(インターネット)側から検知できないようにする。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )
<input checked="" type="checkbox"/> Ident/Packetは例外とする。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )

#### 不正アクセス検知

<input checked="" type="checkbox"/> ステートフル・パケット・インスペクション(動的)パケットフィルタリング)を使用する。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )
<input type="checkbox"/> 攻撃検知をする。	( <input checked="" type="checkbox"/> ログ出力 )



# 拡張機能を使う

## データ入力欄

<ul style="list-style-type: none"><li>● セキュリティワンタッチ設定<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「G-IPからP-IPへの通信を禁止する。」</li><li>・ 「プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。」</li><li>・ 「NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。」</li></ul></li><li>● アクセス制限<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設定画面</li><li>・ カメラポータル画面</li></ul></li><li>● ステルスモードの設定<ul style="list-style-type: none"><li>・ BB-HGW502の存在をWAN(インターネット)側から検知できないようにする。</li><li>・ Identパケットは例外とする</li></ul></li></ul>	<p>セキュリティ上重要で頻度の高いファイアウォールを、簡単に設定することができます。工場出荷時設定では、最もセキュリティが高くなるように設定しています。必要な場合のみ変更してください。</p> <p><u>ログ保存時の表示: G-P</u> LAN型のPPPoE/Static接続において、LAN側にグローバルアドレス(G-IP)とプライベートアドレス(P-IP)が混在している場合、グローバルアドレスを持ったパソコンからプライベートアドレスを持ったパソコンへは通信できない設定にしています。通信が必要な場合には、この設定のチェックをはずしてください。工場出荷時設定では、「G-IPからP-IPへの通信を禁止する。」と「ログ出力」はチェックされています。</p> <p><u>ログ保存時の表示: P-P</u> WAN(インターネット)側へ送信するパケットのあて先、またはWAN側から受信するパケットの送信元がプライベートアドレスの場合、本製品へのアクセスを禁止します。工場出荷時設定では、「プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。」と「ログ出力」はチェックされています。</p> <p><u>ログ保存時の表示: SHR</u> Windowsでファイルやプリンターを共有する際に送受信されるパケットの双方向アクセスを禁止しています。工場出荷時設定では、「NetBIOS/ファイル共有/プリンター共有/PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。」と「ログ出力」はチェックされています。</p> <p>WAN側から本製品へのアクセス制限を設定します。 <u>ログ保存時の表示: W-C</u> WAN側から設定画面へのアクセスに対して、パスワードでの保護またはアクセスの禁止を選ぶことができます。工場出荷時設定では、「禁止する。」と「ログ出力」がチェックされています。</p> <p><u>ログ保存時の表示: W-P</u> WAN側からカメラポータル画面画面へのアクセスに対して、パスワードなしでの許可、パスワードでの保護、あるいはアクセスの禁止のいずれかを選ぶことができます。工場出荷時設定では、「パスワードなしで許可する。」と「ログ出力」がチェックされています。</p> <p><u>ログ保存時の表示: STL</u> WAN(インターネット)側から本製品の本体へのPingなどに応答しない設定をしています。応答しないため、Pingなどによる攻撃先の存在確認から逃れることができます。UDP/TCPポートスキャンにも応答しません。工場出荷時設定では、「BB-HGW502の存在をWAN(インターネット)側から検知できないようにする。」と「ログ出力」はチェックされています。</p> <p><u>ログ保存時の表示: STL(Ident)</u> クライアント側がメールを送受信しようとするときに、クライアント側に対して認証を行うメールサーバーがあります。この認証はTCPの113番ポートを使った認証用の識別プロトコルを利用して行われます。この認証の重要度は低いので、メールの送受信ができなくなることは多くの場合ありません。工場出荷時設定では、「Identパケットは例外とする。」と「ログ出力」はチェックされています。</p>
---	--

# 拡張機能を使う

<p>●不正アクセス検知</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ステートフル・パケット・インスペクション (動的パケットフィルタリング)を使用する。</li><li>・攻撃検知をする。</li></ul>	<p>不正アクセス検知機能を使用するときは、各項目のチェック欄にチェックしてください。</p> <p><u>ログ保存時の表示：SPI</u> WAN 側からの通信状態の予測に基づいて受信パケットを検査し、不正なパケットと判断された場合にはそのパケットを破棄します。静的なフィルタリング(ヘッダー情報でのパケット選別)と比較すると、より安全なインターネット通信ができます。工場出荷時設定では、「ステートフル・パケット・インスペクション(動的パケットフィルタリング)を使用する。」と「ログ出力」はチェックされています。</p> <p><u>ログ保存時の表示：DoS</u> WAN 側からの悪意のある通信などを検知し、パケットを破棄します。またログへ検知記録を残します。次のような攻撃を検知することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・TCPスキャン</li><li>・UDPスキャン</li><li>・ICMPエコー</li></ul>
--	--



各設定項目のログ出力のチェックをはずすと、ログが保存されません。



セキュリティを高めるためには、ソフトウェアなどの適切な運用およびバージョンアップが必要です。

## <各セキュリティ機能の優先順位>

本製品はインターネット上のさまざまな不正アクセスに対応するために、以下のセキュリティ機能を装備しています。

### 【優先順位上位順】

- ・フィルタリング (☞ 83ページ)
- ・セキュリティワンタッチ設定 (☞ 80ページ)
- ・ステルスモード (☞ 81ページ)

これらの機能は上から順に実行されます。条件に一致した時点でパケットの通過や破棄を決定します。



DMZ機能(☞ 72、78ページ)を利用している場合、DMZ端末に関係するパケットには、セキュリティ機能は実行されません。

# 拡張機能を使う

## ■ フィルタリング

IPアドレス、ポート、プロトコルの条件を指定することで、受信したIPパケットを通過、または遮断することができます。条件を適切に設定することで、セキュリティ対策として使用することができます。エントリーNo.の小さい順からフィルタリングの処理が行われます。フィルタリングの各項目の説明については、84ページを参照してください。

1 セキュリティ設定画面上の  
**フィルタリング** をクリックする

フィルタリング設定条件

No.	操作	エントリー	対象接続	タイプ	方向	送信元		あて先		プロトコル	ログ出力
						IPアドレス	ポート	IPアドレス	ポート		

操作項目をクリックすると、各設定画面が開き、更新・削除ができます。  
\*BB-HGW502\*はBB-HGW502自身、\*はすべてのアドレス/ポートが対象です。

注: オレンジで表示された行の情報は編集後、保存されていない状態です。  
設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。

優先順位の変更(エントリーの移動)

エントリーの移動:  番エントリーを  番エントリーへ移動する。 **移動**

**保存** **元に戻す**

2 フィルタリング設定条件で、  
**追加** をクリックする

3 必要項目を設定し、**追加** をクリックする

エントリー

No.  有効  無効  
30

対象接続 \*

タイプ  許可  禁止

方向  W->L  L->W

送信元 IPアドレス / マスク長 [ ] / [ ]  
ポート番号 [ ]

あて先 IPアドレス / マスク長 [ ] / [ ]  
ポート番号 [ ]

プロトコル \* [ ]

ログ出力  しない  する

**追加** **戻る**

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それを  
クリックする



- フィルタリング設定は、設定を終えたら必ず **保存** をクリックしてください。
- データ入力欄には、スペースを入れないでください。

# 拡張機能を使う

## データ入力欄

No.	エントリーNo. に1-64を選びます。エントリーNo. の小さい順にパケットフィルタリングの処理を行います。すでに登録されている場合は、そのエントリーに上書きされます。
対象接続	1はメインセッション、2はサブセッションを表わします。“*” を選ぶと、PPPoE全セッションおよびDHCP/Static接続が対象となります。
タイプ	許可(条件が一致すれば通す)、禁止(条件が一致すれば破棄する)のどちらかを選びます。
方向	W→L (WANからの受信時にフィルタリング) か L→W (WANへの送信時にフィルタリング) を選びます。
送信元IPアドレス	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● IPアドレスを1つだけ指定したい場合は、IPアドレスとそのネットマスクを入力してください。</li><li>● IPアドレスの範囲を指定したい場合は、IPアドレス欄にネットワークアドレスを、ネットマスク欄にネットワークプレフィックス数を入力してください。例えば192.168.0.0/16のネットワークアドレスを指定したい場合は、IPアドレス欄に192.168.0.0、ネットマスク欄に16を入力します。</li><li>● IPアドレスに*を入力するとすべてのIPアドレスが対象になります。</li></ul> (注) アドレス範囲指定の場合、範囲指定の中にBB-HGW502のアドレスが含まれていても、BB-HGW502に対するフィルタは実行されません。BB-HGW502に対するフィルタが必要な場合、アドレスの指定は"*"あるいはHGW自身をあらわす文字列(BB-HGW502)で入力する必要があります。
送信元ポート	フィルタリングするパケットの送信元ポート番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ポートを1つだけ利用したいときは、そのポート番号を入力してください。</li><li>● ポートの範囲を指定したい場合は、「-」を使って入力してください。例えば2000から3000までのポートを利用したい場合は、「2000-3000」と入力してください。小さいポート番号が左に、大きいポート番号が右になるように入力してください。</li><li>● *を入力するとすべてのポートが対象になります。</li></ul>
あて先IPアドレス	フィルタリングするパケットのあて先のIPアドレスを設定します。入力の規則は送信元IPアドレスと同じです。 BB-HGW502を指定すると、BB-HGW502自身が対象となります。 (注) IPアドレス(192.168.0.151-192.168.0.166)およびポート番号(53、80[ポータル画面]、1723、8080[設定画面]、10000、60001-60016)は、本製品で使用されています。同じIPアドレスまたはポート番号を使用している場合は、他のIPアドレス、ポート番号に変更してください。
あて先ポート	フィルタリングするパケットのあて先のポート番号を設定します。入力の規則は送信元ポートと同じです。 (注) IPアドレス(192.168.0.151-192.168.0.166)およびポート番号(53、80[ポータル画面]、1723、8080[設定画面]、10000、60001-60016)は、本製品で使用されています。同じIPアドレスまたはポート番号を使用している場合は、他のIPアドレス、ポート番号に変更してください。
プロトコル	データを送受信する際のプロトコルを選びます。TCP、UDP、TCP&UDP、ICMP、ESP、GRE、*の中から選びます。
ログ出力	パケット情報の記録を一時的に保存し、「フィルタリングログ」画面で表示する/しないを設定できます。

# 拡張機能を使う

---

## ■ フィルタリングの項目を修正または削除するには

- 1 セキュリティ設定画面上の **フィルタリング** をクリックする
- 2 フィルタリング設定条件の一覧から、修正または削除する項目の**操作**をクリックする
- 3 設定項目を修正し、**変更** をクリックする  
削除するには **削除** をクリックする
- 4 設定を終えたら、**保存** をクリックする  
設定した内容が保存されます。
- 5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする



データ入力欄には、スペースを入れないでください。

## ■ フィルタリング項目の優先順位を変更するには

エントリーNo. の小さい順から、パケットフィルタリングの処理を行います。パケットフィルタリング項目の優先順位を変更するには、フィルタリング設定画面の「優先順位の変更」で、移動する項目のエントリーNo. を左の入力欄に入力し、移動先のエントリーNo. を右の入力欄に入力して、**移動** をクリックしてください。そのあと、**保存** をクリックし、設定画面に **再起動** が表示されたら、それをクリックしてください。

# 拡張機能を使う

## オプションを使う

オプション設定画面では、LAN(ホーム)側の設定やWAN(インターネット)側にアクセスするための詳細な設定を行います。「IPアドレス(LAN側)DHCPサーバー」、「PPPoE」、「DNSリレー」、「MTUサイズ」、「ルーティング」、「UPnP」、「IPアドレス通知」の7項目について設定することができます。

オプション設定			
IPアドレス(LAN側) DHCPサーバー	PPPoE	DNSリレー	MTUサイズ
ルーティング	UPnP	IPアドレス通知	

オプション設定は、特に変更が必要な場合のみ行ってください。オプション設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1 設定画面上の **オプション設定** をクリックする

それぞれの入力欄については、次ページを参照してください。

2 画面の上にある設定項目を選ぶ

3 データ入力欄に設定値を入力する

元の設定に戻すには、**元に戻す** をクリックしてください。

4 設定を終えたら、**保存** をクリックする

設定した内容が保存されます。

5 設定画面に、**再起動** が表示されたら、それをクリックする

No.	操作	エントリー	IPアドレス(LAN側)	MACアドレス
	追加			



- オプション設定を変更した場合、本製品に接続しているパソコンの設定を行い、パソコンを再起動してください。
- データ入力欄には、スペースを入れないでください。

# 拡張機能を使う

## ■ IPアドレス(LAN側)DHCPサーバー

### <LAN(ホーム)側IPアドレス設定>

LAN(ホーム)側IPアドレス設定	
IPアドレス(LAN側)	<input type="text" value="192.168.0.254"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
設定画面のポート番号	<input type="text" value="8080"/>
カメラポータル画面のポート番号	<input type="text" value="80"/>

IPアドレス (LAN側)	LAN(ホーム)側のIPアドレスを入力できます。工場出荷時設定は、192.168.0.254です。IPアドレスは、DHCP設定での「利用可能なアドレス範囲」、「VPN設定」での基本画面における「PPTPサーバーの設定」で指定されるPPTPサーバーの「利用可能なアドレス範囲」、「カメラ設定」でのカメラ登録画面における「カメラの自動登録機能の設定」で指定される「利用可能なアドレス範囲」と重複しないように設定してください。
サブネットマスク	LAN(ホーム)側のサブネットマスクを入力します。
設定画面のポート番号	設定画面のポート番号を入力します。65535までの範囲を使用してください。ただし、80を除く1-1023はウェルノウンポートのため、また、53、1723、60001-60016は本製品が使用しているため、使用できません。
カメラポータル画面のポート番号	カメラポータル画面のポート番号を入力します。65535までの範囲を使用してください。ただし、80を除く1-1023はウェルノウンポートのため、また、53、1723、60001-60016は本製品が使用しているため、使用できません。

### <DHCPの設定>

DHCPの設定	
DHCPサーバー	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
利用可能なアドレス範囲	<input type="text" value="192.168.0.1"/> - <input type="text" value="192.168.0.32"/>

DHCPサーバー機能を使用することにより、LAN(ホーム)側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り振ります。

DHCPサーバー	LAN(ホーム)側に接続されている機器にIPアドレスを自動的に割り振ります。 工場出荷時設定は、「使用する」になっています。LAN(ホーム)側に接続されているすべての機器に手動でIPアドレスを設定する場合は、「 <b>使用しない</b> 」を選びます。DHCPサーバーの設定を変更した場合は、それぞれのパソコンのIPアドレスの設定を変更してください。
利用可能なアドレス範囲	DHCPサーバー機能を使用する際は、データ入力欄にプライベートアドレスの範囲を入力します。入力範囲は連続した最大128個の値です。特に必要ない限りは変更する必要はありません。

# 拡張機能を使う

## <DHCPスタティック設定>

DHCPサーバー機能を使うとき、パソコンのMACアドレスを登録することにより、パソコンに割り振るIPアドレスを固定することができます。

No.の **追加** をクリックすると、右の画面が表示されます。

設定の有効/無効  有効  無効  
IPアドレス (LAN側)   
MACアドレス

設定の有効/無効	「有効」または「無効」を選んでください。「有効」を選んだ場合、エントリーテーブルは、テーブル設定したMACアドレスをもつパソコンを、テーブルで設定したIPアドレスに固定します。「無効」を選んだ場合、他の項目を設定しても機能しませんが、「有効」を選び直すと機能するようになります。
IPアドレス (LAN側)	該当するパソコンの固定したいIPアドレスを入力してください。
MACアドレス	該当するパソコンのLANカードのMACアドレスを入力してください。必ず、半角数字と半角英字の A ~ F または a ~ f を2文字ずつ、半角の「:」で区切って「01:23:45:ab:cd:ef」のように入力してください。



# 拡張機能を使う

## ■ PPPoE

PPPoEを利用してプロバイダーと接続する場合、PPPoEの接続を開始、または停止することができます。メインセッション、サブセッションの接続方法を選んでください。プロバイダーとの契約で、インターネットアクセスの利用料金が従量制の場合は、「**手動接続**」を選んでください。

「**PPPoE**」をクリックすると、右の画面が表示されます。

常時接続	電源が入っている間は常に接続されます。これが工場出荷時設定となっています。PPPoE接続画面から手動で切断できます（ <a href="#">105ページ</a> ）。
手動接続	PPPoE接続は、PPPoE接続画面で「 <b>接続</b> 」を選んだ場合にのみ接続されます（ <a href="#">105ページ</a> ）。PPPoEの接続を切断するには、PPPoE接続画面上で「 <b>切断</b> 」をクリックしてください。

## ■ DNSリレー

LAN(ホーム)側に接続しているパソコンのIPアドレスを固定している場合などは、インターネットに接続するために、パソコンにDNSサーバーアドレスを入力する必要があります。DNSリレーはこの面倒な入力作業を省略します。DNSリレーにより本製品は、LAN(ホーム)側のパソコンに対して自身をDNSサーバーとして通知します。LAN(ホーム)側からのDNSの問い合わせに対しては、本製品がWAN(インターネット)側の指定のDNSサーバーに代理で問い合わせをします。そして、問い合わせで得た回答をLAN(ホーム)側のパソコンに返します。

「**DNSリレー**」をクリックすると、設定画面が表示されます。



- PPPoEマルチセッションを利用する場合は、必ずDNSリレーを使用してください。
- LAN(ホーム)側にDNSサーバーを接続している場合は、DNSリレーを使用しないでください。

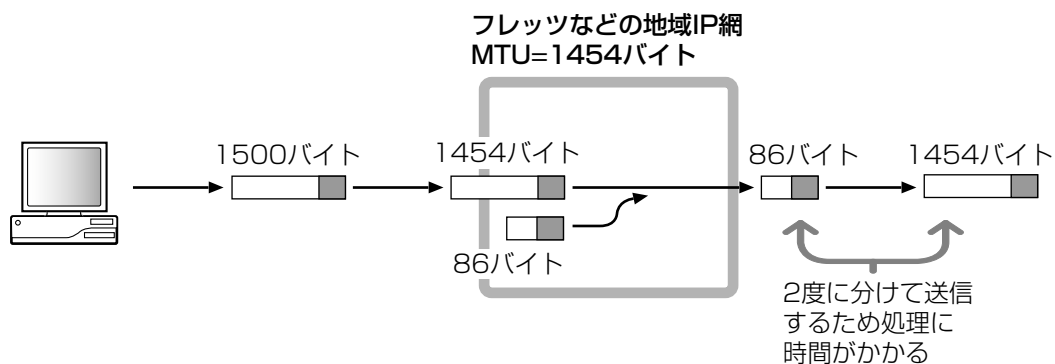
使用する	本製品をDNSサーバーの代理としてパソコンと通信します。工場出荷時設定は「使用する」になっています。パソコンのIPアドレスを固定している場合は、パソコンのDNSサーバーアドレス欄に本製品のIPアドレス192.168.0.254を入力します。
使用しない	DNSリレー機能が動きません。パソコンのIPアドレスを固定している場合は、パソコンのDNSサーバーアドレス欄にDNSサーバーのアドレスを入力します。

# 拡張機能を使う

## ■ MTUサイズ

MTUとは、送信できるパケットの最大長をいいます。MTUの値が大きければ、1回に転送できる転送量が大きくなります。しかし、フレッツなどを使用するとき、MTUの値が大きすぎると、パケットが2回に分けられて送信されます。その結果、転送速度が低下します。通常は最適なMTU値になるように本製品が自動調整します。変更が必要な場合のみMTU値を変更してください。

「MTUサイズ」をクリックすると、設定画面が表示されます。



MTUの設定によっては、通信速度が極端に低下する場合があります。

## ■ ルーティング

ダイナミックルーティングとスタティックルーティングの設定を行うことができます。

「ルーティング」をクリックすると、設定画面が表示されます。

### ダイナミックルーティング設定

LAN(ホーム)側設定	LAN(ホーム)側のRIP対応機器に対して、本製品が保持する経路情報を「送受信を行う／受信のみ／送信のみ／使用しない」を設定します。工場出荷時設定では「使用しない」になっています。
WAN(インターネット)側設定	経路情報をWAN(インターネット)側に送信すると、LAN(ホーム)側情報が外部から見えることとなります。「送受信を行う／受信のみ／送信のみ／使用しない」のいずれかを選ぶことができます。工場出荷時設定では「使用しない」になっています。

# 拡張機能を使う

## スタティックルーティング設定

本製品は、自動的に決定されるダイナミックルーティングのほかに、ゲートウェイを固定で4つまで設定することができます。これにより、本製品配下に複数のサブネットワークを構築したり、柔軟なルーティング設定を行うことができます。

**1** オプション設定の「ルーティング」をクリックする

**2** スタティックルーティング設定で、**エントリー**、**あて先IPアドレス**、**ネットマスク**、**ゲートウェイ**、**Metric**を設定する

**3** 保存をクリックする

設定が完了したことを知らせる再起動画面が表示されます。

**4** **再起動** をクリックする

## データ入力欄

エントリー	この項目を「有効」に指定すると、入力されたスタティックルーティング設定が有効になります。スタティックルーティングを行わない場合は、「無効」にしておいてください。また「無効」に指定しても、次に必要となるときに設定しやすいように、入力された他の設定は削除されません。
あて先IPアドレス	あて先ホストまたはあて先ネットワークのIPアドレスを入力します。
ネットマスク	あて先IPアドレスに対するネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	ゲートウェイのIPアドレスを入力します。
Metric	ドロップダウンリストから、Metric値を選びます。 Metricとは、パケットが通過するルーターの数を意味します。



スタティックルーティングで転送先に設定できるのは、本製品のネットワーク上にあるゲートウェイIPアドレスに限られます。ただし、DHCP、PPPoE接続でWAN側ポートに接続されたゲートウェイは、スタティックルーティングの転送先に設定することはできません。

# 拡張機能を使う

## ■ UPnP

本製品はUPnPに対応したアプリケーションやUPnP対応機器を利用できます。UPnP機能は、有線で接続したパソコン、無線で接続したパソコンのいずれからでも利用できます。UPnP対応アプリケーション(Windows/MSN Messengerなど)の使いかたについては115ページを参照ください。

1 オプション設定の「UPnP」をクリックする

2 UPnP機能のIGD機能を「使用する」を選ぶ

3 「UPnPポート自動削除設定」の時間を設定する

Messenger対応の機能により動的に開いたポートを削除するための時間を設定します。1～24時間の範囲で1時間単位で設定できます。“無期限”に設定するとポートの自動削除は行われません。この場合、ポートを削除するには本製品を再起動するか、ステータス内のUPnPポートマッピングテーブルを表示して「テーブル削除」をクリックし、手動で削除を行う必要があります。



- ポートが登録されてからは、上記で設定した時間が経過したら、強制的にポートが削除されます。アプリケーションの使用/未使用にかかわらず時間が経過すれば、ポートが閉じます。
- 音声チャットなどを24時間以上断続的に利用するときは、タイマー値を無期限にしてください。ポートを削除するには本製品を再起動するか、ステータス内の「UPnPポートマッピングテーブル」を表示して「テーブル削除」を実行し、手動で削除を行う必要があります。(109ページ)

4 設定を終えたら、「保存」をクリックする

設定した内容が保存されます。



保存中は絶対に電源を切らないでください。保存中に電源を切ると本製品が正常に動作しなくなる可能性があります。

5 設定画面に、「再起動」が表示されたら、それをクリックする

# 拡張機能を使う



- アドレス変換の設定を変更した場合、本製品に接続しているパソコンの設定も行い、パソコンを再起動してください。
- UPnPポート自動削除設定の設定が無期限の場合、UPnPでオープンされた外部ポートは、アプリケーションからの削除要求以外は閉じられません。セキュリティの面から、Windows/MSN Messengerを使用する場合は、自動削除するようにタイマーを設定してください。  
なお、Windows/MSN Messengerを起動している状態でタイマーによるポート削除によりリンクが切れた場合は、Windows/MSN Messengerをいったん終了してから起動し直してください。  
Windows/MSN Messengerをサインインし直すだけでは正常に動作しませんのでご注意ください。
- 本製品WAN側に接続されたUPnP対応ルーターの配下で使用する場合、使用するルーター仕様によっては、本製品のセキュリティ設定によりIGD機能が動作しないことがあります。本製品のステルスモードの設定を無効にしてください。(☞ 81ページ)

## UPnP対応ルーターの配下で使用する

### CP機能

CP機能を使用すると、本製品WAN側に接続されたUPnP対応ルーター(以下、上位ルーターという)のポートマッピングを制御することができます。この機能をもつ機器をCP(コントロールポイント)と呼びます。この機能は本製品に登録されたカメラに対して有効です。



- 上位ルーターがUPnP対応であっても、上位ルーターの仕様によっては、利用できないことがあります。
- 上位ルーターにWANからLANへの通信をフィルタリングする設定がなされている場合には、本製品のカメラポータル画面および本製品LAN側に接続されたカメラに対してインターネット側からアクセスできないことがあります。上位ルーターのフィルタリング設定の変更が必要です。
- 上位ルーターのウェブサーバーがポート番号80番を使用している場合、上位ルーターの設定を変更するか、本製品ウェブサーバーのポート番号を80番以外(例：8081番)に設定してください。(☞ 87ページ)  
本製品のウェブサーバーのポート番号を変えたときには、ウェブブラウザのアドレスバーにポート番号を指定してください。(例: <http://WAN側IPアドレス:8081>)
- 上位ルーターの仕様によっては、本製品のセキュリティ設定によりCP機能が動作しないことがあります。本製品のステルスモードの設定を無効にしてください。(☞ 81ページ)

## UPnP関連情報の表示

### <UPnPログ>

Windows/MSN Messengerが本製品に対して行ったポートマッピングの状況について表示します。あらかじめオプション設定のUPnPで、IGD機能を「使用する」に設定する必要があります。(☞ 92ページ)

Windows/MSN Messengerが本製品に対して行ったリクエストのログを、最新のものから表示します。最大ログ件数は400件です。400件を超えた場合は古いものから順に消去されます。また、本製品を再起動するとUPnPログ情報は消去されます。

UPnPログの確認方法については、111ページを参照してください。

# 拡張機能を使う

## ■ IPアドレス通知

IPアドレス通知機能を使用することにより、WAN側IPアドレスを指定メールアドレスに通知することができます。これにより、WAN側に動的にIPアドレスが割り振られるサービス(DHCP、PPPoE接続)においてWAN側IPアドレスが変化した場合でもIPアドレスを知ることができるので、インターネットから本製品へアクセスすることができます。

### IPアドレス通知内容

件名 (サブジェクト)	内容
ユーザー設定された文字列	WAN側のIPアドレス

### 受信メール例:

From: xxxxx@panasonic.com  
Date: Mon, 07 Jun 2004 17:17:17 +0900  
To: xxxxx@panasonic.com  
Subject: IPアドレス通知  
X-RCPT-TO: <yyyyy@zzz.co.jp>  
111.222.333.444



- 設定情報を変更すると保存後再起動するのでメール通知が行われます。
- PPPoE(マルチセッション)のときは、メインセッションのIPアドレスのみ監視します。サブセッションのIPアドレスは監視しません。
- SMTP認証には対応していません。

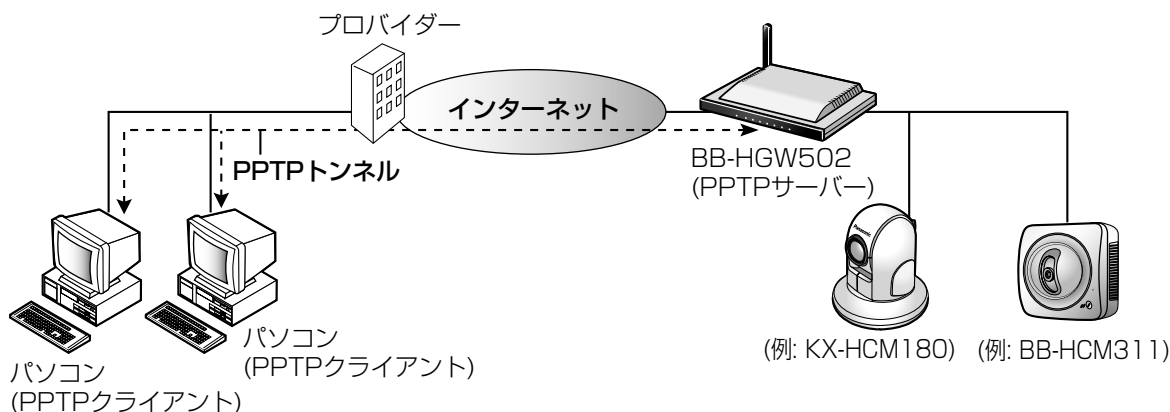
### データ入力欄

IPアドレス通知	IPアドレス通知を「使用する」か「使用しない」にチェックを入れてください。「使用する」を選んだ場合、下記の項目を設定してください。
送信メール(SMTP)サーバー	送信メール(SMTP)サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力してください。
受信メール(POP3)サーバー	受信メール(POP3)サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力してください。
ログインID	受信メール(POP3)サーバーのログインIDを入力してください。
パスワード	受信メール(POP3)サーバーのパスワードを入力してください。
返信先 (送信元)	返信先(送信元)のメールアドレスを入力してください。管理者のメールアドレスを入力することをおすすめします。
件名	件名を入力してください。
あて先1~5	Eメールの送信先のアドレスを5つまで設定できます。

# 拡張機能を使う

## VPNを使う

本製品は、PPTP(Point-to-Point Tunneling Protocol)によりVPN(Virtual Private Network: 私設仮想回線)を構築することができます。VPNとは、インターネットを介して専用線のように安全性を確保する仮想的な私設回線です。この機能を使って、遠隔地のパソコンからカメラ映像を安全に見ることができます。



- 1 PPTPサーバーを「使用する」にチェックを入れる
- 2 ユーザー名とパスワードを入力して **保存** をクリックする  
ユーザー名とパスワードの設定完了を知らせる再起動画面が表示されます。
- 3 **再起動** をクリックする  
カメラコントロールユニットの再起動を知らせる画面のあと、トップページが表示されます。

The screenshot shows the 'PPTPサーバーの設定' (PPTP Server Settings) web page. It includes a 'PPTPサーバー' section with a radio button for '使用する' (checked) and '使用しない'. Below is a field for '利用可能なアドレス範囲' (Utilizable IP address range) set to '192.168.0.100 - 192.168.0.103'. A note states '注: 利用可能なアドレス範囲は最大4個です。' (Note: The number of usable IP address ranges is up to 4). The 'ユーザー登録' (User Registration) section has a table with columns for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password), with four rows for registration. A note below the table reads: '注: ①ユーザー名とパスワードは、PPTPサーバーにアクセスするために必要です。必ず、メモをおとりください。②ユーザー名とパスワードは、半角英数字のみ使用できます。ただし、@space[]![]@[]![]D[]は、使用できません。③大文字、小文字を区別して入力してください。④パスワードは、ユーザー名と異なっていなければなりません。⑤パスワードは定期的に変更してください。' (Note: ① Username and password are required to access the PPTP server. Please take notes. ② Username and password can only use alphanumeric characters. However, @space[]![]@[]![]D[] cannot be used. ③ Distinguish between uppercase and lowercase letters. ④ Password must be different from the username. ⑤ Change the password regularly.) At the bottom are '保存' (Save) and '元に戻す' (Reset) buttons.

### データ入力欄

PPTPサーバー	「使用する」または「使用しない」を選んでください。
利用可能なアドレス範囲	接続時にPPTPサーバーからIPアドレスを割り振ります。利用可能なアドレス範囲は最大4個です。DHCPで使用されるIPアドレス(☞ 87ページ)やカメラに対して割り振られるIPアドレス(☞ 50ページ)と重複しないようご注意ください。工場出荷時設定は192.168.0.100～192.168.0.103です。
ユーザー名/パスワード	ユーザー名とパスワードを入力してください。4組まで登録できます。

# 拡張機能を使う



本製品のPPTPサーバーと接続するPPTPクライアントは、Windows XPとWindows 2000のPPTPクライアントのみのサポートです。

## ■ 詳細

認証方式や暗号化方式の設定を行います。

- 1 **認証方式の設定**で、「MS-CHAP、またはMS-CHAPv2を使用する」、または、「MS-CHAPv2のみ使用する」をチェックする
- 2 **暗号化方式の設定**で、「なし、またはMPPE40bit、MPPE128 bitを許可する」、「MPPE40bitまたは、MPPE128 bitを許可する」、「MPPE128 bitを許可する」のいずれかをチェックする
- 3 設定を終えたら、**保存**をクリックする
- 4 設定画面に、**再起動**が表示されたら、それをクリックする

The screenshot shows two sections: '認証方式の設定' (Authentication Method Setting) and '暗号化方式の設定' (Encryption Method Setting). In the authentication section, 'MS-CHAP、またはMS-CHAPv2を使用する' is selected. In the encryption section, 'MPPE40bitまたは、MPPE128bitを許可する' is selected. Buttons for '保存' (Save) and '元に戻す' (Reset) are visible at the bottom.

## データ入力欄

認証方式の設定	パスワードの暗号化方式を指定します。MS-CHAPおよびMS-CHAPv2は、PPP接続時に、ユーザー名とパスワードを暗号化して相手認証を行う暗号化認証方式です。MS-CHAPは、クライアントから本製品への一方向の暗号化を行う認証方式です。これに対し、MS-CHAPv2は、クライアントと本製品の双方がそれぞれの身元を証明する相互認証方式などの機能が採用されていますので、MS-CHAPよりもセキュリティの点で向上しています。「MS-CHAP、またはMS-CHAPv2を使用する」または「MS-CHAPv2のみ使用する」を選んでください。工場出荷時設定では「MS-CHAP、またはMS-CHAPv2を使用する」が選ばれています。
暗号化方式の設定	本文の暗号化方式を指定します。MPPEは、PPTPによるVPN接続のデータを暗号化します。MPPE128 bit(強力)およびMPPE40 bit(標準)の2つの暗号化方式があり、PPTP接続と本製品間のデータセキュリティを強化します。「なし、またはMPPE40 bit、MPPE128 bitを許可する」、「MPPE40 bitまたは、MPPE128 bitを許可する」、「MPPE128 bitを許可する」のいずれかを選んでください。工場出荷時設定では「MPPE40 bitまたは、MPPE128 bitを許可する」が選ばれています。



# 拡張機能を使う

## アプリケーション機能を使う

本製品は、カメラを制御する基本的なプログラム(ファームウェア)とは別に、アプリケーションを追加したり、変更したりできるアプリケーションプラットフォーム機能を搭載しています。本製品設置後にパナソニックのサポートウェブサイト\*から必要なカメラ制御アプリケーションをダウンロードすることで本製品の機能を強化できます。

※パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>)



本製品は、カメラとの通信が切断されて応答が得られない場合に、メールで通知するカメラ切断通知機能を標準で搭載しています。

### ■ アプリケーションの登録追加

アプリケーションの登録追加を行う前に、パソコンにアプリケーションをダウンロードしてください。詳細は上記のサポートウェブサイトの説明をお読みください。

1 設定画面上の **アプリケーション機能** をクリックする

2 アプリケーションを選ぶために、**参照…** をクリックする

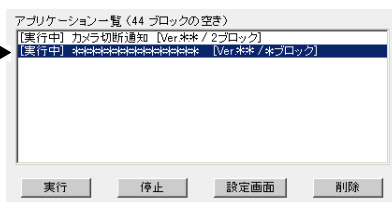
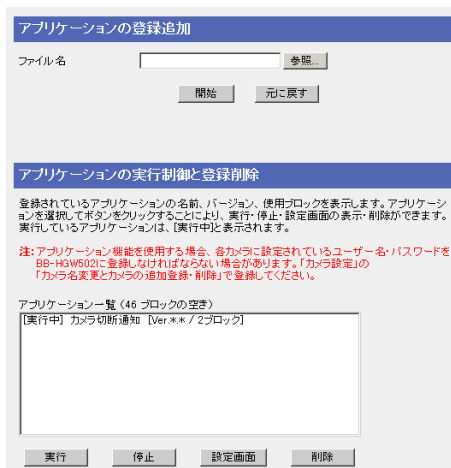
ファイルの**選択**ダイアログボックスが表示されます。

3 ファイルの一覧からインストールしたいアプリケーションを選び、**開く** をクリックする

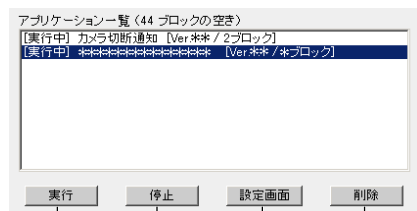
選んだファイルがアプリケーション機能設定画面の**ファイル名**欄に表示されます。

4 **開始** をクリックする

アプリケーションの登録が終わったら、アプリケーション一覧に登録したアプリケーションが表示されます。



### ■ アプリケーション一覧



①

②

③

④

- ① 停止したアプリケーションを再度、実行します。(☞ 98ページ)
- ② アプリケーションを停止します。(☞ 98ページ)
- ③ アプリケーションによっては、プログラム実行の際に設定が必要です。(☞ 各アプリケーションの操作説明書)
- ④ アプリケーションを削除します。(☞ 98ページ)

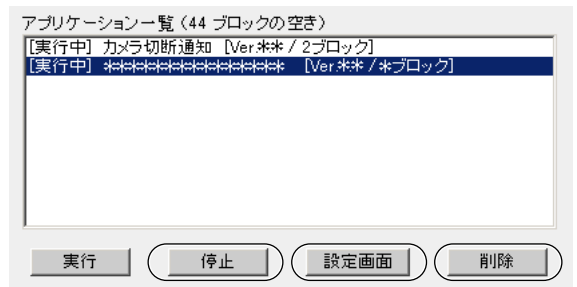
# 拡張機能を使う

## ■ アプリケーションの実行制御と登録削除

1 設定画面上の **アプリケーション機能** をクリックする

2 アプリケーションを選んで **停止**、**設定画面** または **削除** をクリックする

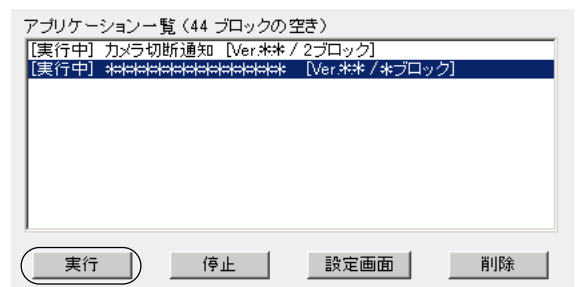
- 削除する場合は確認のダイアログボックスが出ます。アプリケーションが正しいか確認して、**はい** を押してください。
- **設定画面** の内容については、各アプリケーションの操作説明書を参照してください。



## ■ 停止したアプリケーションの実行

1 設定画面上の **アプリケーション機能** をクリックする

2 アプリケーションを選んで **実行** をクリックする



アプリケーションについては、本製品を再起動しても、現在の動作状態(実行もしくは停止状態)を保持します。

# 拡張機能を使う

## ■ アプリケーション用メール設定

アプリケーションプラットフォーム機能で使用するメール転送の設定を行います。

- アプリケーションによってはアプリケーション用メール設定が必要になります。

1 **アプリケーション用メール設定** をクリックする

2 各項目を設定し、**保存** を押す

3 **再起動** をクリックする

メール設定(共通)	
送信メール(SMTP)サーバー	<input type="text"/>
受信メール(POP3)サーバー	<input type="text"/>
ログインID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
返信先(送信元)	<input type="text"/>

メールあて先設定	
あて先1	<input type="text"/>
あて先2	<input type="text"/>
あて先3	<input type="text"/>
あて先4	<input type="text"/>
あて先5	<input type="text"/>

### データ入力欄

送信メール(SMTP)サーバー	送信メール(SMTP)サーバーのアドレス※ <sup>1</sup> またはホスト名(1~255文字)* <sup>2</sup> を入力してください。
受信メール(POP3)サーバー	受信メール(POP3)サーバーのアドレス※ <sup>1</sup> またはホスト名(1~255文字)* <sup>2</sup> を入力してください。
ログインID	受信メール(POP3)サーバーのログインIDを入力してください。 ※ <sup>3</sup>
パスワード	受信メール(POP3)サーバーのパスワードを入力してください。 ※ <sup>3</sup>
返信先(送信元)* <sup>2</sup>	返信先(送信元)のメールアドレスを入力してください。管理者のメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先* <sup>2</sup> 1~あて先5	Eメールの送信先のアドレスを5つまで設定できます。

※<sup>1</sup> 192.163.0.253のように4つの数字(0~255)と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。)

※<sup>2</sup> 半角英数字のみ使えます。ただし、[スペース]、[']、[ ]、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:]は使えません。

※<sup>3</sup> メール転送時にPOP3の認証が必要なときは、ネットワーク管理者またはプロバイダーに確認し、設定してください。



SMTP認証には対応していません。

## パスワードを変更する

設定画面およびカメラポータル画面へアクセスするための共用パスワードを変更します。

- 1 設定画面上の **パスワード設定** をクリックする
- 2 設定画面またはカメラポータル画面のユーザー名入力欄に新しいユーザー名を6～15文字までの半角英数字で入力する
- 3 パスワード入力欄に新しいパスワードを6～15文字までの半角英数字で入力し、確認のため、**パスワードの再入力欄**に再度新しいパスワードを入力する

設定画面に対しては1つ、カメラポータル画面に対しては4つのパスワードを設定できます。



- **パスワードの再入力欄**に入力する際は、コピー・貼り付け機能を使わないでください。
- 大文字、小文字を区別してユーザー名とパスワードを入力してください。

パスワード設定			
	ユーザー名	パスワード	パスワードの再入力
設定画面	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
カメラポータル画面	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>
	<input type="text"/>	<input type="password"/>	<input type="password"/>

- 4 **保存** をクリックする

- パスワードの変更が終了したら、右の画面が表示されます。

**パスワード設定**

設定しました。

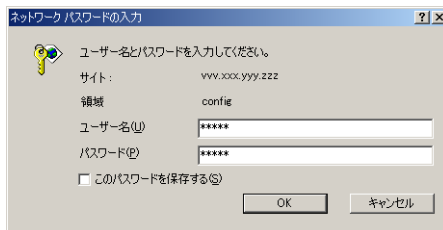
- 入力されたパスワードがまちがっていると、右の画面が表示されます。

**パスワード設定**

パスワードの入力に誤りがあります。

# 管理する

- 5** ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されたら、**ユーザー名とパスワード**欄に新しいユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックする



## 設定したユーザー名とパスワードを忘れてしまった場合

CLEAR SETTINGボタンを押して本製品の初期化を行ってください。(※ 114ページ)

設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。もう一度ユーザー名とパスワードを設定し直してください。

## バージョンアップする

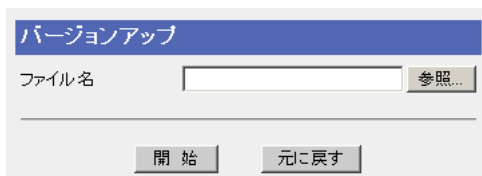
お客さまプライバシー情報の漏えい、本製品の不正操作、妨害や停止などを防ぐために、最新のファームウェアを入手してバージョンアップを行ってください。最新ファームウェアファイルは、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>) から入手することができます。

バージョンアップ機能を使う前に、パソコンにファームウェアファイルをダウンロードしてください。

詳細は、サポートウェブサイトの説明をお読みください。

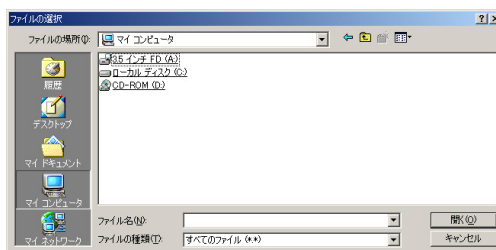
古いバージョンのファームウェアをダウンロードするときには、設定情報が初期化されることがあります。詳細は、リリースノートを参照ください。

- 1** 設定画面上の **バージョンアップ** をクリックする



- 2** ファームウェアファイルを選ぶために、**参照...** をクリックする

**ファイルの選択**ダイアログボックスが表示されます。



- 3** ファイルの一覧からインストールしたいファームウェアファイルを選び、**開く** をクリックする

選んだファイルがバージョンアップ画面の**ファイル名**欄に表示されます。

## 4 開始 をクリックする

バージョンアップを行います。



バージョンアップ中は絶対に電源を切らないでください。更新中に電源を切ると正常に動作しなくなります。

(バージョンアップ中に誤って電源を切ってしまった場合は、次に電源を入れたときにPOWERインジケーターが緑点滅しますので、「ご使用前に／困った時には」の14ページにある「POWERインジケーターが緑に点滅する」を参照して、再度ファームウェアのバージョンアップを行ってください。)

- バージョンアップが終了すると、自動的に再起動します。
- バージョンアップされなかったときは、エラーメッセージが表示されます。  
(下記表を参照してください。)



- バージョンアップ後、初期化を必要とする場合があります。詳細はパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。初期化はCLEAR SETTINGボタン(☞ 114ページ)を押してください。
- DHCPサーバー機能(☞ 87ページ)を使っているときは、本製品に接続しているLAN(ホーム)側のすべてのパソコンを再起動してください。

エラーメッセージ	原因と対策
正しいファイルではありません。	選んだファームウェアファイルは、本製品には使えません。適切なファイルを選んでください。ファイルに添付されている説明書(Readme.txtなど)を参照して、本製品のハードウェアバージョンに合っているか確認してください。(☞ 107ページ) 合っていないときは、ハードウェアバージョンに合う最新版のファームウェアファイルを <a href="http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/">http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/</a> より入手してください。
メモリーが足りません。	本製品の内蔵メモリーが処理負荷のため少なくなっています。本製品を再起動したあと、再度バージョンアップを行ってください。

## バックアップする

各種設定ファイルのバックアップと、バックアップしたファイルの復元ができます。

### ■ 設定ファイル作成

- 1 設定画面上の **バックアップ** をクリックする
- 2 「バックアップファイルの作成」をクリックする  
ダウンロードのウィザード画面が表示されます。
- 3 保存する場所とファイル名を指定して保存する



アプリケーションについては、バックアップされません。

### ■ 設定ファイル復元

- 1 設定画面上の **バックアップ** をクリックする
- 2 復元させるファイルを選ぶために、**参照...** をクリックする  
ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。
- 3 ファイルの一覧から復元させるバックアップファイルを選び、**開く** をクリックする  
選んだファイルが設定ファイル復元設定画面のファイル名欄に表示されます。
- 4 **復元** をクリックする
- 5 **再起動** をクリックする  
再起動されます。



- 復元しようとする設定ファイルが壊れていたり間違っている場合は、エラー画面が表示されます。詳細は実際の画面を参照ください。
- 設定を復元したあとは、すべてのアプリケーションは停止状態になります。アプリケーション機能の設定画面で実行させてください。

# 管理する

## 再起動する

再起動します。このとき、本製品の設定内容は保存されています。

- 1 設定画面上の **再起動** をクリックする

再起動します

再起動

- 2 **再起動** をクリックする

再起動されます。



DHCPサーバー機能(☞ 87ページ)を使っているときは、本製品に接続しているLAN(ホーム)側のすべてのパソコンも再起動してください。



アプリケーションについては、本製品を再起動しても、現在の動作状態(実行もしくは停止状態)を保持します。

## 初期化する

すべての設定値を初期化します。設定値は、工場出荷時に設定されていた内容(工場出荷時設定 ☞ 131ページ)に戻ります。

- 1 設定画面上の **初期化** をクリックする

現在の設定を初期化します

初期化

- 2 **初期化** をクリックする

すべての設定値が初期化されます。



- DHCPサーバー機能(☞ 87ページ)を使っているときは、本製品に接続しているLAN(ホーム)側のすべてのパソコンも再起動してください。
- アプリケーションについては、初期化されません。本製品を初期化すると、すべてのアプリケーションは停止状態になります。アプリケーション機能の設定画面で実行させてください。



## PPPoE接続 / 切断を使う

PPPoEの接続コマンドによって、プロバイダーへのPPPoE接続を手動で切断または接続することができます。本製品の電源を切るときは、PPPoE接続を手動で切断したあとに電源を切ってください。PPPoE接続を手動で切断する前に本製品の電源を切ると、再接続時に時間がかかる場合があります。

### <PPPoE接続を行う場合>

- 1 設定画面上の **PPPoE接続/切断** をクリックする

右の画面が表示されます。

- 2 PPPoE接続を開始するには、各セクションの **接続** をクリックする

PPPoE接続/切断を実行します

メインセッション \*\*\*\*\*  
状態: 接続されていません。  
アクセスコンセントレーターから応答がありません。  
接続 切断

サブセッション \*\*\*\*\*  
状態: 接続されていません。  
アクセスコンセントレーターから応答がありません。  
接続 切断

### <PPPoE接続を切断する場合>

- 1 設定画面上の **PPPoE接続/切断** をクリックする

右の画面が表示されます。

- 2 接続を切断するには、各セクションの **切断** をクリックする

PPPoE接続/切断を実行します

メインセッション \*\*\*\*\*  
状態: 接続されています。  
接続 切断

サブセッション \*\*\*\*\*  
状態: 接続されています。  
接続 切断



- このコマンドは、PPPoEの接続形態の種類(常時接続または手動接続)に関係なく使用できます。
- WAN(インターネット)側からは、PPPoEの切断はできません。

### セッション・キープ・アライブ機能について

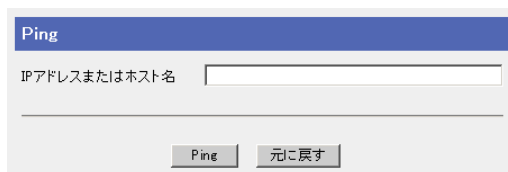
本製品はセッション・キープ・アライブ機能をもっています。PPPoE接続の常時接続モードの場合に、プロバイダーのサーバーとの接続が何らかの理由で切断したときに、自動的に接続を試みる機能です。本製品のセッション・キープ・アライブ機能は次の特徴をもっています。

- 常時接続モード時に有効になっています。手動接続モード時は、自動的に接続しません。
- 再接続を行うタイミングは、1分後、2分後、3分後…9分後と1分ずつ増えていき、それ以降は10分間隔で接続を試みます。

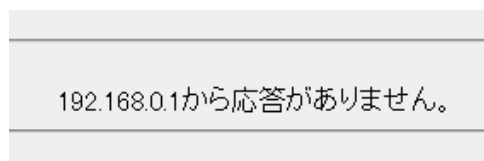
## ネットワークの接続を確認する

WAN(インターネット)側、または、LAN(ホーム)側のウェブサイトや機器が、TCP/IPネットワークで本製品と接続されているかどうか、確認することができます。正しく接続されている場合は、「成功！」のメッセージが画面に表示されます。

- 1 設定画面上の **Ping** をクリックする
- 2 接続されていることを確認したい機器やサイトのIPアドレス(例：192.168.0.1)またはホスト名(例: panasonic.jp)を入力する  
IPアドレスまたはホスト名欄を空白に戻すには、**元に戻す** をクリックする



- 3 **Ping** をクリックする
  - 接続されている場合は、右の画面が表示されます。
  - 指定IPアドレスからの応答がない場合は、右の画面が表示されます。



- Pingを実行したウェブサイトが接続されていても、ウェブサイトによってはPingに回答しない場合があります。この場合、「失敗」と表示されます。
- ホスト名がDNSで解決できない場合にも、「見つかりません」というエラー画面が表示されます。

# 情報を知る

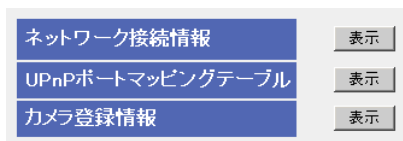
## ネットワーク情報を知る

「ネットワーク接続情報」と「UPnPポートマッピングテーブル」によって、本製品のネットワーク接続に関する諸情報を表示します。

### ■ ネットワーク接続情報

ハードウェアとソフトウェアのバージョン情報などを見ることができます。この情報は、ネットワークカメラカスタマコンタクトセンターに連絡するとき役に立ちます。

- 1 設定画面上の **ステータス** をクリックする



- 2 ステータス下部の「ネットワーク接続情報」の **表示** をクリックする

システム設定	
ファームウェア	Ver*.*** *****
設定情報	Ver*.***
MACアドレス(WAN側)	**.*.*.*.*.*.*.*
MACアドレス(LAN側)	**.*.*.*.*.*.*.*
使用メモリー容量	***** byte
メモリー残容量	***** byte



表示画面最下部のステータス保存をクリックすると、ファイルのダウンロード画面が表示されません。保存する場所とファイル名を指定して表示内容を保存できます。

### ■ UPnPポートマッピングテーブル表示

本製品に登録したUPnPポートマッピング設定情報が表示されます。最大128件まで表示されます。また、本製品を再起動するとUPnPポートマッピング登録情報は消去されます。

UPnPポートマッピング設定情報は次の手順で確認することができます。

- 1 設定画面上の **ステータス** をクリックする

- 2 ステータス下部の「UPnPポートマッピングテーブル」の **表示** をクリックする

No.	状態	クライアント	プロトコル	外部ポート	内部ポート	リモートホスト	有効期間(秒)	登録日時	説明
1	有効	192.168.0.1	TCP	80	80	*	1080	10/08 13:09:58	CamPortMapping

# 情報を知る

## ■ 表示項目

### 登録されたUPnPポートマッピングの設定情報

登録件数	UPnPポートマッピングの最大登録数は128件です。 以下、2つの状態を示します。 1 「アドレス変換」で「使用する (UPnP対応)」を選んでいる場合、「登録件数：現在の登録件数／128」が表示されます。 2 「アドレス変換」で「使用する (UPnP対応)」を選んでいない場合、「登録件数：0／128」が表示されます。
UPnPポートが登録されてから、自動削除されるまでの時間	アドレス変換設定で登録したUPnPポート自動削除設定の値（無期限、1～24時間）が表示されます。 注：登録日時から設定時間が経過すると、ポートが自動削除されます。
状態	ポートマッピングの設定が有効か無効かが表示されます。
クライアント	クライアントのIPアドレスが表示されます。
プロトコル	設定された情報の対象となるプロトコルが表示されます。「TCP」または「UDP」が表示されます。
外部ポート	設定されたポート情報の外側（WAN側）のポート番号が表示されます。
内部ポート	設定されたポート情報のクライアント側のIPアドレスとポート番号が表示されます。
リモートホスト	クライアントから通信相手を特定してポート追加要求された場合、相手のホストIPアドレスが表示されます。通信相手に制限がなければ、*が表示されます。
有効期限（秒）	クライアントから登録UPnPポートに対して有効期限が設定される場合は、その有効期限が秒で表示されます。有効期限が設定されない場合は無期限と表示されます。
登録日時	クライアントがUPnPで登録アクセスしてきた日時が表示されます。 注：この時間は表示しているパソコンの現在時刻を基に算出しています。 表示されている日時がおかしい場合は、パソコンの時刻設定を確認、調整してください。
説明	アプリケーションから送られてくる情報が表示されます。

# 情報を知る

## <UPnPポートマッピングテーブル登録情報消去>

本製品に登録したUPnPポートマッピングテーブルを強制的に消去することができます。テーブル削除ボタンを押すと、すべてのUPnPポートマッピングテーブルが消去されます。

UPnPポートマッピングテーブル登録の全消去は次の手順で行います。

### 1 UPnPポートマッピングテーブル画面で

**テーブル削除** をクリックする

テーブルが全削除された画面が表示されます。

No.	状態	クライアント	プロトコル	外部ポート	内部ポート	リモートホスト	有効期間(秒)	登録日時	説明
-----	----	--------	-------	-------	-------	---------	---------	------	----

リモートホストは通信相手を選択することができ、セキュリティとして使用されます。  
\*は通信相手を制限しないことを意味します。

テーブル削除 戻る



- Windows/MSN Messengerを終了してもUPnPポートマッピングが残ることがあります。それによりUPnPポートマッピング最大登録件数128件を越える登録がされた場合、その登録は無視され、正常にWindows/MSN Messengerが利用できなくなることがあります。その場合は、ポートマッピングテーブルを一度削除してください。
- Windows/MSN Messengerを起動している状態でUPnPポートマッピング登録情報を消去して接続が切れた場合は、Windows/MSN Messengerをいったん終了後、起動し直してください。Windows/MSN Messengerをサインインし直すだけでは正常に動作しませんので注意してください。

## ■ カメラ登録情報表示

本製品に登録したネットワークカメラの登録情報が表示されます。最大16件まで表示されます。自動設定を行ったネットワークカメラが対象となります。手動で設定を行ったネットワークカメラの情報は表示されません。カメラ登録情報は次の手順で確認することができます。

1 設定画面上の **ステータス** をクリックする

2 ステータス下部の「カメラ登録情報」の **表示** をクリックする

### カメラ登録情報

カメラ登録状態を表示します。

登録件数: 1 / 16

No.	状態	対象接続	転送対象プロトコル	転送対象ポート	転送先IPアドレス
1	有効	*	TCP	60001	192.168.0.151

\*は通信相手を制限しないことを意味します。

戻る

## 各種ログを知る

本製品が取得している各種ログを表示します。最新のログから順に表示され、ログ満杯時には、古いログから削除されて新しいログが上書きされていきます。



- 本製品の設定には、最低限、ユーザー名/パスワードによる認証を常に行ってください。
- 本製品へアクセスするためのユーザー名/パスワード、本製品に対する設定情報、アプリケーション設定情報、ログなどのシステム管理情報は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセス制限をしたり、利用者以外にはユーザー名/パスワードやその他の設定・管理情報は秘密にしてください。
- ログ日時はログをモニターするパソコンから算出しています。日時表示がおかしい場合は、パソコンの時計日時を確認、修正し、ログを再表示させてください。



- 再起動するとログ情報は消去されます。
- 各表示画面最下部の **ログ保存** をクリックすると、ファイルのダウンロード画面が表示されます。保存する場所とファイル名を指定して表示内容を保存できます。

### ■ フィルタリングログ

フィルタリング設定の画面で「ログ出力」にチェックをつけたエントリーがパケットの処理を行うとパケットの情報を記録します。パケット情報は、対象接続、フィルター番号、ステータス、方向、送信元/あて先ポート番号などで、最新の情報(4000件まで)を見ることができます。

- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 「フィルタリングログ」の **表示** をクリックする
- 3 **再読み込み** をクリックし、最新のログ画面を表示させる

記録したログを削除するには、**ログ削除** をクリックしてください。

現在ログはありません。

No.	対象接続	フィルター番号	ステータス	方向	送信元 IPアドレス ポート	あて先 IPアドレス ポート	プロトコル	日時
再読み込み   ログ削除   ログ保存								



フィルタリングログのフィルター番号に、"G-P"、"P-P"、"SHR"、"W-C"、"W-P"、"STL"、"STL (Indent)"、"SPI"、"DoS"と表示されている場合、セキュリティワンタッチ設定によるフィルタリングの内容を表示しています。詳しくは81、82ページを参照してください。

# 情報を知る

## ■ UPnPログ(一般)およびUPnPログ(CP機能)

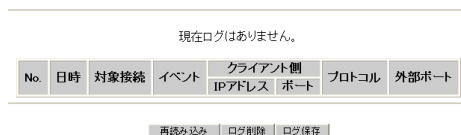
UPnPログ(一般)は、ポートマッピングの追加、削除、失敗状況のログ情報を一覧で表示します。UPnPログ(CP機能)は、UPnP CP機能のポートマッピングの追加、削除、失敗のログ情報を一覧で表示します。最大保存ログ件数および1画面に表示できるログ件数は400件です。

1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする

2 UPnPログの **表示** をクリックする

3 **再読み込み** をクリックし、最新のログ画面を表示させる

記録したログを削除するには、**ログ削除** をクリックしてください。



## ■ 表示項目

No	ログ番号です。最新のものから順に番号が割り振られます。
日時	本製品がポートの操作を行った時間が表示されます。この時間は表示しているパソコンの現在時刻を基に算出しています。表示されている日時がおかしい場合は、パソコンの時刻設定を確認、調整して、上記手順を繰り返してください。
イベント	本製品が行ったポート操作の内容が表示されます。表示される内容は以下のいずれかの項目です。 <ul style="list-style-type: none"><li>・「ポート追加」：ポート情報が追加されました。</li><li>・「ポート追加失敗」：ポートの追加に失敗しました。</li><li>・「ポート削除」：ポート情報が削除されました。</li><li>・「ポート削除 (ユーザー操作)」：登録されていた情報がユーザーによって削除されました。</li><li>・「ポート削除失敗」：ポートの削除に失敗しました。</li><li>・「ポート一括削除 (ユーザー操作)」：登録されていた情報がユーザーによって削除されました。</li><li>・「ポート自動削除 (ユーザー設定)」：UPnPポート自動削除設定タイマーで設定された時間が経過しました。</li><li>・「ポート自動削除 (アプリケーション設定)」：使用中のアプリケーションにより指定された時間が経過しました。</li><li>・「ポート追加失敗 (無期限指定のみ)」：ポートの追加に失敗しました。</li><li>・「ポート追加失敗 (外部ポート指定制限)」：ポートの追加に失敗しました。</li></ul>
クライアント側 (IPアドレス、ポート)	設定されたポート情報のクライアント側IPアドレスとポート番号が表示されます。
プロトコル	設定された情報の対象となるプロトコルが表示されます。「TCP」もしくは「UDP」が表示されます。
外部ポート	設定されたポート情報の外側(WAN側)のポート番号が表示されます。

# 情報を知る

## ■ 接続／切断ログ

PPPoE接続やDHCP接続における接続・切断および認証のログを表示します。接続ログの場合は、接続した際のIPアドレスが確認できます。1画面に100件のログを表示でき、最大400件のログを記録できます。100件以上のログがある場合は、画面下部に記録されているページ番号を選び、目的の情報を表示してください。

- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 接続／切断ログの **表示** をクリックする

---

現在ログはありません。

No.	日時	発生箇所	ログメッセージ
-----	----	------	---------

[再読み込み](#) [ログ削除](#) [ログ保存](#)

## ■ みえますねっとログ

みえますねっとサーバーとの通信のログを表示します。1画面に100件のログを表示でき、最大400件のログを記録できます。ログは100件ごとに4グループに分割されています。

- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 みえますねっとログの **表示** をクリックする

---

現在ログはありません。

No.	日時	対象接続	ログメッセージ	登録IPアドレス
-----	----	------	---------	----------

[再読み込み](#) [ログ削除](#) [ログ保存](#)

## ■ VPN接続／切断ログ

VPN 接続／切断ログを400件登録できます。1画面に100件のログを表示でき、最大400件のログを記録できます。

- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 VPN 接続／切断ログの **表示** をクリックする

---

現在ログはありません。

No.	日時	イベント	クライアントIPアドレス	リースIPアドレス	ユーザー名
-----	----	------	--------------	-----------	-------

[再読み込み](#) [ログ削除](#) [ログ保存](#)

## ■ メール送信ログ

IPアドレス通知およびアプリケーション機能によるメール転送のログを表示します。1画面に400件のログを表示でき、最大400件のログを記録できます。ログは400件まで表示できます。

- 1 設定画面上の **ログ表示** をクリックする
- 2 メールログの **表示** をクリックする

---

現在ログはありません。

No.	日時	ログメッセージ	あて先
-----	----	---------	-----

[再読み込み](#) [ログ削除](#) [ログ保存](#)



# 情報を知る

## サポートを使う

製品やサポートに関する情報を、インターネットから得ることができます。

1 メニュー画面上の **サポート** をクリックする

2 製品情報、または、サポート情報のURLをクリックする

ウェブサイトが表示されます。

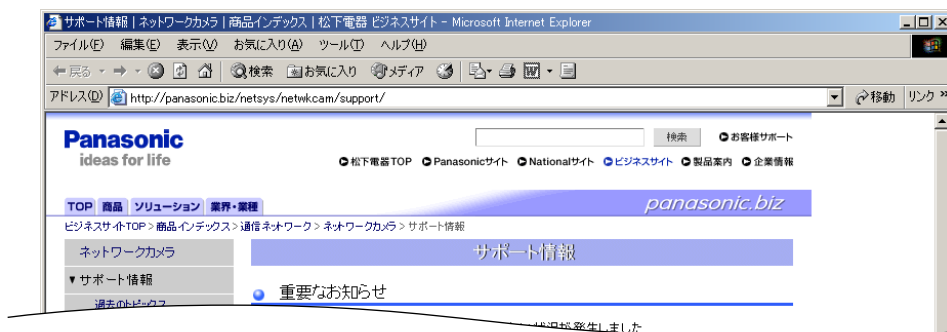
### 製品情報

<http://panasonic.biz/netsys/netwcam>

### サポート情報

<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support>

### サポート情報のウェブサイト例



## ヘルプを使う

ヘルプ機能は、設定画面の各項目を説明しています。メニュー画面の「機能」、「設定」、「拡張機能」、「管理」、「情報表示」における各項目のメイン画面の青い帯のついたハイパーリンクから、該当する項目に関するヘルプを参照することもできます。

1 設定画面上の **ヘルプ** をクリックする

2 調べたい項目を選ぶ

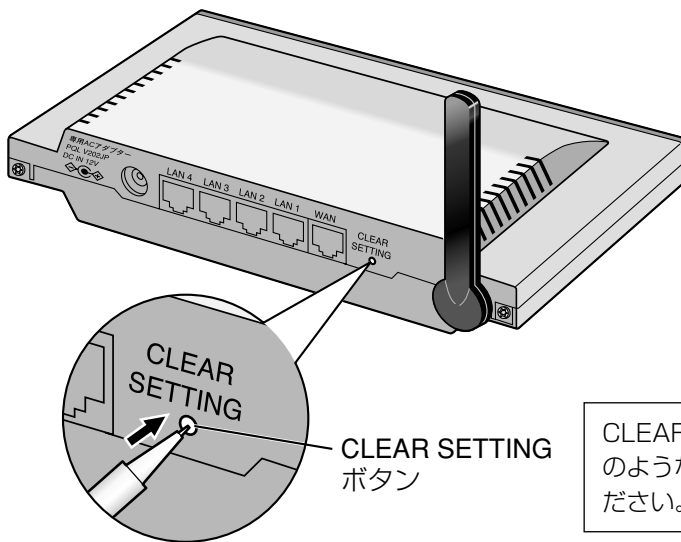
- [機能](#)
- [設定](#)
- [拡張機能](#)
- [管理](#)
- [情報表示](#)



設定画面上の項目をクリックすることでもヘルプを参照できます。

# 初期化

本製品の背面にCLEAR SETTINGボタンがあります。このボタンは初期化するときに押します。



CLEAR SETTINGボタンをボールペンのような先のとがったもので押してください。

## 初期化

パスワード(☞ かんたんガイド)を忘れたり、設定値を工場出荷時の状態(工場出荷時設定 ☞ 131ページ)に戻すときは、CLEAR SETTINGボタンを1秒間押し続けてください。



- CLEAR SETTINGボタンを押すと、設定した内容は消去され工場出荷時設定になります。
- DHCPサーバー機能(☞ 87ページ)を使うときは、本製品に接続しているLAN(ホーム)側のすべてのパソコンを再起動してください。



- CLEAR SETTINGボタンでの初期化とメニュー画面での初期化とは、同じ機能です。
- アプリケーションについては、初期化されません。本製品を初期化すると、すべてのアプリケーションは停止状態になります。アプリケーション機能の設定画面で実行させてください。

## 再起動

POWERインジケータが赤に点滅した場合(☞ 「ご使用の前に／困ったときには」の13ページ)は、本製品を再起動してください。コンセントからACプラグを抜き、もう一度差し込むと本製品の設定内容を変更することなく再起動することができます。



- DHCPサーバー機能(☞ 87ページ)を使うときは、本製品に接続しているLAN(ホーム)側のすべてのパソコンを再起動してください。



- アプリケーションについては、本製品を再起動しても、現在の動作状態(実行もしくは停止状態)を保持します。

# UPnPを使う

本製品はUPnPに対応したアプリケーションやUPnP対応機器を利用できます。UPnP機能は、有線で接続したパソコン、無線で接続したパソコンのいずれからでも利用できます。

## ■ UPnPについて

UPnP Forum IGD (Internet Gateway Device) 1.0に準拠し、NATトラバーサル機能\*に対応しています。これによって、本製品のLAN側に接続した複数台のパソコンから同時にWindows/MSN Messengerを利用できます。

※NATトラバーサル機能

ネットワーク認識アプリケーションが、NATデバイスの配下にあることを検出し、外部IPアドレスを識別して、外部ポートから内部ポートへパケットを転送するポートマッピングを設定できる一連の機能のことです。

## ■ UPnP機能を利用できるOS

UPnP機能に対応しているOSは以下のとおりです。

- Windows XP
- Windows Me



Windows 2000とWindows 98SEは、MSN Messengerを利用することで本製品のUPnP機能を利用することができますが、UPnPの正式対応OSではないため、動作を保証するものではありません。

## ■ UPnP対応アプリケーション

動作を確認しているUPnP対応アプリケーションは以下のとおりです。

- MSN Messenger 6.1以降、Windows Messenger 4.7以降 (Windows XP)  
Windows MessengerはWindows XPに標準搭載されており、MSN Messengerはマイクロソフトのウェブサイトからダウンロードできます。「インスタントメッセージ」、「音声チャット」、「ビデオチャット」、「ファイルまたは写真の送信」、「リモートアシスタンス」、「アプリケーション共有」、「ホワイトボード」、「電話をかける」(MSN Messengerのみ)などの機能があります。
- MSN Messenger 6.1以降 (Windows XP以外)  
Windows 2000またはWindows 98SE/Meで利用可能です。「インスタントメッセージ」、「音声チャット」、「ファイルまたは写真の送信」、「電話をかける」などの機能があります。



- Windows/MSN Messengerを利用するパソコンには、DirectX® 8.1以降がインストールされている必要があります。
- 「電話をかける」機能を利用する場合には、マイクロソフトのウェブサイトから“Windows Messengerのオーディオに関連するアップデート”を行う必要があります。

# UPnPを使う

## ■ UPnP機能を利用できるパソコンの台数

UPnP機能を利用できるパソコンの台数は、ご使用になるアプリケーションによって左右されます。



UPnPで設定可能なポートマッピング数は全セッションの合計で最大128件です。

## ■ パソコンの準備

### <Windows XPの場合>

#### ● Windows Messengerを利用する場合

Windows Messengerのヘルプメニューから「Windows Messengerのバージョン情報」を選びます。

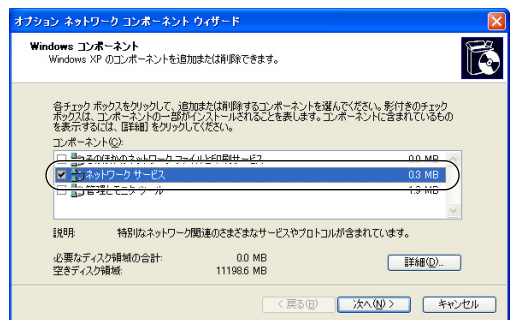
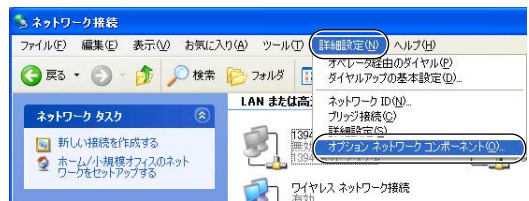
#### ● MSN Messengerを利用する場合

MSN Messenger (Windows XP版) をマイクロソフトのウェブサイトからダウンロードしてインストールしてください。

MSN Messengerのバージョンが6.1より古い場合にはバージョンアップしてください。

## UPnPの設定

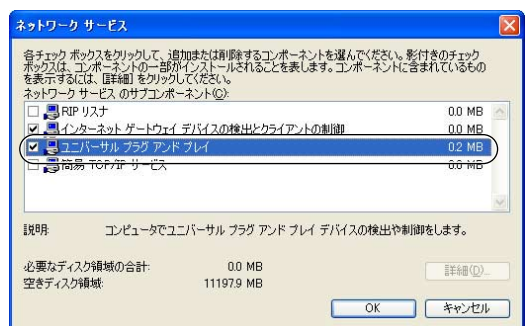
- 1 「スタート」メニューの「マイコンピュータ」から「マイネットワーク」を選び、「ネットワーク接続を表示する」を選ぶ
- 2 「詳細設定」メニューから「オプションネットワークコンポーネント」を選ぶ
- 3 「ネットワークサービス」を選び **詳細** をクリックする



- 4 「ネットワークサービス」の画面で「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認する

チェックが入っていない場合は、チェックを入れて **OK** をクリックします。

Windows XPのCD-ROMを要求されたときは、画面の指示に従って操作してください。



# UPnPを使う

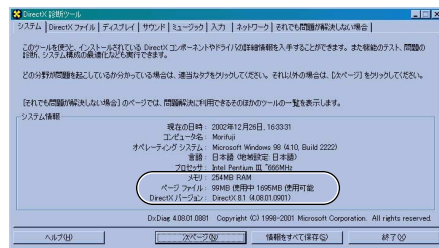
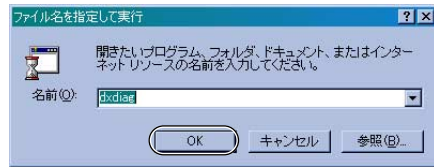
## <Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEの場合>

### MSN Messengerのバージョンを確認する

MSN Messengerのヘルプメニューから「MSN Messengerのバージョン情報」を選びます。MSN Messengerのバージョンが6.1より古い場合にはバージョンアップしてください。

### DirectXのバージョン確認

- 1 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選ぶ
- 2 名前欄に「dxdiag」を入力して **OK** をクリックする
- 3 DirectXのバージョンが8.1より古い場合はバージョンアップする  
画面に従って操作してください。

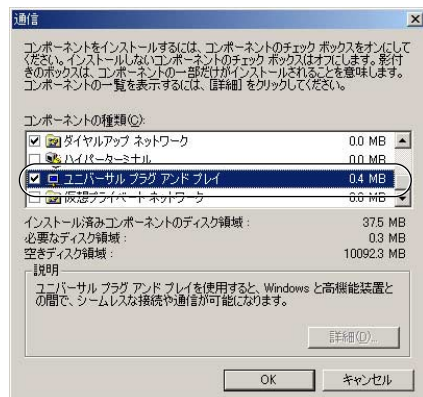


### UPnPの設定 (Windows Meのみ設定)



Windows 2000、Windows 98SEにはこの設定はありません。

- 1 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして、「Windowsファイル」タブをクリックする
- 3 「コンポーネントの種類」で「通信」を選び **詳細** をクリックする  
「コンポーネントの種類」の画面で「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックが入っているか確認してください。  
チェックが入っていない場合は、チェックを入れて **OK** をクリックします。  
Windows MeのCD-ROMを要求されたときは、画面の指示に従って操作してください。



# UPnPを使う

## ■ その他

### <動作環境>

UPnPでWindows／MSN Messengerを利用する場合、通信する相手の環境によって動作環境に制約があります。



Windows／MSN Messenger機能を使う際、通信相手がUPnPに対応していないルーターを使用している場合や、プライベートアドレスを付与するプロバイダー経由で接続している場合などのように、環境によっては通信できない場合があります。

### <本製品接続時のパソコン画面について>

次の手順はWindows Meを使った場合です。

- 1 本製品にUPnPがONに設定されたパソコンを接続する  
パソコンのマイネットワーク上とタスクトレイ上に本製品のアイコンが表示されます。
  - アイコンは、Windows 2000、Windows 98SEでは表示されません。
  - タスクトレイアイコンは一度だけ表示され、二度目の接続では表示されません。



- 2 タスクトレイ上のアイコンをクリックする  
デスクトップ上にショートカットアイコンを作成するか聞いてきます。**[はい]**を押すとデスクトップ上にアイコンが作成されます。



- 3 マイネットワーク上のアイコンもしくはデスクトップ上のショートカットアイコンをダブルクリックする  
ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力すると、本製品の設定画面が表示されます。

# UPnPを使う

機能名称	Windows XP		Windows Meの場合
	Windows Messenger 4.7	MSN Messenger 6.1	MSN Messenger 6.1
インスタントメッセージ	設定によらず使用可	設定によらず使用可	設定によらず使用可
音声チャット	使用可	使用可	使用可
ビデオチャット	使用可	使用可	機能なし
ファイルまたは写真の送信	使用不可 <sup>※1</sup>	使用可	使用不可 <sup>※1</sup>
ホワイトボード	使用可	使用可	機能なし
アプリケーション共有	使用可	使用可	機能なし
リモートアシスタンス	使用可	使用可	機能なし
電話をかける	機能なし	使用可 <sup>※2</sup>	使用可 <sup>※2</sup>

※1 接続環境によっては、受信のみできる場合があります。

※2 本製品を通過した過去の通信や、サーバーの状態により電話ができないと判断される場合があります。

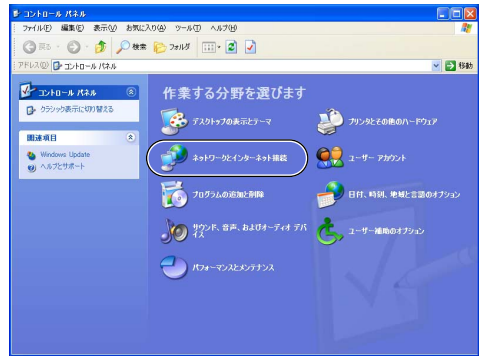


Windows/MSN Messengerの各機能については、Windows/MSN Messengerのヘルプを参照してください。

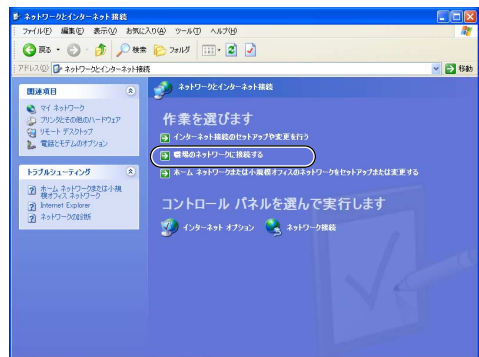
# VPN使用時のPPTP設定: Windows XPの場合

パソコンにVPN(PPTP)接続の設定を行います。Windows XPをご使用の場合、次の手順に従って設定を行ってください。

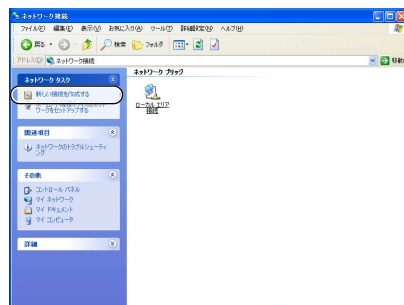
- 1 **スタート** メニューの「コントロールパネル」から、「ネットワークとインターネット接続」をクリックする



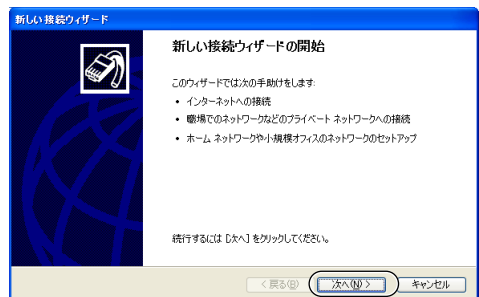
- 2 「ネットワーク接続」をクリックする



- 3 「新しい接続を作成する」をクリックする



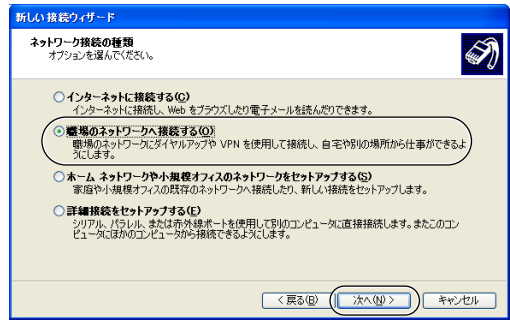
- 4 **次へ** をクリックする



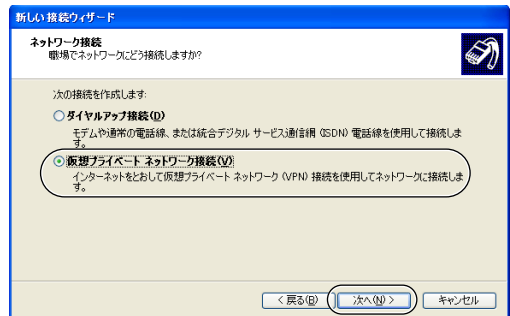


# VPN使用時のPPTP設定: Windows XPの場合

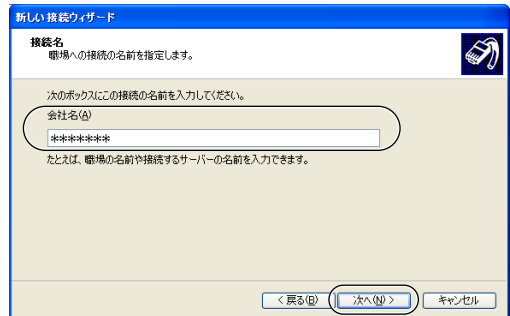
- 5 「職場のネットワークに接続する」をチェックし、**次へ** をクリックする



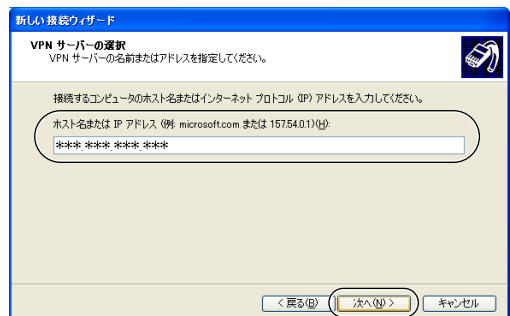
- 6 「仮想プライベート ネットワーク接続」をチェックし、**次へ** をクリックする



- 7 任意の接続名を入力し、**次へ** をクリックする

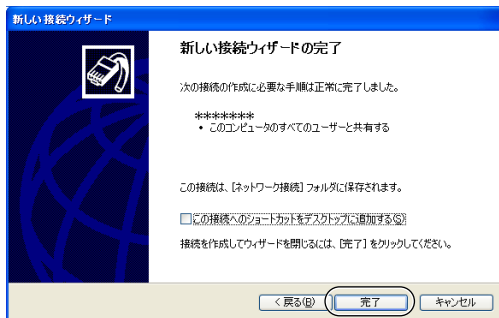


- 8 BB-HGW502のWAN側IPアドレスを入力し、**次へ** をクリックする

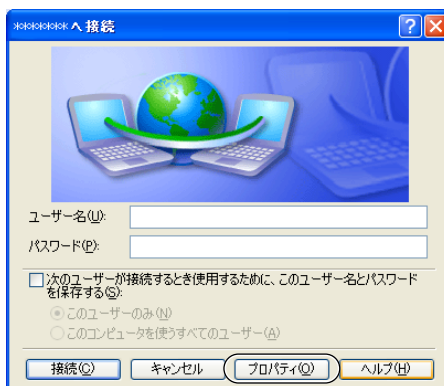


# VPN使用時のPPTP設定: Windows XPの場合

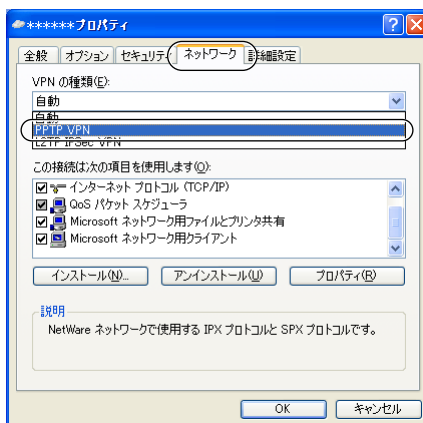
9 **完了** をクリックする



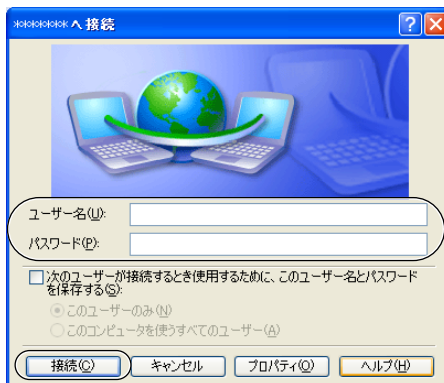
10 **プロパティ** をクリックする



11 ネットワークタブをクリックし、「VPNの種類」のドロップダウンリストから「PPTP VPN」を選び、「OK」をクリックする  
セキュリティでの設定とオプションでの設定を、本製品に設定した認証方式と暗号化方式(※96ページ)に合わせて設定してください。



12 BB-HGW502に登録したユーザー名とパスワードを入力し、「接続」をクリックする

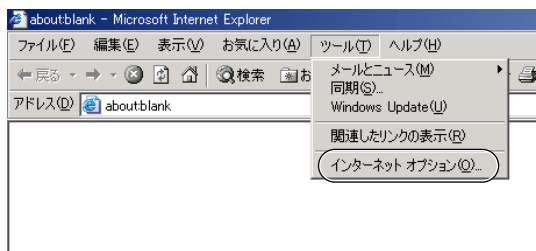


# プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定

プロバイダーによっては、プロキシサーバーを経由してインターネットに接続する場合があります。プロキシサーバーを経由する場合は、設定画面にアクセスすることはできません。次の手順に従ってウェブブラウザの設定を変更してください。

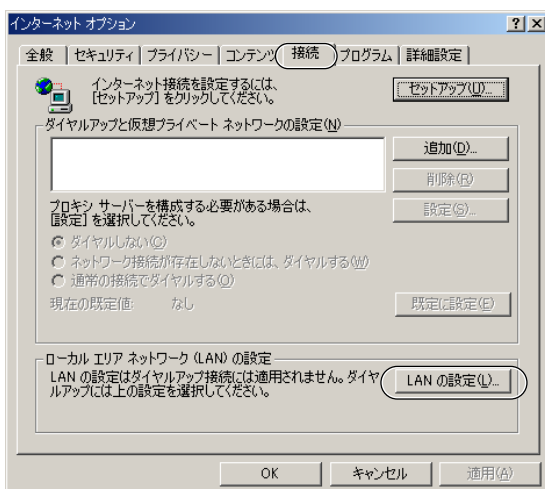
次の手順は、Internet Explorer 6.0を使った場合です。

## 1 ウェブブラウザを起動する



## 2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ

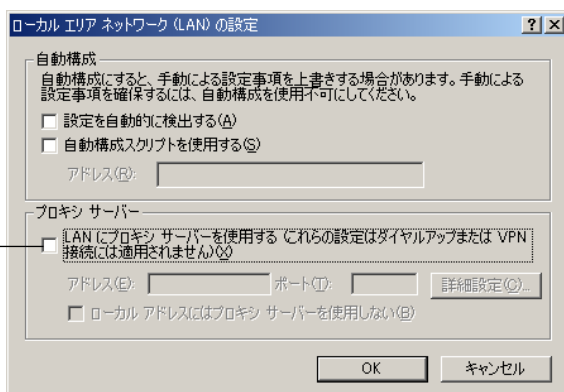
## 3 接続タブをクリックする



## 4 LAN の設定 をクリックする

## 5 ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定ダイアログボックスで、「LAN プロキシ サーバーを使用する」のチェックボックスを確認する

- チェックボックスがチェックされていたら、チェックをはずして **OK** をクリックしてください。
- チェックボックスがチェックされていないなら、**キャンセル** をクリックし設定を終了してください。



チェックボックスがチェックされていないことを確認してください。

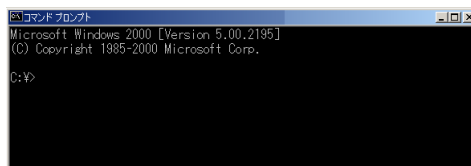
# パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

各パソコンから本製品の設定画面にアクセスできない、またはネットワーク上の他のパソコンと通信できない、などの場合には、各パソコンのIPアドレスの設定に問題がある可能性があります。以下の手順に従ってIPアドレスの設定を確認してください。

## Windows XP/2000の場合

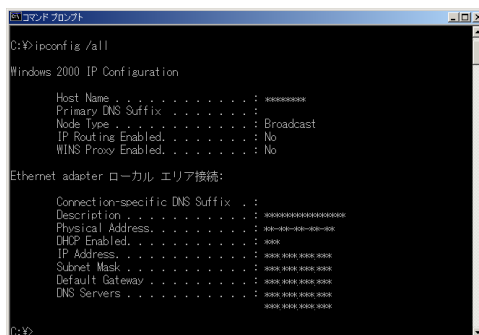
- 1 **スタート** メニューから「すべてのプログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」を選ぶ

Windows 2000の場合は、**スタート** メニューから「プログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」を選んでください。



- 2 コマンドプロンプトのあとにipconfig /allと入力し、Enterキーを押す

- ipconfig/renew\_allについて  
すべてのLANカードのDHCP構成パラメーターを更新します。
- ipconfig/release\_allについて  
すべてのLANカードのDHCP構成パラメーターを解放します。

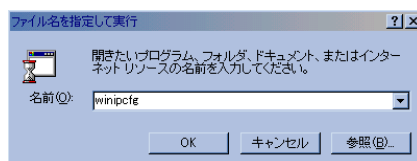


ipconfigコマンドの説明は、コマンドプロンプトのあとにipconfig/?と入力すると表示されます。

## Windows Me/98SEの場合

以下の手順は、Windows 98SEの場合です。

- 1 **スタート** メニューから「ファイル名を指定して実行」を選ぶ



# パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

2 名前欄にwinipcfgと入力し、**OK** をクリックする

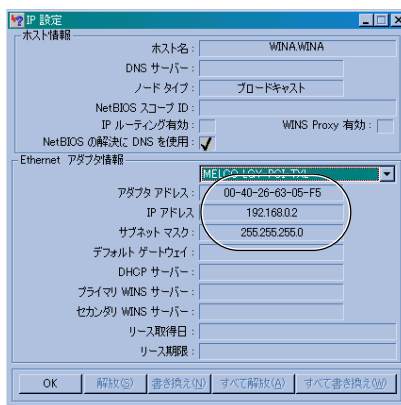
3 IPアドレスを確認したいLANカード(イーサネットアダプタ)を選ぶ



4 **詳細** をクリックする

IPアドレス欄を見て、設定されているIPアドレスを確認してください。

アダプタ アドレス欄を見て、LANカード(イーサネットアダプタ)のMACアドレスを確認してください。



「IPアドレスを自動的に取得」を設定していて、「169.254.XXX.X」などの値が表示された場合は、IPアドレスが正しく取得できていない可能性があります。そのような場合は、次の手順に従ってIPアドレスを更新してください。

1 **解放** をクリックする

自動取得していたIPアドレスが解放されます。

2 **書き換え** をクリックする

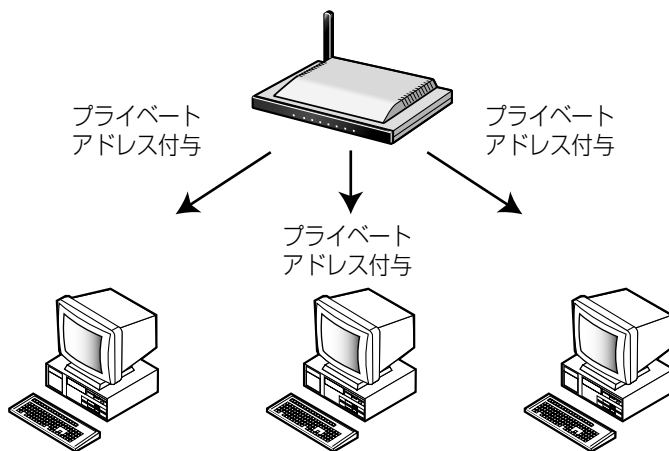
新しいIPアドレスが割り振られます。

3 **OK** をクリックする

# パソコンのIPアドレスを固定するには

本製品を含めたTCP/IPネットワークのすべてのパソコンには、それぞれ固有のIPアドレスの設定が必要です。本製品では、DHCPサーバー機能を使って、LAN（ホーム）側の各パソコンにIPアドレスを自動で割り振ることができます（工場出荷時設定）。この場合、本製品が各パソコンにIPアドレスを割り振ったり、再割り振りするため、各パソコンのIPアドレスは固定していません。

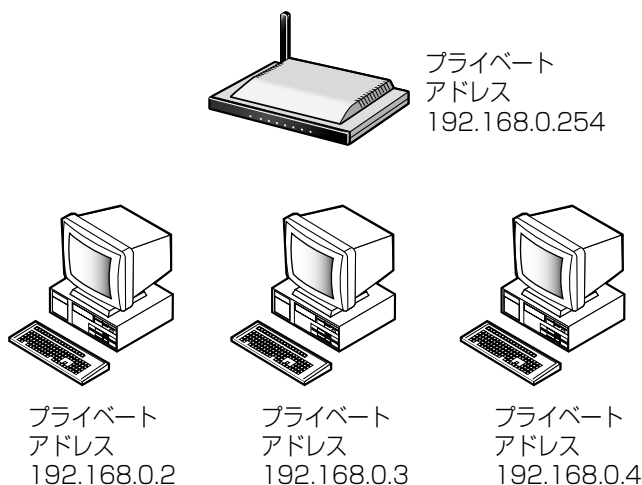
## 本製品がIPアドレスを割り振るネットワーク（工場出荷時設定）



これに対し、本製品のDHCPサーバー機能を無効にして、LAN側の各パソコンのプライベートアドレスを固定することができます。この場合、あらかじめ各パソコンに固有のIPアドレスを設定する必要があります。

## IPアドレスが固定されたネットワーク（オプション設定）

本製品のDHCPサーバー機能を使用せずに、プライベートアドレスを固定してネットワーク設定を行います。各パソコンに固有のプライベートアドレスを固定して設定する必要があります。各パソコンに固有のプライベートアドレスを設定したあとに、本製品を設定します。87ページを参照し、オプション設定画面上のDHCPサーバー機能を無効にしてください。各パソコンの設定は、127、129ページの手順に従ってください。



# パソコンのIPアドレスを固定するには

## Windows XP/2000の場合

- 1 **スタート** メニューの「**マイ コンピュータ**」から「**マイ ネットワーク**」を選び、「**ネットワーク接続を表示する**」を選ぶ

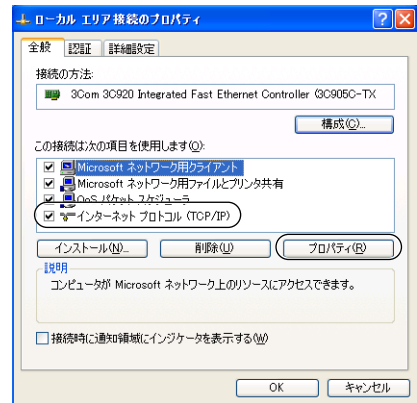
Windows 2000の場合は、「**マイ ネットワーク**」アイコンを右クリックし、「**プロパティ**」を選ぶ

- 2 本製品が接続されている「**ローカル エリア接続 ...**」アイコンを右クリックし、「**プロパティ**」を選ぶ



ローカル エリア接続

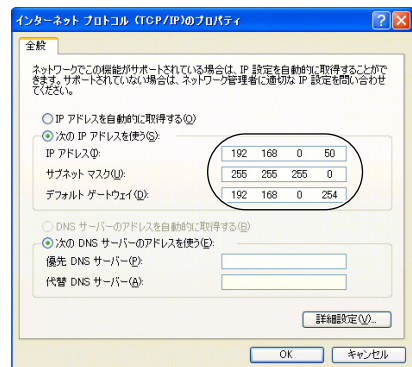
- 3 「**インターネット プロトコル (TCP/IP)**」を選び、「**プロパティ**」をクリックする



- 4 「**次のIP アドレスを使う**」を選ぶ

- 5 各パソコンのIPアドレス (例: 192.168.0.50) とサブネットマスクを入力し、**192.168.0.254** (本製品の工場出荷時設定IPアドレス) を「**デフォルト ゲートウェイ**」の入力欄に入力する

サブネットマスクは通常255.255.255.0と入力します。本製品の設定画面にアクセスする場合は、本製品のサブネットマスクと同じ値を入力してください。



# パソコンのIPアドレスを固定するには

6 「次の DNS サーバーのアドレスを使う」をクリックする

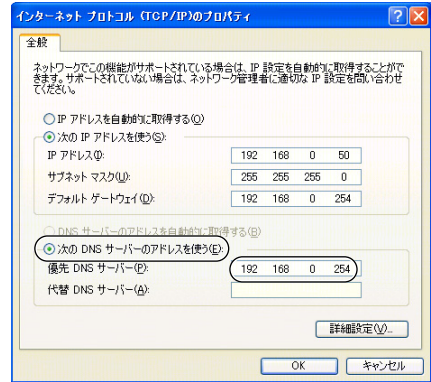
7 DNSサーバーのアドレスを入力欄に入力し、**OK** をクリックする

8 **閉じる** をクリックする

Windows 2000の場合は、**OK** をクリックしてください。

9 「ネットワーク接続」のウィンドウを閉じて、パソコンを再起動する

Windows 2000の場合は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」のウィンドウを閉じて、パソコンを再起動してください。





# パソコンのIPアドレスを固定するには

## Windows Me/98SEの場合

1 **スタート** メニューから「設定」を選び、「コントロール パネル」をクリックする

2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする

Windows Meで「ネットワーク」アイコンが見つからない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

3 ネットワークダイアログボックスで、本製品に接続しているLANカードに関連したTCP/IPを選び、「プロパティ」をクリックする

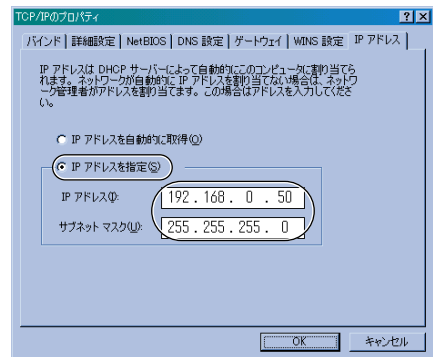
TCP/IPのプロパティダイアログボックスが表示されます。

4 TCP/IPのプロパティダイアログボックスで、IP アドレスタブをクリックする

5 「IP アドレスを指定」を選ぶ

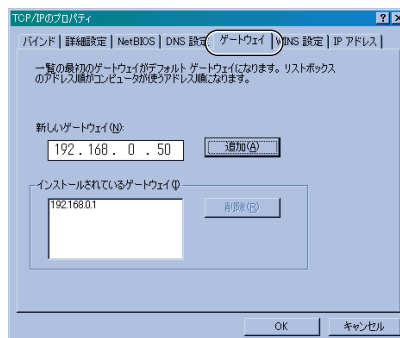
6 各パソコンのIPアドレス  
(例：192.168.0.50) とサブネットマスク  
を入力する

サブネットマスクは通常255.255.255.0と入力します。本製品の設定画面にアクセスする場合は、本製品のサブネットマスクと同じ値を入力してください。



# パソコンのIPアドレスを固定するには

## 7 ゲートウェイタブをクリックする



8 192.168.0.254 (本製品の工場出荷時設定 IP アドレス) を「新しいゲートウェイ」のアドレス欄に入力し、「追加」をクリックする

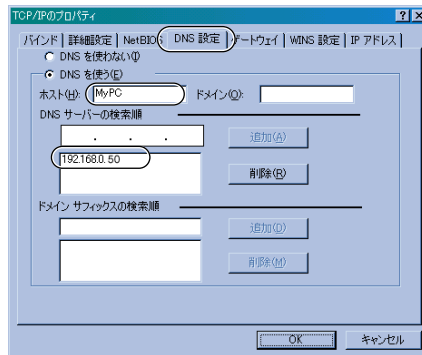
9 192.168.0.254 が「インストールされているゲートウェイ」のアドレス欄に入力されていることを確認する

本製品の IP アドレスを変更する場合は、「インストールされているゲートウェイ」の IP アドレスも変更してください。

## 10 DNS 設定タブをクリックする

11 「DNS を使う」を選ぶ

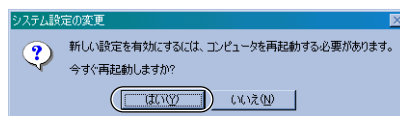
12 DNS サーバーアドレスを「DNS サーバーの検索順」のアドレス欄に入力し、「追加」をクリックする



13 任意のホスト名を入力し、「OK」をクリックする

14 「OK」をクリックする

システム設定の変更ダイアログボックスが表示されます。



15 「はい」をクリックし、パソコンを再起動する

# 工場出荷時設定一覧

## プロバイダー登録

プロバイダー登録モニター	No.1 No.2 No.3 No.4	DHCP接続 未登録 未登録 未登録
--------------	------------------------------	-----------------------------

## 接続設定管理

WAN(インターネット)側接続モード	DHCP/Static
プロバイダー設定	DHCP

## カメラ設定

カメラ登録 カメラの自動登録機能の設定 利用可能なアドレス範囲 カメラに設定するポート番号 利用可能なポート範囲	使用する 192.168.0.151 - 192.168.0.166 使用する 60001 - 60016
カメラポータル画面配置 カメラポータル画面表示形式	カメラ名と静止画 (自動更新)

## 無線設定

基本 通信モード SSID 無線ステルス機能 通信チャンネルの設定	802.11b/g (本製品背面に記載) 使用する (ANYキーによる接続も拒否されます) 7
暗号化 暗号化方式 WEPキー1	WEP方式 (本製品背面に記載)
MACアドレスフィルタリング	使用しない

## みえますねっと設定

みえますねっと設定	使用しない
-----------	-------

# 工場出荷時設定一覧

## アドレス変換

有効／無効の設定	
DHCP／Static接続	使用する
PPPoE接続	
メインセッション	使用する
サブセッション	使用する
端末型	
DMZ機能 (端末型)	設定されていません
LAN型	
DMZ機能 (LAN型)	設定されていません

## セキュリティ設定

セキュリティ	
セキュリティワンタッチ設定	<ul style="list-style-type: none"><li>● G-IPからP-IPへの通信を禁止する。(ログ出力)</li><li>● プライベートアドレスでのアクセスを双方向に禁止する。(ログ出力)</li><li>● NetBIOS／ファイル共有／プリンター共有／PCリモートのアクセスは双方向に禁止する。(ログ出力)</li></ul>
アクセス制限	
設定画面	<ul style="list-style-type: none"><li>● 禁止する。(ログ出力)</li><li>● パスワードなしで許可する。(ログ出力)</li></ul>
カメラポータル画面	
ステルスモードの設定	<ul style="list-style-type: none"><li>● BB-HGW502の存在をWAN (インターネット) 側から検知できないようにする。(Identパケットは例外とする。)(ログ出力)</li></ul>
不正アクセス検知	<ul style="list-style-type: none"><li>● ステートフル・パケット・インスペクション(動的パケットフィルタリング)を使用する。(ログ出力)</li></ul>
フィルタリング	
フィルタリング設定条件	設定されていません

# 工場出荷時設定一覧

## オプション設定

LAN(ホーム)側IPアドレス設定 IPアドレス サブネットマスク 設定画面のポート番号 カメラポータル画面のポート番号	192.168.0.254 255.255.255.0 8080 80
DHCPの設定 DHCPサーバー 利用可能なアドレス範囲	使用する 192.168.0.1 - 192.168.0.32
DHCPスタティック設定	無効
PPPoE設定 メインセッション サブセッション	常時接続 常時接続
DNSリレー設定	使用する
MTU設定	1500バイト (DHCP/Static接続) 1492バイト (PPPoE接続)
ダイナミックルーティング設定 LAN(ホーム)側設定 WAN(インターネット)側設定	使用しない 使用しない
スタティックルーティング設定	設定されていません。
UPnP機能 IGD機能 CP機能	使用する 使用する
UPnPポート自動削除設定 タイマー	無期限
IPアドレス通知 メール設定(共通) メールあて先設定	使用しない 設定されていません。 設定されていません。

# 工場出荷時設定一覧

---

## VPN設定

基本	
PPTPサーバー 利用可能なアドレス範囲	使用しない 192.168.0.100-192.168.0.103
ユーザー登録	設定されていません。
詳細	
認証方式の設定 暗号化方式の設定	使用しない MS-CHAP、またはMS-CHAPv2を使用する MPPE40 bitまたは、MPPE128 bitを許可する

## アプリケーション機能

アプリケーション一覧	カメラ切断通知アプリケーション
------------	-----------------

## パスワード設定

設定画面	本製品に初めてアクセスするときに設定します。
カメラポータル画面	設定されていません。

# 用語解説

## 英字

- CATV** Cable Televisionの略で、ケーブルテレビのことです。最近では、このケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続するサービスを提供する会社が増えてきています。
- DHCP**  
(Dynamic Host Configuration Protocol) 各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報(IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど)を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。
- DMZ** DMZ(De-Militarized Zone)とは、インターネットに接続されたネットワークにおいて、ファイアウォールによって外部のインターネットからも内部のネットワーク(組織内のネットワーク)からも隔離された区域のことを指します。
- DNS**  
(Domain Name System) ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前(ドメイン名)をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、たとえば“panasonic.jp”などがあります。
- FTP**  
(File Transfer Protocol) インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコル。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POP3と並んで頻繁に利用されているプロトコルです。
- IEEE 802.11a** IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11aは、5.2 GHz帯を使用する最高54 Mbpsの高速な無線LANの規格です。屋内でのみご使用ください。屋外での使用は法律により禁止されています。
- IEEE 802.11b** IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4 GHz帯を使用する最高11 Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。
- IEEE 802.11g** IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11gは、IEEE 802.11bと互換性を持ち、同じ2.4 GHz帯を使いながら、最大で54 Mbpsのデータ通信が行えます。
- IPv4**  
(アイ・ピー・バイ・フォー) Internet Protocol version 4の略です。IPv4は、現在のインターネットで利用されている標準のプロトコルで、32ビットのアドレス空間(42億9496万7296台の端末をサポートできる)をもっています。

# 用語解説

---

IPv6 (アイ・ピー・ブイ・シックス)	Internet Protocol version 6の略です。増加するインターネットの使用者に対応するため、現在のIP(IPv4)に代わるものとしてIETF(Internet Engineering Task Force)内のIPNGワーキンググループで準備が進められてきたプロトコルです。IPv6には、IPアドレスの128ビット化(IPv4は32ビット)、パケットヘッダの簡素化、セキュリティ機能の追加などが盛り込まれています。
IPアドレス (Internet Protocol Address)	IPプロトコルで使用するためのアドレス情報です。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器(端末)では、世界中でユニークな(単一な)IPアドレスを割り振っておく必要があります。
IPマスカレード	IPアドレスを変換する際に、ポート番号も変換する仕組み(NAPT [Network Address and Port Translation])で、インターネットに接続しているネットワークで、1つのグローバルIPアドレスを複数のプライベートIPアドレスから利用する技術です。
LAN (Local Area Network)	フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。
MAC (Media Access Control) アドレス	LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。
MPPE (Microsoft Point-to-Point Encryption)	PPPによるダイヤルアップ接続、または、PPTPによるVPN接続のデータを暗号化します。MPPE128 bit(強力)およびMPPE40 bit(標準)の2つの暗号化方式があり、PPTP接続とNAS(ネットワーク・アクセス・サーバー)の間のデータセキュリティを強化します。
MS-CHAP/MS-CHAPv2	MS-CHAPは「Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol」、MS-CHAPv2は「Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol version 2」の略です。これらは、PPP接続時に、ユーザー名とパスワードを暗号化して相手認証を行う暗号化認証方式です。MS-CHAPは、クライアントからNAS(ネットワーク・アクセス・サーバー)への一方向の暗号化を行う認証方式です。これに対し、MS-CHAPv2は、クライアントとNASの双方がそれぞれの身元を証明する相互認証機能をもつほか、強力な初期データ暗号化キー、および送信での異なる暗号化キーの使用を採用していますので、MS-CHAPよりもセキュリティが向上しています。
MTU (Maximum Transfer Unit)	MTUは、ネットワークにおいて1回の転送で送信できるデータの最大値を示します。



# 用語解説

---

NAT (Network Address Translation)	社内のみで通用するプライベートアドレスと、インターネットアクセスに利用できる本来のグローバルアドレスを相互に変換し、ローカルなIPアドレスしか割り振られていないノードから、透過的にインターネットへアクセスできるようにする技術です。
ONU (Optical Network Unit)	光ファイバー加入者通信網において、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するための装置です。
Open System	IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、2つの認証サービスをサポートしています。Open Systemは、公開鍵暗号とも呼ばれています。
POP3 (Post Office Protocol Version 3)	インターネットやLANで、Eメールを受信するためのプロトコル。クライアントが、メールサーバーからEメールを受信する際に用いられ、認証機能をもちます。この認証機能をSMTPでEメール送信する場合に、利用するメールサーバーもあります(POP before SMTP)。
PPP (Point to Point Protocol)	公衆回線などを經由して2台のパソコンを接続するために開発されたプロトコルです。ユーザー名、パスワードでの認証機能や圧縮機能をサポートするだけでなく、複数のプロトコルを同時にサポートできます。
PPPoE	PPP over Ethernetの略です。PPPoEは、複数のプロバイダと接続することができます。
PPPoEマルチセッション機能	フレッツなどの複数のPPPoEセッションを利用する際に、複数のプロバイダーへ同時接続したり、フレッツ・スクウェアなどのインフォメーションサイトとプロバイダーへ同時接続することができます。
PPTP (Point to Point Tunneling Protocol)	インターネット上でVPNを実現するためのプロトコルの1つです。PPTPではPPPをベースに、データの暗号化や認証、リンクの確立などの機能をもたせています。
Shared Key	IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、ふたつの認証サービスをサポートしています。Shared Keyは、共有鍵暗号とも呼ばれ、メッセージの送信者と受信者が一組の鍵を共有し、それをを用いてデータを暗号化、複合化します。
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	インターネットやLANでEメールを送信するためのプロトコル。サーバー間でEメールの送受信をしたり、クライアントがサーバーにEメール送信する際に用いられます。
SSID	無線ネットワークグループの識別名です。無線接続をグループ分けするためのものです。「ESSID」とも言います。半角英数字記号1~32文字まで入力できます。(英字は大文字、小文字の区別があります。)自動設定ではBB-HGW502のSSIDが転送されます。

# 用語解説

---

- TCP/IP** 米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクトで開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルはIPで、トランスポート層プロトコルはTCP(Transmission Control Protocol)とUDP(User Datagram Protocol)の2つです。FTP、SMTPなどのアプリケーションは、TCP/IPが利用されています。
- UPnP(Universal Plug and Play)** UPnPは、TCP/IPベースでネットワークデバイスの自動検出や情報交換などを行う技術です。UPnPに対応するアプリケーションには、MSN Messenger 5.0以降、Windows Messenger 4.7以降などがあります。UPnP Forumによって仕様が策定されています。
- URL  
(Uniform Resource Locator)** インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスするために使用する「http://panasonic.jp」のことで。
- VPN  
(Virtual Private Network)** インターネットでデータ通信を行うと、通常はデータの暗号化やユーザー認証などは行われていないため、内容が第三者に盗聴されたり改ざんされたりする恐れがあります。そこで、インターネットにデータを送信する前にデータを暗号化して送信すれば、セキュリティを確保することができます。この暗号化をユーザーから透過的に行い、かつユーザー認証によってある特定のユーザーだけしかアクセスできないようにすれば、公衆回線網を使っても、専用線接続と同じようなセキュリティを保つことができます。これをVPN(私設仮想回線)といいます。
- WEPキー** 無線通信における暗号化技術を意味します。第三者によるデータの傍受を防ぐために、送信パケットを暗号化することでセキュリティを高める技術です。  
16進数入力の場合は0~9、A~Fもしくはa~fの入力ができます。  
英数字入力の場合はアスキー文字の入力ができます。
- WEPキーサイズ** 64/128/152 bit の暗号化方式が選択できます。  
備考：暗号化は、64 bit、128 bit、152 bitの順でセキュリティ強度が高くなります。  
逆に、実質の通信速度は、なし、64 bit、128 bit、152 bitの順で遅くなります。
- WEP認証方式** IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、2つの認証サービスをサポートしています。

# 用語解説

---

## あ

アクセスポイント	プロバイダーやパソコン通信に電話回線で接続する際に、接続できるサーバーのある場所や電話番号のこと。
暗号化	第三者によるデータの傍受を防ぐために、ネットワークの伝送経路で規則に従ってデータを変換することを意味します。暗号化方式には、共通鍵暗号方式(Shared Key)、公開鍵方式(Open System)などがあります。
イーサネット (Ethernet)	Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。
インストール	ハードウェアやソフトウェアをシステムに新しく組み込むことです。たとえば拡張カードを追加したり、OSなどの新しいソフトウェアをシステムに組み込むときに用いられます。
インターネット	地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。
ウェブサーバー	画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列(ワード)が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているので、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しい情報を抽出することができます。
ウェブブラウザ	ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

## か

グローバルアドレス (Global address)	インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。グローバルアドレスはIANA(Internet Assigned Numbers Authority)が一元的に管理し、各国のNIC(日本ではJPNIC)プロバイダーなどの各組織に割り振られます。
ゲートウェイ	ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター(ルーターなど)でネットワークのパケットの道先案内をします。ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

## さ

- サブネットマスク** IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。
- ステートフル・パケット・インスペクション** 送出パケットの情報から戻りパケットを予測して、パケットの通過や破棄を決定する動的なパケットフィルタリング方式です。
- ストレートケーブル** 通常は、パソコンとイーサネットハブを接続するためのケーブルの種類です。
- 静的IPマスカレード (ポートフォワーディング)** ポートフォワーディングとは、特定のポートあての通信を指定したポートへ転送することです。ポートフォワーディングにより、インターネット側からホームネットワークへのアクセスも可能になり、ホームネットワーク上にウェブサーバー、メールサーバーなどを構築することができます。
- 静的NAT** ネットワーク内で使用するプライベートアドレスと、インターネット上で使用するグローバルアドレスを1対1で相互変換することです。

## た

- ダイバーシティ** 位置が違うところに2つ以上のアンテナを設置し、受信状態のよいアンテナを選択して受信する方式のことです。
- ダウンロード** 遠隔地にある装置側からネットワークを使用し、データを自分側に転送し保存する作業です。
- チャンネル** 無線通信で使用できる周波数帯域を分割すると、別々の通信ができます。分割したそれぞれの周波数がチャンネルです。
- デフォルトゲートウェイ** 内部ネットワークから外部のパソコンへアクセスするために使用する窓口となるルーターなどの機器を意味します。送信先のIPアドレスに特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイにデータが送信されます。
- ドメイン** インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表わします。

# 用語解説

---

## な

- ネットワーク** 情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。
- 認証方式** 本製品では、無線LAN暗号化設定時の認証方式としてShared Key方式、Open System方式に対応しています。

## は

- パケット** 通信データを一定の大きさに分割し、アドレスをつけて転送するときのデータの単位のことです。
- パケットフィルタリング (Packet Filtering)** ファイアウォールの一種で、フィルター機能を用いて、ネットワークパケットを選択的に転送する方式のことです。適切に設定すると、不要なパケットが転送されるのを防ぎます。
- ハブ** イーサネットで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、複数のポート数をもつ装置があります。
- パスワード** ファイルやネットワークを利用する際に鍵の役目をする合言葉(文字や数字)です。ネットワークのセキュリティ上、ユーザー識別のためにあらかじめ言葉を登録します。登録されている言葉と一致しない場合は、ファイルやネットワークを利用することはできません。
- バージョンアップ** 本製品は、ファームウェア(本製品が動作するための基本ソフトウェア)を更新することができます。最新ファームウェアは、パナソニックのサポートウェブサイトに掲示されます。
- フィルタリング (パケットフィルタリング)** ファイアウォールの一種で、フィルター機能を用いて、ネットワークパケットを選択的に転送する方式のことです。適切に設定すると、不要なパケットが外部に転送されるのを防ぎます。
- ファームウェア** 本製品を動作させるプログラムです。本製品ではフラッシュメモリーの中に格納されています。
- ファイアウォール** インターネットを利用する際のセキュリティの1つ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。
- 物理アドレス** MACアドレスと同じ。

# 用語解説

## プライベートアドレス (Private address)

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベートアドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることが可能です。ただし、プライベートアドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバルアドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

## プライベートIPアドレスとサブネットマスクの設定値について

インターネットでは使われないネットワークIDを「プライベートIPアドレス」と呼び、下の表のようにクラスA、クラスB、クラスCの3段階に分かれています。LANの規模に応じてクラスを選び(たとえば、20台くらいまでのパソコンが接続されたネットワークであればクラスCを選ぶ)、そのクラスのIPアドレスの範囲の中でIPアドレスを設定してください。

クラス	サブネットマスク	プライベートアドレス (この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる)
クラス A	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ~ 10. 255. 255. 254
クラス B	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ~ 172. 31. 255. 254
クラス C	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ~ 192. 168. 255. 254

## プロキシサーバー

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理(プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うコンピューターやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。回線の負荷を軽減するために、読み込んだファイルを一定時間保存しておくキャッシュ機能をもつプロキシサーバーもあります。

## プロトコル (Protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のコンピューターなどでデータを交換する際の通信規約(約束事)のことです。インターネットでは「TCP/IP」というプロトコルが基盤になっており、そのうえでさらに「http」や「ftp」などの用途別のプロトコルに従って情報の送受信が行われています。

## ホスト

各種サービス(たとえば、Eメールの送受信など)に必要な処理のほとんどを行うコンピューターなどの総称として用いられています。

## ポート番号

TCPやUDPで、サービス(アプリケーションの種類)を区別するために使われる番号。たとえば、EメールのSMTPは25、HTTPは80が一般的に用いられます。

## ポートフォワーディング

静的IPマスカレードと同じ。

## ま

### 無線LAN

配線を必要としないLAN(ローカルエリアネットワーク)のことです。同一建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で電波や赤外線、レーザーなどを使用してネットワークを構築します。

### 無線LANアダプター

デスクトップパソコンなどを接続して、無線端末として利用することができます。

## ら

### ルーター (router)

異なるネットワーク同士を相互接続するネットワーク機器です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータを適切に目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークへあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういった経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

### ルーティング (routing)

インターネットなどのネットワークにおいてパケットを、正しく目的のノードへ届くように最適な経路を選択・制御すること。

# 仕 様

## 【本体】

項 目	仕 様
電 源	専用ACアダプター : AC100 V (50 Hz/60 Hz)、DC12 V (品番: PQLV202JP) DCコード長さ: 約1.8 m ACコード長: 約55 cm (別付け)
消費電力	最大約6 W
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	W 約204 x H 約36 x D 約140 mm ※アンテナ収容状態
質 量	約330 g
使用環境	温度 (°C) : 0~40 湿度 (%) : 20~85 (ただし、結露なきこと)
WANインターフェース	ポート数 : 1 ポート コネクタ形状 : 8 ピンモジュージャック (RJ-45) 物理インターフェース : IEEE 802.3 (10Base-T) IEEE 802.3u (100Base-TX) WAN-LAN間スループット: 最大93.0 Mbps (FTP [Static]) (当社測定値) 最大92.1 Mbps (FTP [PPPoE]) 最大16.3 Mbps (FTP [PPTP])
LANインターフェース	ポート数 : 4 ポート コネクタ形状 : 8 ピンモジュージャック (RJ-45) 物理インターフェース : IEEE 802.3 (10Base-T) IEEE 802.3u (100Base-TX)
無線インターフェース	■ 無線チップ Atheros Communications社製 ■ IEEE 802.11a 伝送方式 : OFDM方式、半二重 通信速度 ([規格値] Mbps) : 54/48/36/24/18/12/9/6* (IEEE 802.11a準拠): 自動フォールバック 周波数範囲 (MHz) : 5170、5190、5210、5230 (中心周波数) チャンネル数 : 4 セキュリティ : WEP64 bit/128 bit/152 bit、SSID、 無線ステルス機能(SSID隠ぺい)、ANYキーによる接 続の許可/拒否)、MACアドレスフィルタリング



# 仕 様

項 目	仕 様
無線インターフェース	<p>■ IEEE 802.11b</p> <p>伝送方式： DS-SS、半二重</p> <p>通信速度 ([規格値] Mbps)： 11/5.5/2/1* (IEEE 802.11b準拠): 自動フォールバック</p> <p>周波数範囲 (MHz)： 2400~2472 (中心周波数)</p> <p>チャンネル数： 13</p> <p>セキュリティ： WEP64 bit/128 bit/152 bit、SSID、無線ステルス機能(SSID隠ぺい)、ANYキーによる接続の許可/拒否)、MACアドレスフィルタリング</p> <p>■ IEEE 802.11g</p> <p>伝送方式： OFDM方式 (IEEE 802.11g準拠)/DS-SS方式 (IEEE 802.11b互換)、半二重</p> <p>通信速度 ([規格値] Mbps)： 54/48/36/24/18/12/9/6* (IEEE 802.11g準拠): 自動フォールバック 11/5.5/2/1* (IEEE 802.11b互換): 自動フォールバック</p> <p>周波数範囲 (MHz)： 2412~2472 (中心周波数)</p> <p>チャンネル数： 13</p> <p>セキュリティ： WEP64 bit/128 bit/152 bit、SSID、無線ステルス機能(SSID隠ぺい)、ANYキーによる接続の許可/拒否)、MACアドレスフィルタリング</p> <p>通信飛距離： 屋内見通し 約120 m (BB-HGA102との通信時) 屋外見通し 約600 m (BB-HGA102との通信時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 通信距離は環境条件により変化します。 鉄筋コンクリートの建物および大型金属製品、電子レンジの近く、盗難防止機器の近くなどでは、通信距離が短くなることがあります。 間に障害物(壁や家具、什器)などがある場合、周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。</li> <li>● IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。</li> </ul> <p>※ 表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。</p>
ユーザーインターフェース	<p>CLEAR SETTINGボタン： 工場出荷時設定用</p> <p>状態表示インジケータ</p> <p>POWER： 通電/本体状態表示</p> <p>WAN： WANリンク状態表示</p> <p>PPP: PPPリンク状態表示</p> <p>LAN1~LAN4： イーサネットリンク状態表示</p> <p>WIRELESS： 無線リンク状態表示</p>
電波障害防止	VCCIクラスB

# 仕 様

## 【ソフトウェア】

項 目	仕 様	
ルーター機能	WAN側接続モード PPPoEマルチセッション PPPoE接続／切断 RIP DHCPサーバー DNSリレー (DNS代理応答) IPパケットフィルタリング アドレス変換方式	PPPoE／DHCP／Static 最大同時セッション数：2 手動接続／常時接続 あり (RIPv2) あり (128クライアント設定可) あり あり (64設定) IPマスカレード、静的IPマスカレード (ポート フォワーディング)、静的NAT
無線端末機能	セキュリティ	WEP(64 bit／128 bit／152 bit)、無線ステルス機能(SSID隠ぺい、ANYキーによる接続の許可／拒否)、MACアドレスフィルタリング
アクセス制限	ID／Password	
ウェブブラウザ設定	あり	
ファームウェア バージョンアップ	あり	

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申しつけください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカメラコントロールユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年間保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

「ご使用前に／困ったときには」の「故障かなと思ったとき」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACコードのプラグおよびACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。直らないときにはACコードのプラグを抜き、下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 当社が関与できない外部業者に修理を依頼するときは、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻してください。

### ご連絡いただきたい内容

品名	カメラコントロールユニット
品番	BB-HGW502
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

### お願い

● 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

## アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」にお問い合わせください。

### ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター

電話 **03-3491-9797**（通話料金有料）

FAX **03-3491-9016**（通話料金有料）

営業時間 9：00～17：30（土・日・祝日除く）

# さくいん

## 英 字

	ページ
CLEAR SETTINGボタン.....	16、114
DC INジャック .....	16
DHCP接続 .....	33
DHCPサーバー機能.....	87
DHCPスタティック .....	88
DMZ機能 .....	72、78
DNSリレー .....	89
IPアドレス.....	30、47、124、126
IPマスカレード .....	75
LANジャック .....	16
MACアドレスフィルタリング .....	63
MS-CHAP .....	96
MS-CHAPv2 .....	96
MTUサイズ .....	90
Ping .....	106
PPPoE接続 .....	30、37、105
PPPoEマルチセッション機能.....	46
SSID.....	56、58
Static接続.....	35、40
UPnP機能 .....	92、115
VPN設定.....	95、120
WANジャック .....	16

## あ

	ページ
アドレス変換.....	66
アプリケーション機能.....	97
暗号化 .....	60、62、96
インジケータ.....	16、17
インターネット接続.....	43
オプション設定 .....	86

## か

カメラ自動登録機能.....	51
カメラを使う .....	50
カメラポータル画面.....	24
かんたん設定 .....	20

## さ

再起動 .....	104、114
サブネットマスク .....	29、87
サポート .....	113
仕様.....	144
詳細設定.....	22
初期化.....	104、114
ステータス .....	107
ステートフル・パケット・ インスペクション .....	82
ストレートケーブル .....	7
静的IPマスカレード.....	68、74
静的NAT .....	73
セキュリティ設定 .....	80
接続設定管理 .....	44

# さくいん

---

## た

	ページ
ダイナミックルーティング .....	90
通信チャンネル .....	56、 59
トップページ .....	18

## は

バージョンアップ .....	101
バックアップ .....	103
パナソニックのサポートウェブサイト .....	97
パスワード変更 .....	100
工場出荷時設定一覧 .....	32
フィルタリング .....	83
フィルタリングログ .....	110
プロキシサーバー .....	123
プロバイダー登録 .....	29
ヘルプ .....	113
ポートフォワーディング .....	68、 74

## ま

みえますねっと設定 .....	64
無線設定 .....	56

## や

用語解説 .....	135
------------	-----

## ら

ログ表示 .....	110
------------	-----

- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.

Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

## 愛情点検

## 長年ご使用のカメラコントロールユニットの点検を！



こんな  
症状は  
ありませんか？

- ACアダプターの電源コードが傷んでいる。
- こげくさい臭いや異常な音ができる。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

## 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品 番	BB-HGW502
販売店名	電話 ( ) —		

本書は再生紙を使用しています。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社  
テレコムカンパニー

〒812-8531 福岡市博多区美野島4丁目1番62号